建築と社會

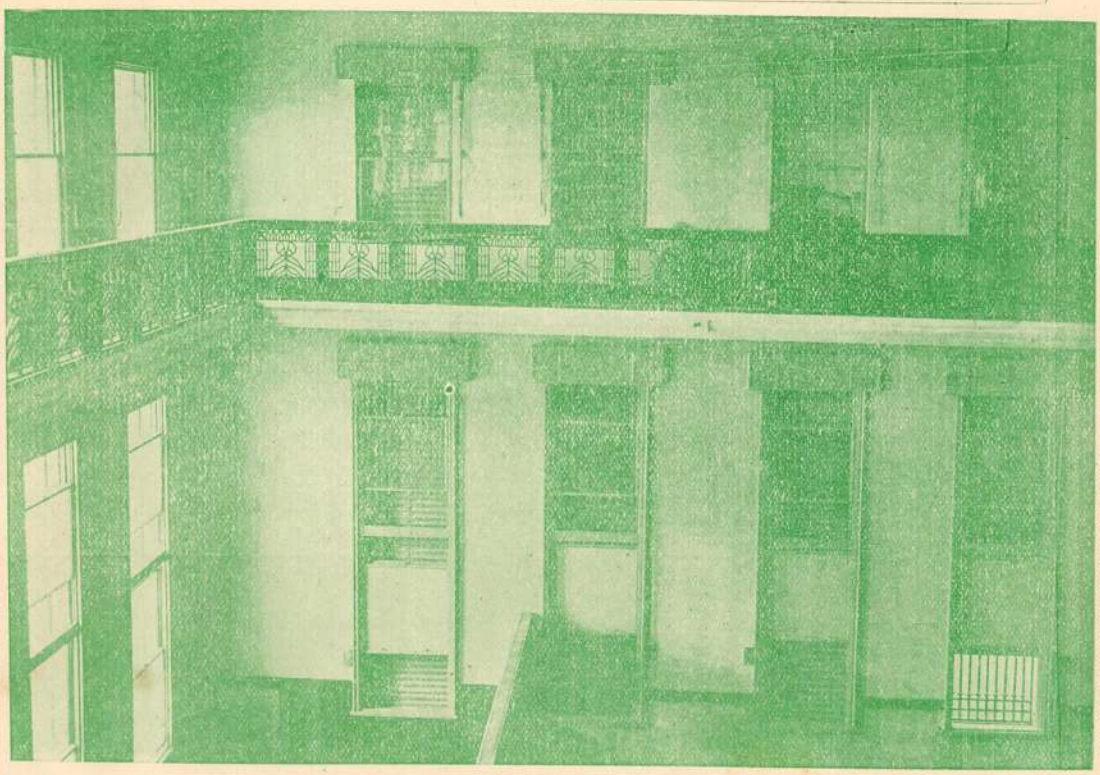
昭和三年七月一日・第十輯第七號



日本建築協會

34 Ginkoo Namba S.ten.
Sekkei : Takeuti Kentikuzimusyo.
Sekoo : Osaka Hasimotogumi.

Shutter : Numasimasiki Kwanzen *Balance.*
Tyuunikai : Sotohimobiki.
Kaika : Utihimobiki.
Kayooni hosonagai mado no *Shutter* wa yosono *Spring* siki dewa dekinaiga, N.K.B. ni yoruto nanno mendoo mo naku, aketate wa hanahada hayaku, karuku, nameraka de arimasu.



Goomei Kwaisya Hanken Seisakusyo.
Oosakasi Konohanaku Okizima Kitanotyoo 11.
DENWA: TOSABORI 4020.

Dairiten {Mitui Bussan Kabusiki Kwaisya.
Sanki Koogyoo Kabusiki Kwaisya.

會告

建築知識普及展覽會開催

本協會ハ我國方今ノ時勢ニ鑑ミ一般社會ニ汎ク建築界ノ現狀ヲ紹介シ以テ建築知識ノ普及ヲ圖ラム爲今秋左記ノ通建築知識普及展覽會ヲ開催セムトス冀クハ本會員諸彦ノ熱誠ナル御後援ト懇切ナル御賛助ニ依リ本展覽會ヲシテ有意義ナル事業タラシメムコトヲ切望ス

一、會　場　市内心齋橋大丸五階六階

一、會　期　九月自十一日至十六日　六日間

一、開場時間　毎日自午前八時半至午後九時

一、陳列種目
第一室　圖面、寫眞、模型
第二室　現代ノ建築設備
第三室　災害ト其ノ豫防
第四室　住宅ト庭園
第五室　建築材料

昭和三年七月

社團法人　日本建築協會

豫告

建築設計圖案出品勸誘

別項會告の通建築知識普及展覽會開催に伴ひ本協會員諸君の作品を公開陳列致したいのでありますから奮つて御出品を望みます

追て出品に關する委細は後日發表致します

昭和三年七月

社團法人 日本建築協會

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

（特許大野式シヤッター）

這般の大震火災に於て兼て御定評を蒙り居り候日常開閉の至便、防火耐熱力優秀にして内外國同種類品中最も御安心相願はれ得可きものなることは左記事實に依り能く之を證明致候

一捲上ヶ戸の閉鎖が咄嗟の間に完全に行はれたること

一戸鈑の連鎖堅牢にして烈火に面したる場所に於ても戸鈑各個の脱落、鎖鎖の破壊を來したるものなかりしこと

一戸鈑と戸鈑との間、戸鈑と溝金との間、上方捲込口煙返し等の密着充分にして間隙を生じたるものなく能く火炎熱風の浸入を阻止し防火の効を奏したること

以上數多の實蹟に徴し更に一段の注意を拂ひ御期待に副ひ可申確信の下に努力罷在候處幸ひ御承認を辱ふし他製品取換の御注文を始め有數建築物の復興工事新建築物防火設備等着々御採用を蒙り居候、何卒多少に拘らず御用命被仰付度奉希候

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地　電話高輪二三三七七五五番

取付員詰所・大阪北区花園上幅島中二　電話土佐堀二七二五番

建築と社會　航空と建築號

第十一輯
第七號

寫眞

口繪第一頁……ある鐘樓の習作
口繪第二頁……大阪市の上空
口繪第三頁……最新式の軍用飛行機と其操縱席
口繪第四頁……大戰間某市に對する爆彈投下圖……（澁谷大佐記事參照）
口繪第五頁……一〇〇吉瓦爆彈による被害實況
口繪第六頁……獨軍長距離火砲彈の被害實況
口繪第七頁……三〇〇吉瓦爆彈による被害實況其他
口繪第八頁……五〇吉瓦爆彈による被害實況
口繪第九頁……空中分列式

本文

△新版大阪圖繪……土佐堀川……佳山生
△空敵防禦の要……
▲航空機の發達と都市の建築……工學博士片岡安……二
▲航空機の發達と建築……工學博士武田五一……五
◆フランスの一建築家の飛行場設計圖……

▲防空上都市構成と建築……第四師團參謀長 澁谷大佐……七
▲航空と建築……八木幸次郎……一五
▲空中文化か地中文化か防空都市……凹凸子……一九
□文化村の粹
▲カミロ・シッテ（上）……藤田進一郎……二七
—都市計畫家銘々傳の三—
▲大阪の地盤と杭打基礎工事……（承前）池田宮彦……三三
□建設へ建設へ　□建築と社會ニュース
□海外奇聞　□新刊紹介
▲京都大丸呉服店地階柱足繼ぎ工事の紹介……工學博士 内藤多仲／工學士 半井直彦……三八
▲都市計畫公報……五七
▲社團法人日本建築協會々報……

建築と社會　航空と建築號　第十一輯　第七號

小野田ポルトランドセメント

製品均斉・品質高級

小野田白色ポルトランドセメント

東洋唯一・純白優良

製造元　小野田セメント製造株式會社

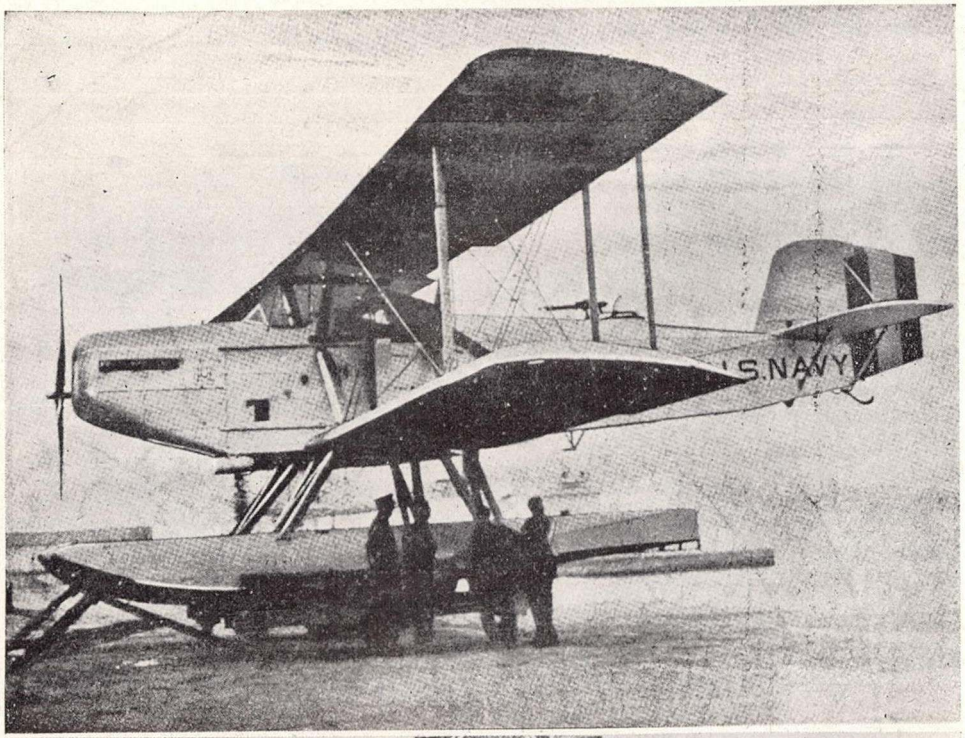
一手販売　三井物産株式會社

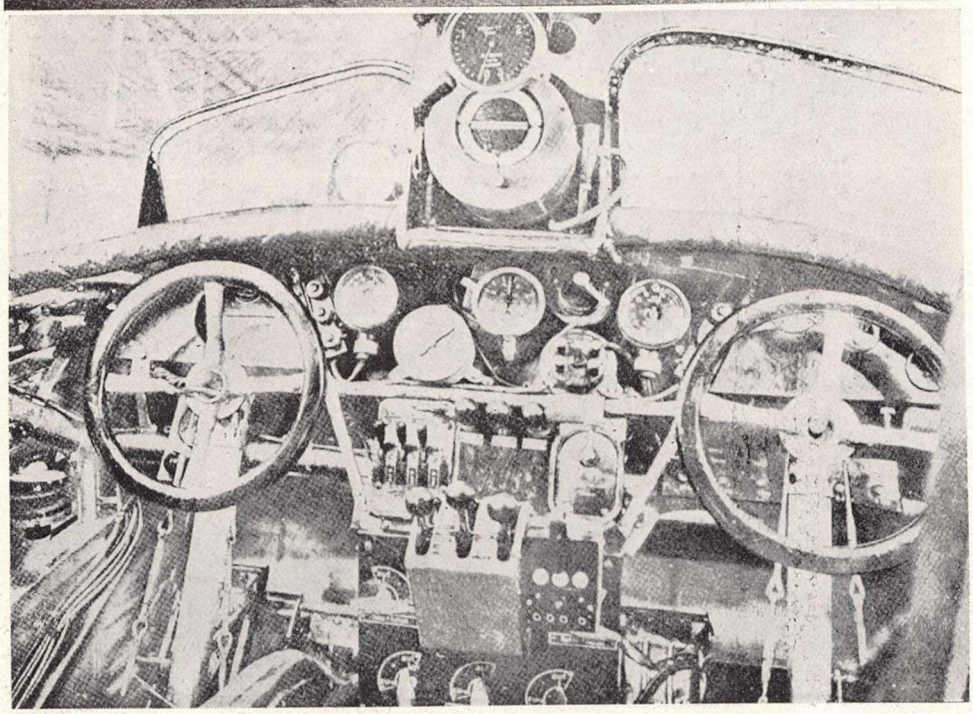


ある鐘樓の習作　（波江併夫氏）

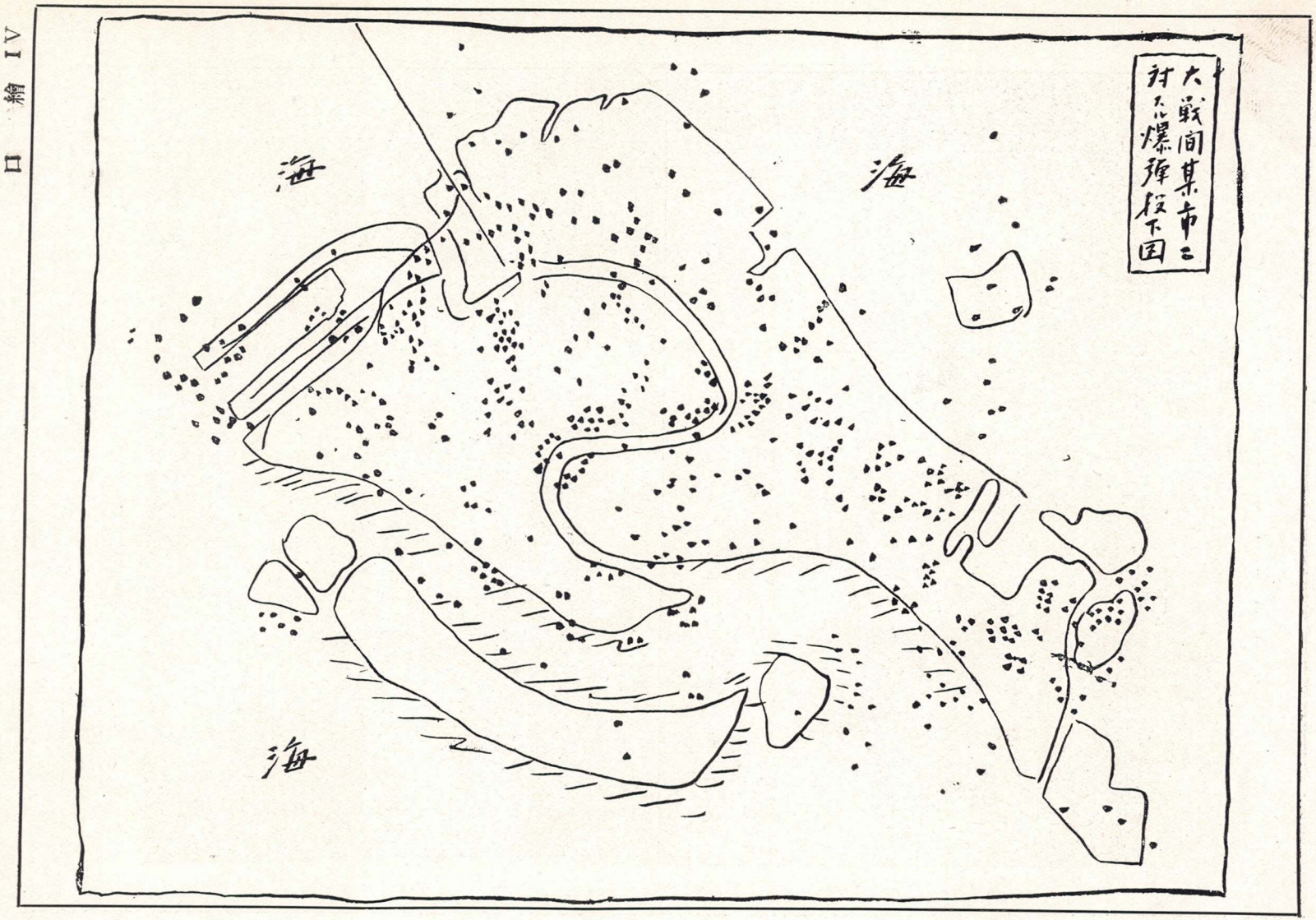


大阪市の上空



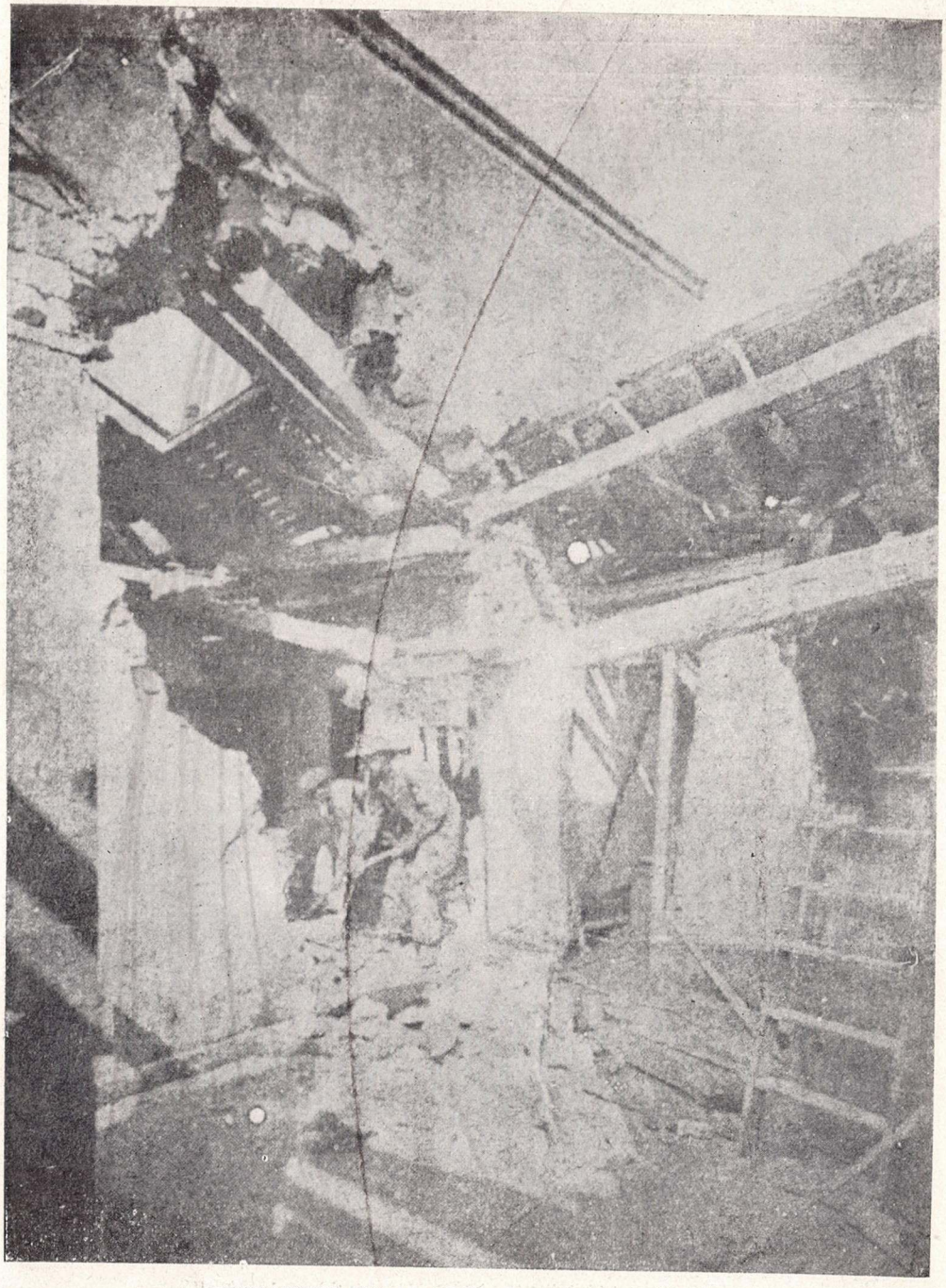


最新式軍用飛行機と其操縦席

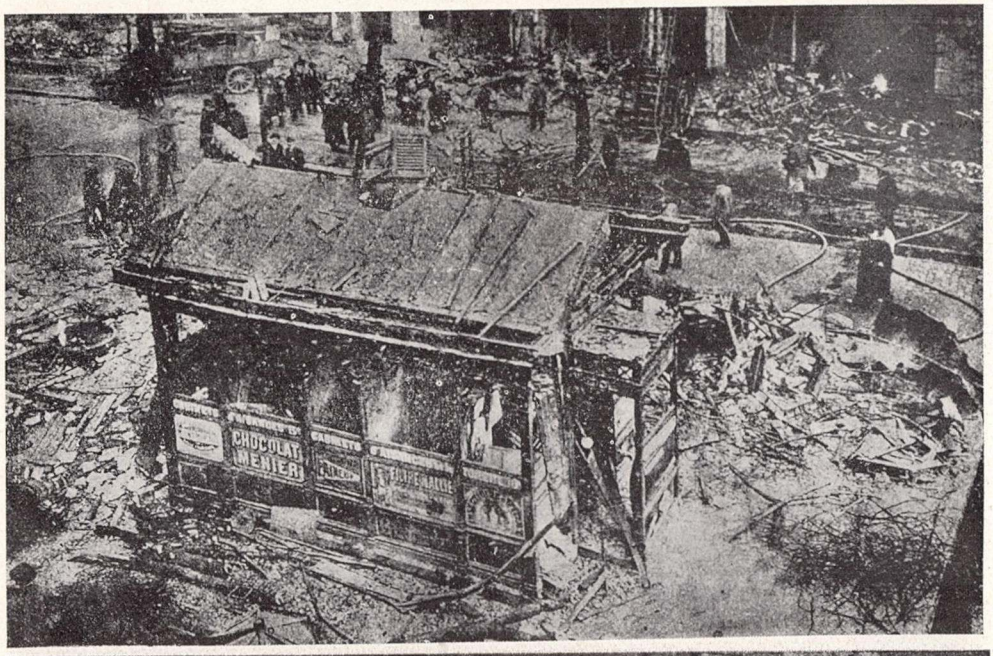

大戦間某市ニ
対スル爆弾投下図
海
海
海



100吉瓦(26貫600匁)爆彈に依り六階建築家屋の全壞(居住民は全部地下室に逃れ巴里火災及水道破壞に基く浸水を免れ得たり)——1918年3月8日



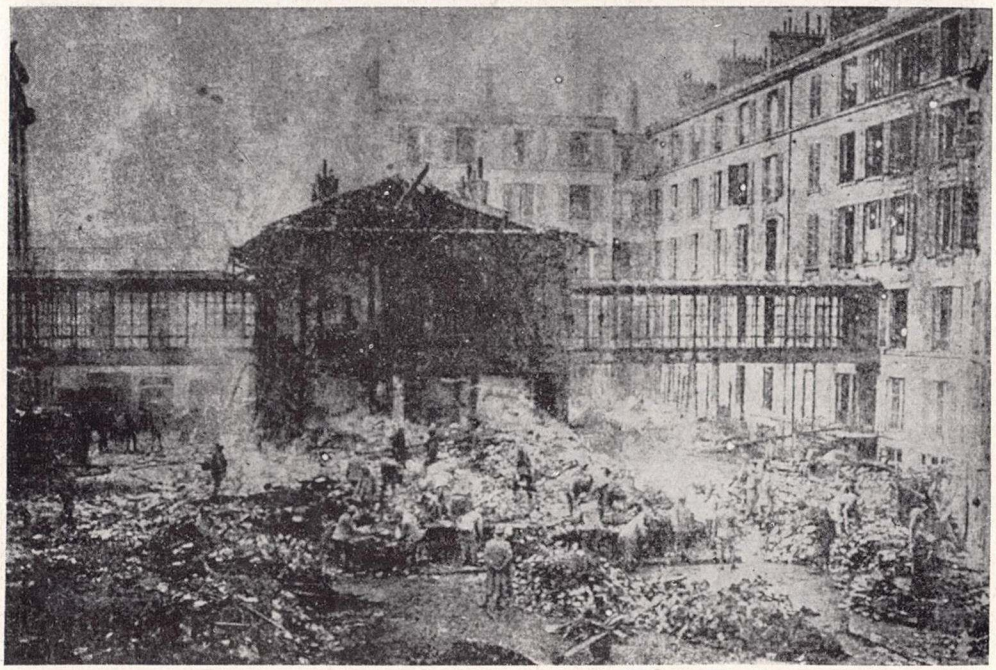
獨軍長距離火砲彈に依り破壞（1918年3月13日）——巴里



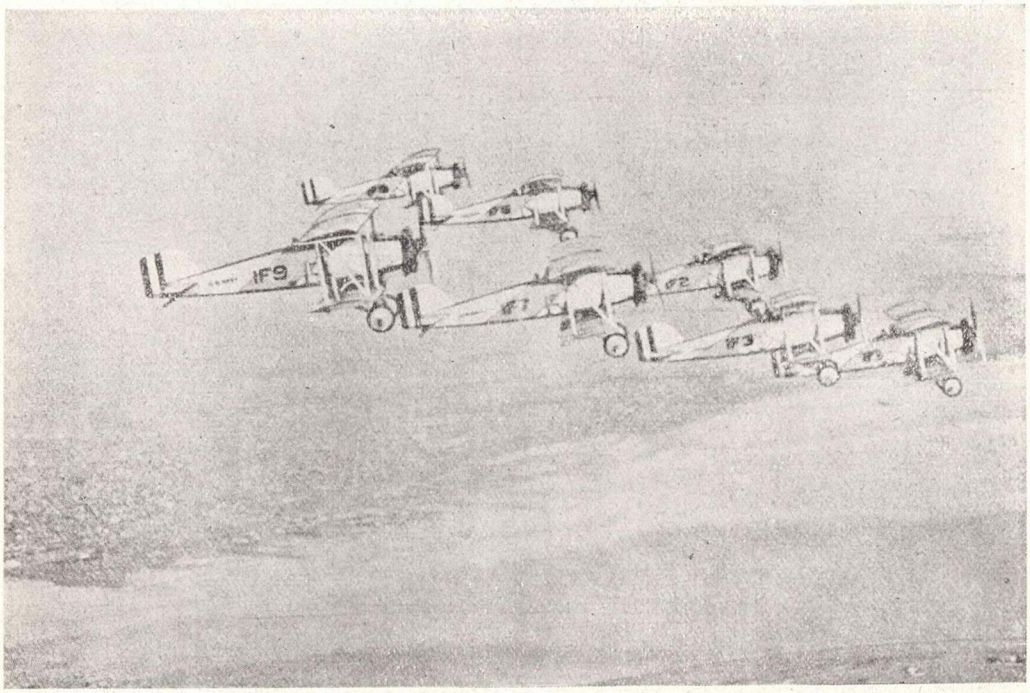


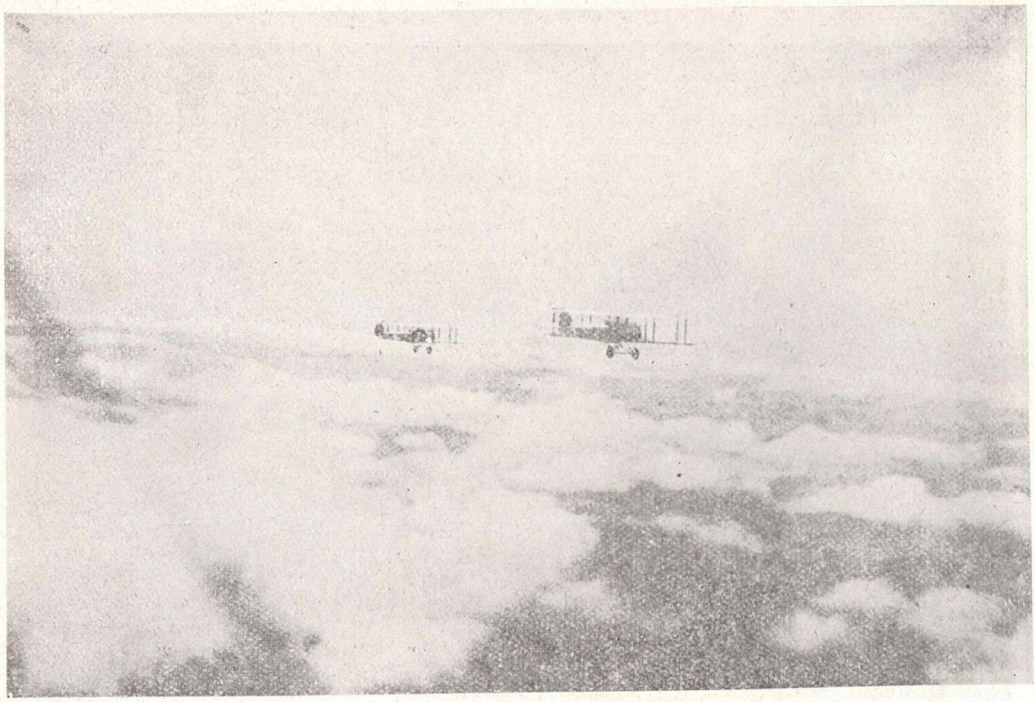
上・ 300瓩（七十九貫八百匁）爆彈一發に依り破壞せられし巴里 Rivoli 街の一部（1918年4月12日）
下・ 爆彈不明なれども梯を下し降下せる人物と爆發地物とを比較する時其威力の大なるに喫恐せしめられるではないか。





上• 50粍(十三貫三百匁(飛行機用爆彈一發に依る Broed ホテル破壞の景況(1918年1月30日)
下• 50粍飛行機爆彈に依り燒却せられし佛國陸軍省中庭バラック燒跡(1918年3月21日)





—空　中　分　列　式—

Rolscreens
The Ideal Screen For Casements

夏の蚊蟲ロールスクリーン

（型錄贈呈）



日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　二二四番　三一六九番
三一六八番

晝は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便なロールスクリーンの御使用を切に御薦めする所以であります。

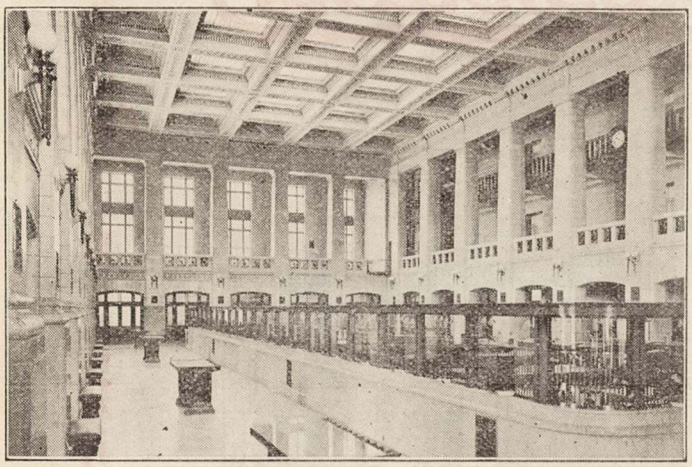
從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實にスクリーンの問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此のスクリーンの用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我がロースクリーンの出現及び提供であります

◆耐震耐火—品質優良—優美高尚—價格至廉◆

金屬天井



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

營業種目

◆建築材料部
▲金屬天井
▲リブプレツクス（リブラス）
▲コーナービード
▲内外メタルラス
▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
▲舶來ウオールボード各種
▲ルーフキング（便利瓦）
▲アスファルトフエルト
▲其他建築材料一般

◆木材部
▲米材各種
▲チーク材
▲ラワン材
▲床板各種

◆穀類部
▲内外小麥粉
▲内外麩

▲内外米

◆工業部
▲製粉工場
▲製米工場
▲金屬鈑工場

型錄進呈

田村商會

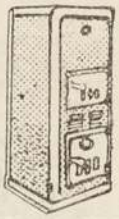
本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇〇一、五〇〇二、五〇〇三、五〇〇四、五〇〇五）

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八一、六八八〇）
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレビー街
電話 八八一

工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一一、二四〇三、二四四、六四〇）

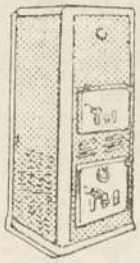
AMERICAN RADIATOR COMPANY

New IDEAL Vecto



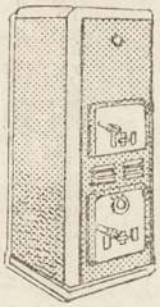
No3C

Heats 2 to 3 Rooms



No5C

Heats 3 to 5 Rooms



No8C

Heats 5 to 8 Rooms

重ナル寸法

型	高サ	間口	奥行
No3C	33"	15"	14"
No5C	43"	18"	17"
No8C	48"	21"	21"

日本總代理店

大倉商事株式會社

東京銀座　　大阪北濱

創業　明治二十六年
製造最大能力　二千五百萬斤

營業品目
印銅、眞鍮、輕銀、輕合金アルモデユール板類、
輕銀各種器物、ストツプバルブ並ニ特許分銅屋根板

○社名變更○
今般都合に依り大阪電氣分銅株式會社を日本伸銅株式會社と改め營業仕り候間此段謹告候也

壁張　分銅屋根板　應用

特許
分銅屋根板

分銅屋根板は經濟的であります
現今一等瓦參拾圓モスルニ比スレバ約六割ノ貳拾圓内外デ立派ナモノガ葺上リマス尙坪當リ葺上拾四圓位ヨリ出來マス

分銅屋根板は體裁優美であります
普通銅板ニ特殊加工ヲ施シテアリマスカラ體裁ハ極メテ優美デアリマス

分銅屋根板は應用範圍が廣い
本葺瓦棟葺棧葺平葺四半張綾目張等ハ勿論壁張腰張等ニモ至極適當ナモノデアリマス

（型錄進呈）



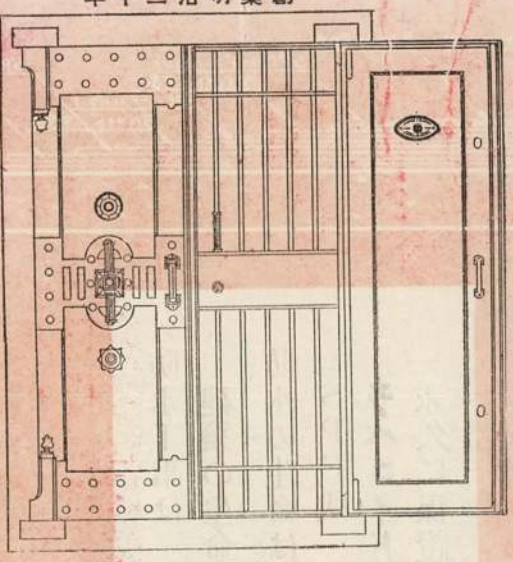
日本伸銅株式會社
大阪市北區天神橋筋四丁目

堀川 (35) 自四〇〇 至四三一六番
（夜間及休日專用）

創業明治二十年

大塚製金庫扉の特色は

防火的理想の完成したる
昭和參年新案特許第壹壹貳五七〇號
瀧村式防火裝置（自働アスベストパッキング）



金庫室防火扉

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の効果を實現す

御一報次第型錄差出申候
應貴意設計圖面調製提出
可仕候

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

御用命を蒙り納入せる尊名

三十四銀行	吉備貯蓄銀行	奈良信託株式會社	武田長兵衛商店
三井銀行	蘇原銀行	三井信託大阪支店	八馬邸
名古屋銀行	灘商業銀行	三井物産名古屋支店	竹内邸
名古屋貯蓄銀行	西海商業銀行	岡谷木邸	池田商店
加島銀行	大阪貯蓄銀行	岡谷合資東京金物部	安藤商店
明治銀行	内國貯金銀行	三菱電氣鋼鐵伊丹製作所	平瀬邸
野村銀行	山口銀行	萩町信用組合	西郷邸
野村證券株式會社	久美濱銀行	名古屋松坂屋吳服店	三宅邸
濱松銀行	大垣貯蓄銀行	東邦瓦斯株式會社	大垣共立銀行
中埜銀行	武庫銀行	大日本人造肥料株式會社	日本銀行名古屋支店
濃飛農工銀行	愛知縣大野銀行	塘野義商店	名古屋岩津邸

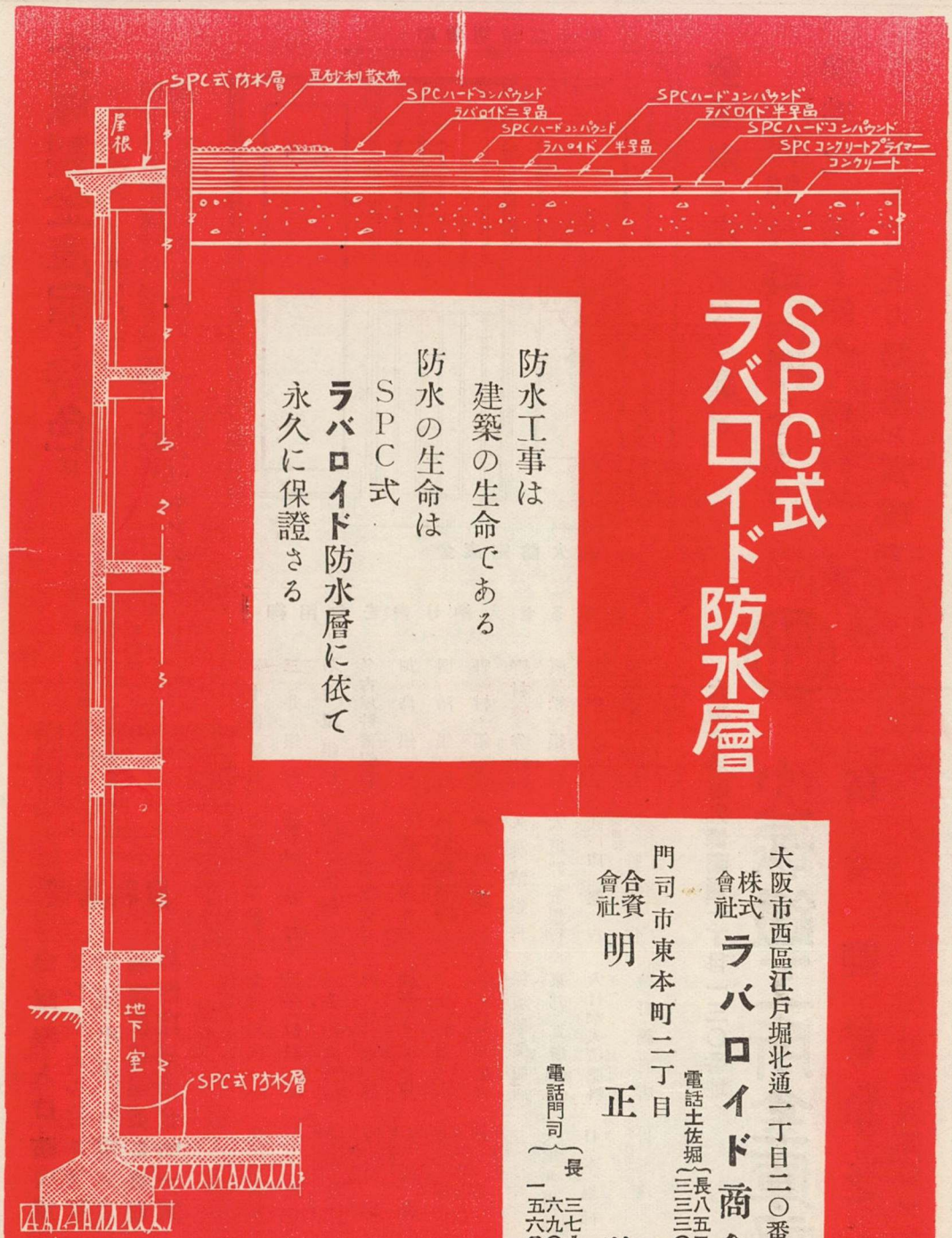
大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

大塚鐵工所金庫部

所主 瀧村松之助

電話西五〇一七番

工場	九條南通一丁目	三軒家上之町	北境川町	



SPC式 ラバロイド防水層

防水工事は
建築の生命である
防水の生命は
SPC式
ラバロイド防水層に依て
永久に保證さる

大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）

門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長 三七八番 六九〇番 一五六〇番）

◆特許山添式防水工事
◆タービヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

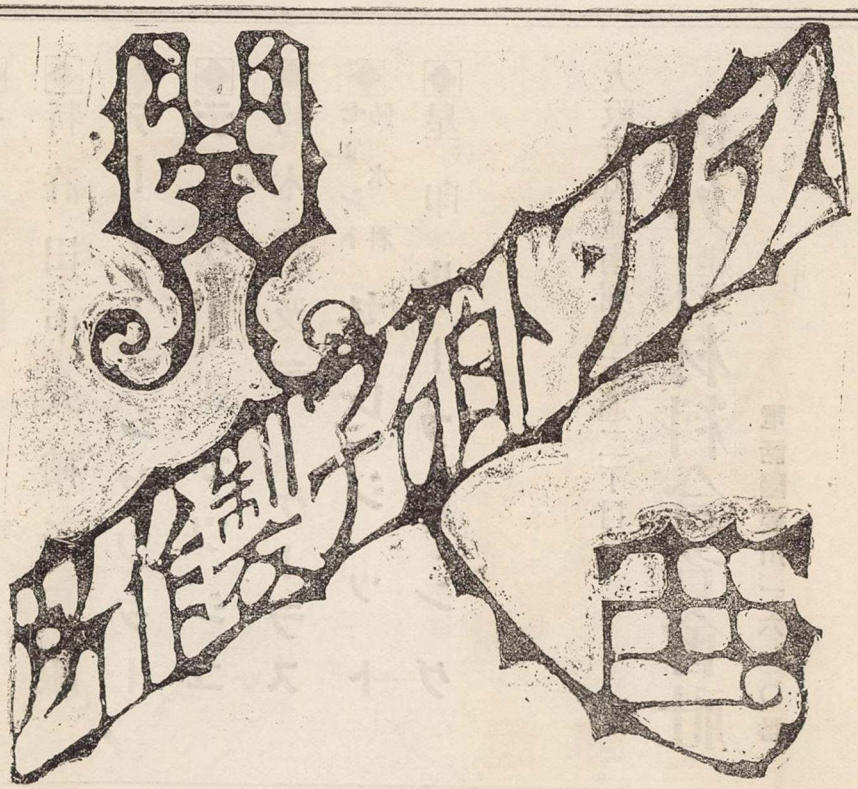
大阪市西區南堀江下通二丁目
内外土木建築材料合資會社
電話阪櫻川一六一〇番

青寫眞

▲晴雨を不論夜間にても燒付得る
▲燒付に乾燥凡てを電氣應用
▲集配は最も敏速を期す

青寫眞
トレース
書類複寫
感光紙販賣

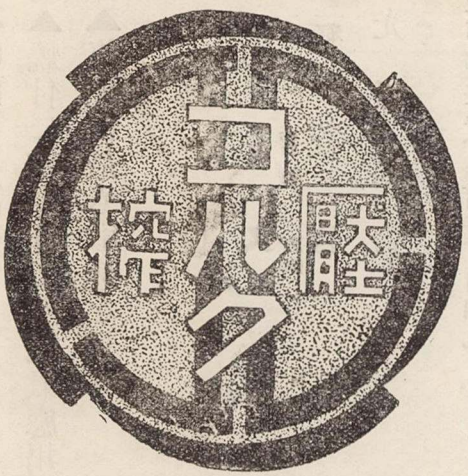
大阪市此花區今開町二丁目四九
河村青寫眞調製所
電話長土三七四二



大阪市港區市岡町五三二
關西ステンドグラス製作所
電話西二二三四番

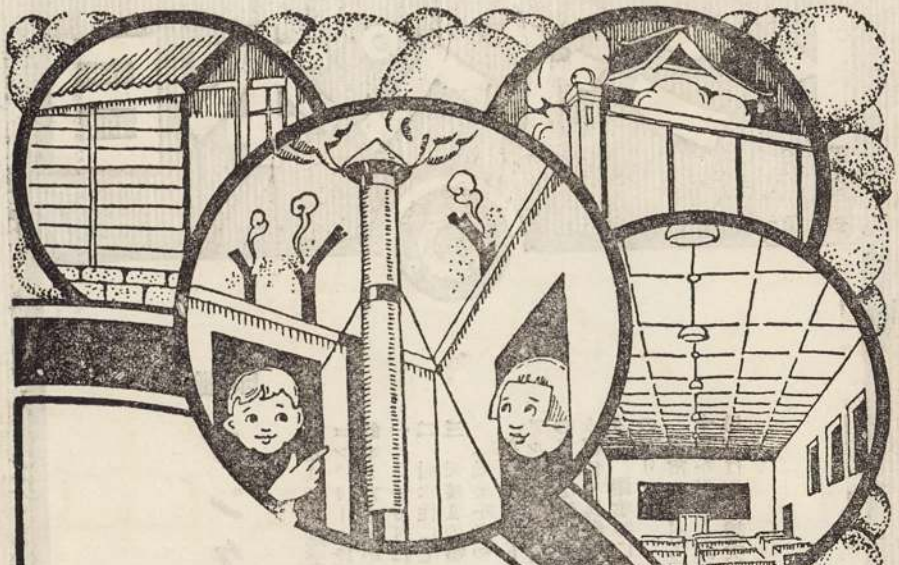
冷藏防熱用（製産高工場設備）**東洋第一位!!**
住宅敷物用、**リノリユーム**下敷用

炭化コルク



東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長一七九二
大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九
東京出張所　東京市神田區豊島町七番地
電浪花八五三番



淺野煙突

石綿セメント製でありますから
燒けません・錆びません・腐りません

淺野壁板

強靱の石綿纖維と純良のセメントが主要原料ですから石膏紙板のやうに濕潤することなく日本壁のやうに剝落することがありません、下見・內壁・天井・間仕切・塀等に用ひて誠に比類なき適品であります

長……六尺
幅……三尺四尺
厚……一分五厘以上二分

淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	札幌
東京市京橋區三十間堀三	大阪市北區曾根崎新地三	門司市白木崎	札幌市北一條東四丁目
電話銀座 1860 1861 1862	電話北 5081 5082	電話 1931 1228	電話 598
振替口座東京 68000	振替口座大阪 78246	振替口座福岡 10964	振替口座小樽 5864

日本ペイント

創業明治十四年

槌印

コンクリートペイント

本品は近代建築様式の變化に伴ひ其必要に應ずべく製造販出せるものにしてコンクリート建造物の欠點たる水分の吸收を防ぎ且つ美觀を呈せしむるを目的としたるものなり　其特長は

一　アルカリに對する抵抗力至大なる事
二　耐水性にして水分の浸透を防止する事
三　天候風雨等の諸作用に對し耐力あり長く其効果を保つこと

普通ペイントにては此場合セメント成分中のアルカリと一種の化學作用を起して完全に塗覆の目的を達するを得ず　本品は全然これに對する要件を具備しコンクリート　セメント　モルタル　漆喰等に使用して十分の効果を現はすものなり

平常　白、卵、樺、灰、鼠、青、桃、茶褐、綠、錆、の十色を用意し尚貴需によりて調製す詳細なる使用法は御申越次第送呈致すべし



資本金五百萬圓

大阪　東京

東洋鑛化粉

チヨコレート色

【用途】

舗床、壁塗用
スレート用
セメント瓦斯
タイル用
其他セメント加工品用
建築材料用
各種塗料用

柄一
黒・辨
黄・緑

並に

TYK

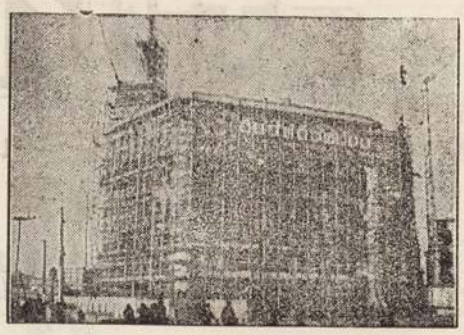
合資會社 東洋鑛粉所

大阪市西成區津守町六壹壹
（高野線木津川驛際）
電話櫻川四二四六番

東京營業所
東京府下淀橋町角筈六六八
電話四谷七八六番







東都數寄屋橋々畔の偉觀

東京京橋區數寄屋橋々畔ニ新築サレタ東京朝日ノ新館ハ其ノ建材外觀總テ新ラシキモノデアルガ下部外側の水色は

東亞コンクリート塗料

ストンコート

ヲ以テ美裝シ上部外側の人造石面は

東亞の防水液

ダムタイト

ヲ以テ防水ニ備へ更に外部各所の蛇腹は

東亞の

トア・スパーワニス

ヲ以テ美麗堅固ノ塗裝ヲ施シ識者ヲシテアット云ハセツツアリ



古河經營

東亞ペイント株式會社



NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
ロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種

製作
設計

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 2367 . 3805 . 5642 番

取締役社長 工學博士 片岡 安

專務取締役 工學博士 堀 覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

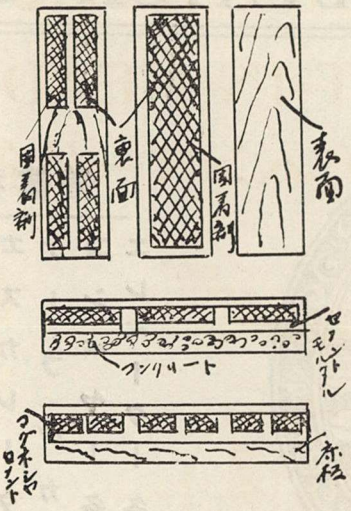
電話丸ノ内 (23) 3073 . 3074 番

專賣特許 東松式外二拾四件

コンクリート上に根太を用ひずタイルを張るに同様セメントモルタルを以て**リソード床板**を張るものなり床板上に張る場合は特種セメントを以て張るものにす。

理想的根太無床板　専賣特許願第一二四五一號
同　右第一二五一五號
新案特許第二七二八七號

丸上式 リソード床板



特長

價格低廉、耐久性絶大、彈方性ニ富ム保溫性快感
衛生的、伸縮浮上リノ憂ナシ無音響、修繕容易耐
水性、耐火性

專賣特許 練革床

特許ピトリウム床
特許ピトチック內外壁
丸上式リソード床板

實剝 楢床板

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

衛生工事

葵式フロリングブロック張立
各種寄木床挽
堅木乾燥材挽

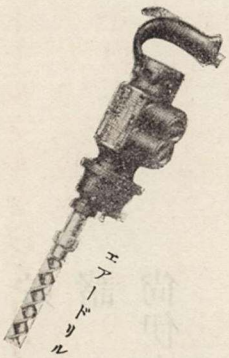
葵商會

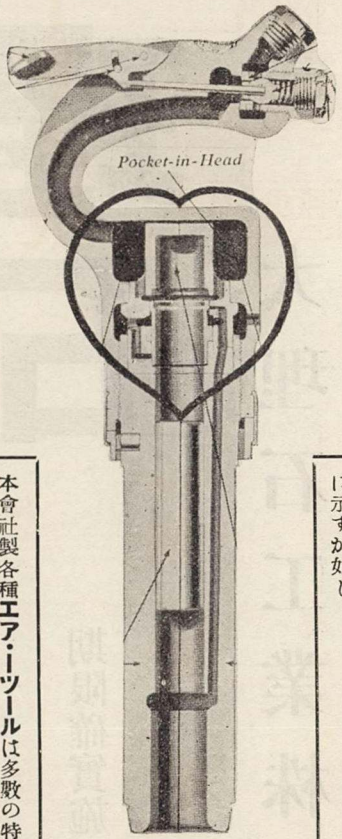
大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西〔長〕四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町一ノ一三　電話銀座三九五・九三二

CLEVELAND PNEUMATIC TOOLS.

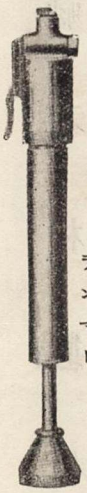
POCKET=IN=HEAD

リヘツテング ハンマー外各種



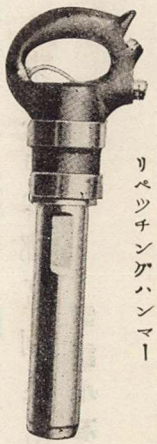






本會社製各種**エア・ツール**は多數の特徴と專賣を有して經濟的優秀能率を示す。建築用諸工事用として最理想的なる**クリブランド・エアーツール**の御用命を乞ふ。

ポケツトの空氣壓縮裝置は**クリブランド・ニユマチツクツール**會社獨特のものにしてピストンに與ふる衝打力の强大且早く經濟的なる最大特長を有す**メーンウルブ**を圍む此**ポケツト**裝置は左に示すが如し



The Cleveland Pneumatic Tool Co.

東洋總代理店

株式會社 **アンドリュウス商會**

本社 東京市芝區芝公園五號地二ノ五

支店 大阪市西區江戸堀南通三丁目一八

名古屋・小倉・札幌・京城・臺北・大連・紐育

大理石

貯藏石材製板豊富
諸機械設備完全
尚伊太利産石材モ多數在庫ニ付キ御下命ヲ乞

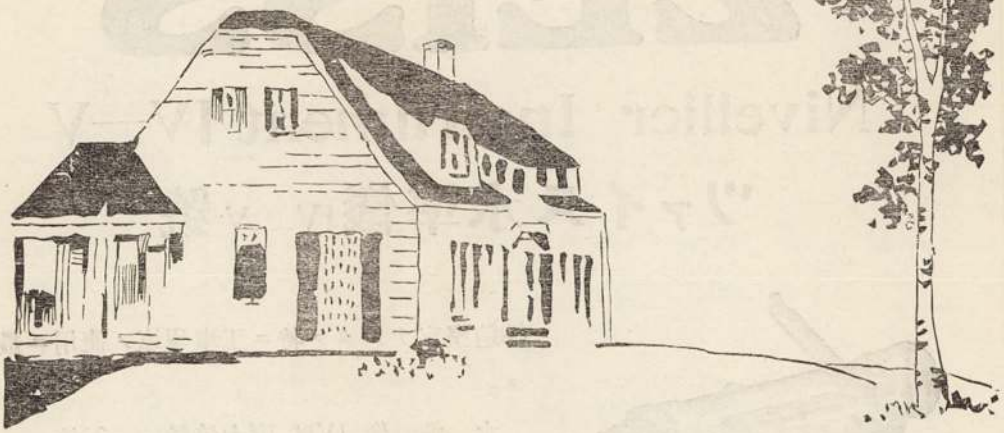
期限確實施工入念

大理石工業株式會社

大阪市港區市岡町（市岡元町停留場南）
電話西七六七番　西八〇三番

大理石工業株式會社東京出張所

東京市本郷區駒込富士前町八〇
電話小石川七三七八番



コンクリート建造物の防水と美装

◉槌印コンクリートペイントの推奨

事務所、住宅等總べてのコンクリート建造物の内外壁は本塗料の塗裝により完全に防水と美裝の効果を揚げ得る事が出來ます。
新らしい設計にて是非御採用を願ひます。

見本說明書
塗見本帳　贈呈

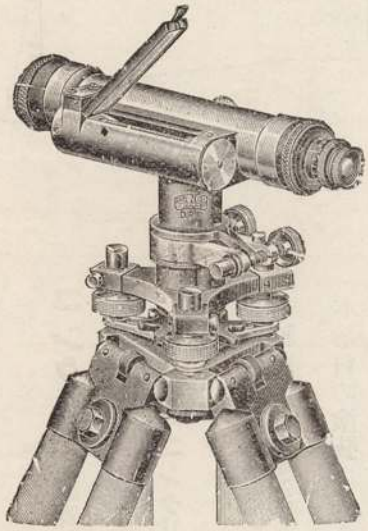
製造元　日本ペイント製造株式會社
發賣元　大元商會

大阪市西區薩摩堀東町
電話新町長二一六五
二二一六

ZEISS

Nivellier Instrument IV—V

ツァイス水準儀IV—V號



構造堅牢ナルタメ特ニ工事現場ノ使用ニ最適ス。

水　準　儀 IV號 廓大倍數　20倍
水　準　儀　V號 廓大倍數　30倍
標尺糎分劃ハIV號ニアッテハ　250m
　　V號ニアッテハ　350m

距離マデ讀取リ得。

兩者共望遠鏡內ニ距離測量用較合線一定ノ間隔ヲ以テ施シアリ。

其他經緯儀，ウインケルプリズマ，水準式距離測量儀アリ。

Geo 2附記御報次第型錄進呈

（弊社測量儀全體ニ亘リ詳細說明アル邦文ノ小冊子ガ最近出來マシタ，御希望ノ方ニハ御申越次第無料ニテ御送附申上マス）

カール ツァイス 株式會社

東京丸ノ內郵船ビルデイング七階
電話丸ノ內 23）三〇六五番
　　三〇六六番

CARL ZEISS
TOKYO
KABUSHIKI KAISHA

SPECIAL ❖ BORING

ボーリング・鑿井

○明治十八年創業 斯界之権威 ｛古キ歴史ト経験 特許ノ機械器具 獨特ノ優秀ナル技術｝＝他ノ追従ヲ許サズ

○標語 ｛岩盤、玉石、土質ノ硬軟水壓ノ別ナク 工事ノ多少ニ不拘 迅速正確低廉

○特長 ｛鑿井 ｛施工簡易 水潜混ゼズ 任意ノ水層附近ニ集水 鑛管内厚位等ナソケット継合 井側鑛管ト同深ノ砂層 裝置ノ「ストレーナー」 漏水不浸 挿入安全 土壓ニヨル鑛管破壊ノ憂ナシ 生命永久 ボーリング ｛粒土ヲ用ヒズ 地層ノ區別完全 標本土正確 地質ノ硬軟 土質 水位 フレシヤー、フレクション モ詳明 耐壓モボーリング表ニテ明瞭ス

○光榮 ｛諸官衙 技術大家 諸會社ヨリ多数ノ成績證明ヲ賜ル 宮内省特ニ御用命ヲ拜ス 大阪東京兩市電氣局高速度鐵道調 東京地下鐵道株式會社御用命ヲ受ク

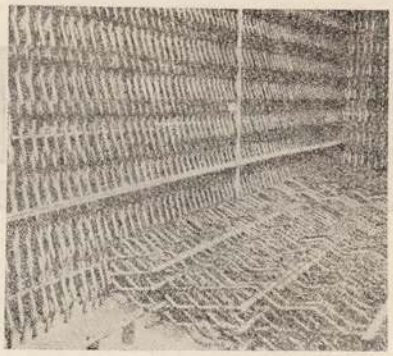
○推奨 ｛基礎工事ヲ施ジ 震害豫防ニ 費用僅少定評アル森川ノ名聲ボーリング 水ノ解決ノ爲メニ 合理的ナル森川式鑿井

地質調査ボーリング
コーアー式ボーリング
特許 森川式大鑿井
特許 森川式井側裝置
揚水裝置
杭打試驗
載荷力試驗

森川組

店主 森川鴻爾

本店 大阪市西區幸町一丁目 電櫻川 長四四一 三〇一
支店 東京市神田區金澤町 電下谷 五五三二



（スチールクリートメッシュ配列圖）

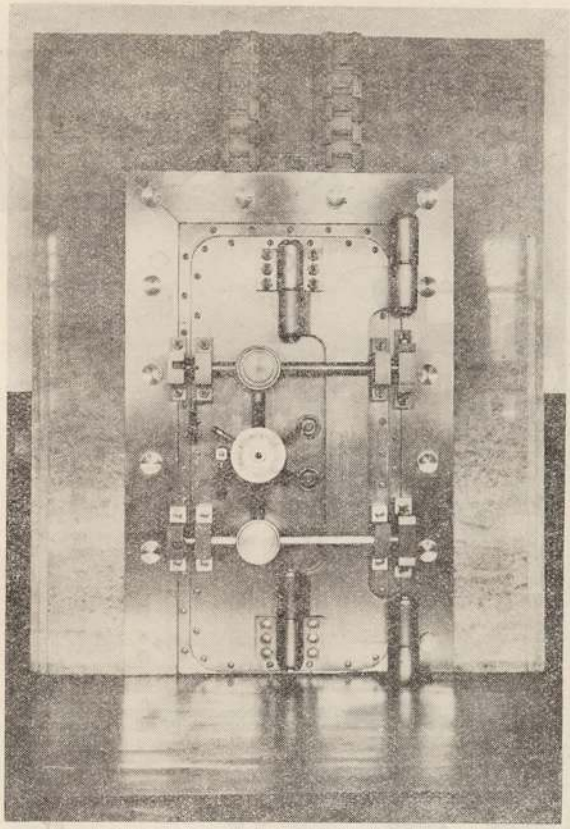
▼理想的金庫室ヲ造ルニハ▲

スチールクリートメッシュ

ヲ以テ壁床天井ヲ造リ

モスラ金庫室設備

ヲ施スニ在リ!!



（室庫金ーラスモ社會託信田織）

總代理店

三井物産株式會社機械部

賣販設計据付工事請負

三機工業株式會社

本店　東京市京橋區湊町（大阪ビル内）
電話銀座三五〇三・三五四（五）

支店　大阪市東區備後町（野村ビル内）
電話本町一一六六・一五二五

取扱店　各地三井物産株式會社機械部店支



新版大阪圖繪　土佐堀川

空敵防禦の要

我國は地理的に其占むる位置の關係上幸に今日迄は建國以來只の一度も敵國の侵入を許さなかつた、が、現今各種各兵器の著しい進歩につれても早昔日の如き偸安を許さなくなつた、特に航空機の發達は爆藥の進歩と共に一度之が襲撃を受けんか其被害の甚大なること到底想像をも容されざる程度の悲慘極まるものである、物質上は勿論精神上に於いても強大なる打撃を免がれない。（口繪參照）―彼の歐洲大戰當時ロンドン市民がツエツペリン病と云ふ奇病を發し發狂又は病死したことは未だ讀者の記憶する所ならむ。

今や戰爭の勝敗は單に軍隊の力のみによりて決せざる事情にあり、國民總動員を必要とし特に戰時の都市に於いては尙更超高速度的商工能力の發揮を要求せられる、都市の空敵防禦の設備の必要は國家の保安上最大重要事なるに拘らず而も之が實施は其經費の多額なると人工の多大なると而して借すに長月日を要する等至難にして且つ複雜なる事情にある關係上之が實行に入るは一日も早きを得策とする、道路に、交通機關に、水道に、電氣に、而して特に建築に於いて、其他萬般の施設物的に對し空敵防禦上常に愛國的精神を以て絶えざる努力を必要とする。自國の危急は自國民によりて救ふより外に途はない。一朝有事に際會して泥繩的要求は絶對に容れない事を明記する必要がある。（三、六、三〇　佳山生）



航空機の發達と都市の建築

工學博士　片岡安

航空機の發達は全く最近十數年來の事に屬するので、都市建築がそれと何等の關係を持つて居ないことは言ふまでもない。言ひ換ふれば都市の建築物は千數百年來の長い間世の中の進歩に連れて漸次に發達して來たもので、僅かに十數年來突然とその姿を現した航空機の進歩に順應して、其形態實質を變化せしめる餘裕がある筈はないのである。然らば都市の建築が今後航空機の發達更に著しきものがあつても、その影響を受けなくても濟むであらうか、否々、現に從來の建築物は色々の方面よりして航空機の利用を促進すべく、又其襲撃から免かれる爲め完全なる防備を具ふべく、一大改造の機運に遭遇して居るのである。況してや過去僅かに十數年に現在の如き一大威力を揮發するに至りし其の經過から想定して今後更に更に驚くべき飛翔能力を高めんとする航空機に對していかで建築物がそれを默過し得ようぞ。交通運輸の利便と襲撃破壞の防禦とその兩方面から今後の建築は其構造、形態及配置に於て一大革新の時期に入らんとするものであると考へられる。

今より約二十年前ウヰルバー・ライト氏が飛行機を造り、僅かに數十メートルを飛翔し得たといふ一大快報が傳へられし其前年に獨逸政府の顧問ルドルフ・マルチン博士は、左の如き論文を發表し、將來獨佛の間に飛行船の戰爭が起りはせぬか、若し起るとせば、佛國の優秀なる氣嚢式飛行船に對して、獨逸は硬質のツエツペリン型を以て十分に防禦せねばならぬと說き、更に進んで日本の如き人口稠密なる國は一朝有事の際に空中艦體によりて海港を閉塞されて大に窮狀に陷るであらふと附け加へたのは、其當時としては實に突飛なる觀察であつたけれども、其後の事情はマルチン博士の推定よりは更に甚しく進展し、飛行機の驚くべき進歩によりて國際間の局面は過去の如何なる人もが想像し得ざりし程度に變化して來たのである。

『若し彼か現に所有するラ・パトリー型四艘の空中軍艦(飛行船)を數百倍と成して我國境なるメツツやストラスブルグの要塞を襲撃し、進むでエツセンのクルップ工場やスパンダウの兵器工場を撲滅せんか、其危險や寔に怖るべきもの



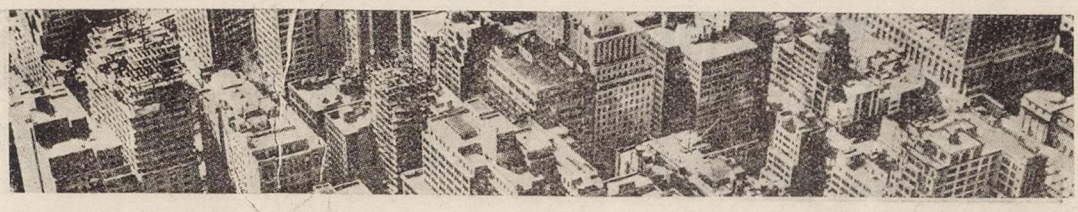
である。殊に夜中に於て中立國の上空數千メートルを航空して伯林其他の大都市を襲ふに至つては、何等之を豫知するの途がない。若し斯かる彼の計畫が漸次進行するものとすれば、歐洲の陸軍は宜しく騎兵團を縮少して大航空艦隊を建造せねばならぬ。騎兵の眼界は小さいけれども空中船の視界は廣大で凡ゆる偵察を逐ぐる外に無線電信や寫眞等の利器を以て敵の內情を知り得る便がある云々……と』。

『而して其建設費に至つては、ラ・パトリー型一艘二十萬馬克硬質アルミニューム型のもの一艘五十萬馬克に過ぎないから、一億萬馬克を以てすれば二三百艘の空中艦隊が出來るのである。有力な空中艦隊は陸上の奈何なる武力を以てしても之を征服することは出來ないから、空中艦隊を以て對抗するより外に途はない。空中戰の抗爭は互に其氣嚢を彈子にて擊破り之を落下せしめるか、燐液又は二硫化炭素液を敵の氣嚢に振り掛けて爆破せしむるかの方法を用ふるを順序とする。茲に於て我獨逸のツェツペリン伯のアルミニューム飛行船は、佛蘭西の軟性氣嚢式のものに比すれば一日の長あるを認める。即ち佛の氣嚢式のものは一擊で打ち墜されることがあるけれども、ツェツペリン型のものは內容の區劃が多い爲めに容易に之を射墜す譯にはゆかない云々……』

『飛行船に依て海港を閉塞する事は又易々たるものがある。即ち強大なる飛行船數十艘に水雷を積載してテームス河口やエルベ河口に之を沈めたならば一擊にして其航路を絶ち得るではないか。日本國の如き土地狹く人口多き國が若し露西亞其他の國の空中艦隊に依りて外部より閉塞されたときは、具窮狀蓋し容易ならざるものがある。併し日本人の恰悧なる智嚢は近き將來に於て隣國のものに海上權を奪はるゝが如きことはなからう……』

飛行機及飛行船の進歩は今日は已に一般交通の便に供せらるゝまでになつた。殊に快速を必要とする方面の通信と交通には經濟的に又社會的に十分に利用せられて居るのであるが今後に於て其利用を更に促進せんとするには、どうしても都市の建築物改造に據らねばならぬのである。即ち飛行機の出發及着陸には建築物の屋上を以て之に充てるを便利とするのであるから、停車場其他都市の大建築物には其施設を如何に取扱ふかを以て其配置及設計の第一義とし、航空の發着と陸上交通との中間的施設としての建築物利用の計畫を考究すべき時期に到達したのである。先年大阪商工會議所は我大阪の停車場改築に際しては其屋上に飛行機着陸の施設をなすべきことを建議したのである、當局は果して其建議に贊意を表せしや否やを審にせぬけれども、必ずしも一顧の價値なき意見としてそれを葬り去る譯にゆかない。

平時の際に於ける社會的及經濟的の必要に應ずべく、都市の建築物は航空機を十分に利用し得べく其改造を必要とすることは言ふまでもないのであるが、如何にして其利用の目的



を達せしむべきやは可なり六ケ敷き問題として殘されるのである。殊に今後の飛行機の進歩は如何なる方面にまで達するやの疑問があり、又建築物を通じて其利用を全ふせんには飛行機の如何なる部分の改良を急要とするやの問題も未だ十分に講究されて居らぬような狀態にあるから、今後飛行機の製作とその新しき改良に就ては、建築物の改造と相待ちて、其研究の方針を定めねばならぬのである。

更に一朝有事の際を考ふるときは、都市の建築は航空機の襲撃による破壞及燒失に對する完全なる防備を有つことを以て其最大の要素とする。歐洲の都市建築は十九世紀以來大體に於て不燃燒質のものを以て其構造の主體とするので、飛行機の襲撃による其破壞には耐へ得ないけれども、燒失及延燒の災厄に就ては不十分ながら其防備の目的を達し得るのである。歐洲大戰亂の際に獨逸飛行機の襲撃に對して倫敦の建築は局部局部に破壞の災厄に遭ひながらも、爆彈による燒失及延燒の苦難は漸く免かれたのであるが、その後非常に進歩せる飛行機を以てする襲撃に對して果して十分に其燒失の災難を免れ得るやは疑問とされて居る。飜て我國の都市を見るに過去の如き弱小の威力を有するに過ぎざる飛行機の襲撃に對しても、恐らく其破壞及燒亡を免かれ得るものは殆んど皆無であるとも言ふも過言ではあるまい。況してや最近の航空機の進歩、其飛翔持續の能力增進及爆藥積載量の增大等に鑑みるときは、我國の都市は航空機襲撃の前には我帝都を始め大中小の諸都市一として風前の灯と一般甚だしき不安を感ぜざるものはないのである。固より飛行機又は飛行船により空中襲撃を受くる時は航空機によりて之を要撃し更に航空砲の施設によりて其近づき來るものを撃破するの手段を講ずれば、其安全を期することは出來るけれども、如何なる場合にも敵機の襲撃を全部都市郊外に於て撃退し得るものと考ふる譯にゆかないから、都市の地位が政治、的軍事的に重要であればある程敵機襲撃の機會を多く有するものと考へねばならぬ、故に都市を構成する重要なる建築物は原則として燒亡と延燒を免かれ得る防火建築たるを必要とし、更に進んで其破壞から免かれ得るような構造物たることは最も望ましい要素でなくてはならぬ。此意味から見て我國の大都市の建築物は一般に其改造の急要に迫れるものであると考へられる。

我國の文化は最近五六十年の間に從來の封建文明より一轉して國際的の潮流に合致して其進展を續けて居るのである。政治、教育、軍事、經濟、衛生其他社會萬般の施設何れも國際的色彩を以て進展せざるものはない、航空術の如きも軍事的に又經濟的に世界の流れに後れざらんとして大に其進歩を計りつゝあるもの、一つである。然るに都市の改造特にその建築物の改善に至つては其進展まことに遲々として進まず、其大部分は封建時代の遺物をその儘繼承して居るに過ぎない狀態である。固より經濟的に重要なる建築物は漸次現代式に改造されつゝあるのは事實であるが、都市の經濟的幷に軍事

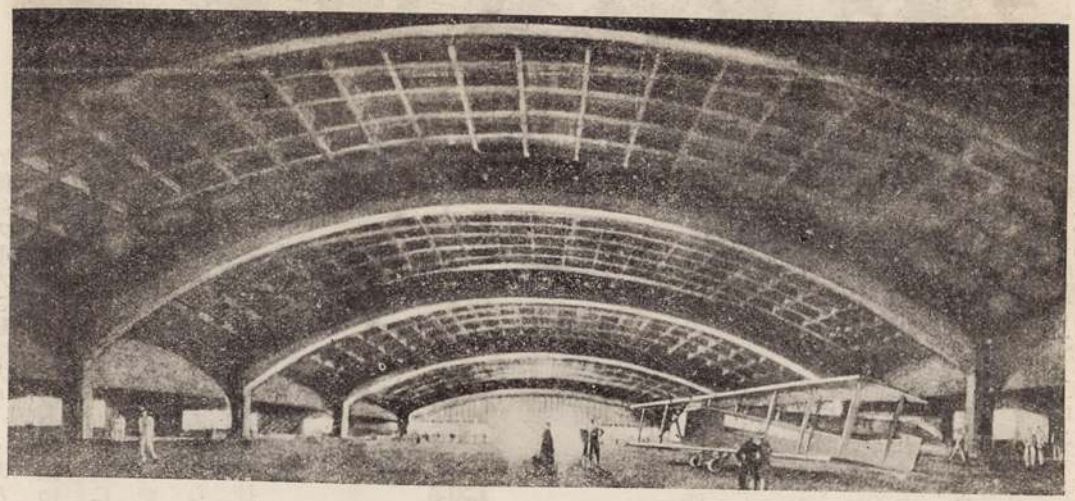


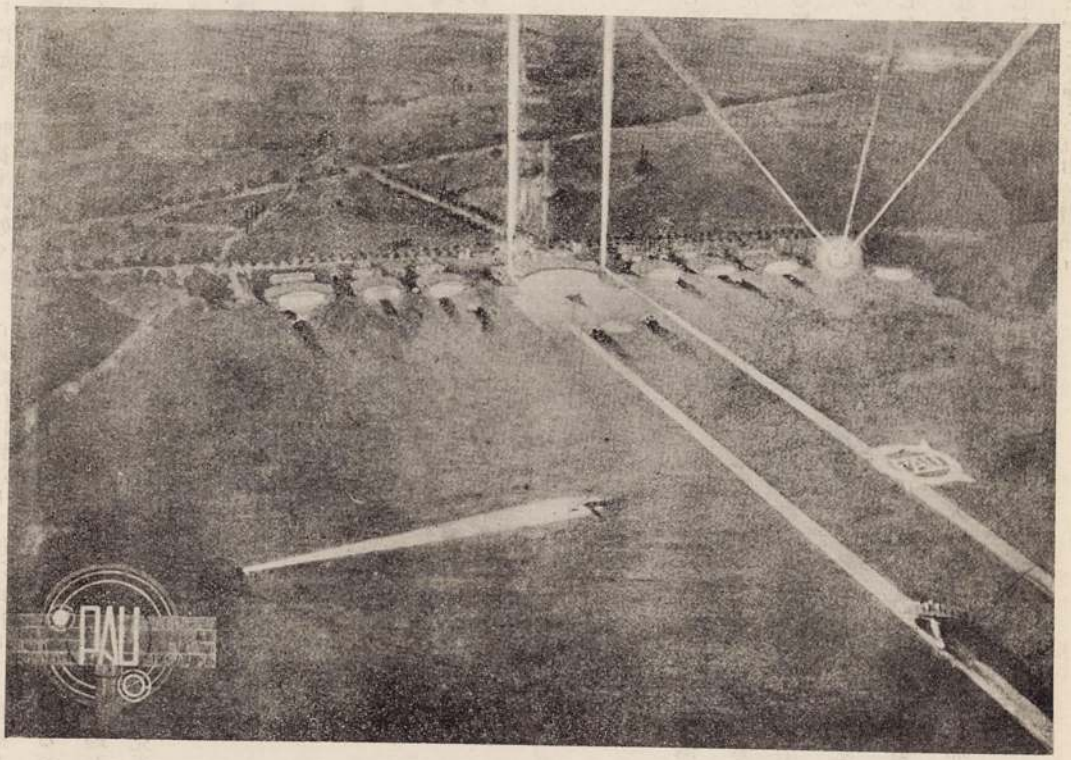
航空機の發達と建築

工學博士　武田五一

航空機の發達に對する建築構造上の注意に關しては歐洲大戰中數々彼地の建築雜誌に散見したる所有れごも要するに耐火耐震の家屋を以て組立てられたる都市を作り地下構造物を多くするより他に方法は無之ここかこ存候その一ツ高層建築を多く作り其下層に避難するも宜しかるべく都市に綠樹帶を多く作りてカムフラージュを容易ならしむることも亦必要かこ存候高角度砲の活動を敏活ならしむる爲めの大道路も一日も早く作り置かなくてはならぬここかこ存ぜられ申候鐵筋コンクリート構造が爆發に對して著しき抵抗力あることは爭ふべからざる事實なるらしく石造煉瓦造なごの抵抗力をも測定し置かねばならぬこと、存じ候木造建築は全然空中防禦に對して無能力なることを強く市民に了解せしむることも亦一日も忽にすることも出來ずこ存じ候尙空中防備に對する建築學的の研究をなす爲め大學に一講座を置くも亦面白きここかこ存じ申候草々

的使命の重大さを增大しつゝある今日に於て、唯從來の如く部分的に局部局部の小數の建築物が緩々改造されつゝあるようなことでは、一般の文化進展に全く取殘されて遂には收拾出來ない羽目に陷るのではないかこ思はれる。殊に航空術の進步は益々著しきものがあるから、都市の經濟的及軍事的使命を全ふせんには其建築物は急速に徹底的に改造されねばならぬ時代に到達して居るに拘らず、相變らず緩々部分的改造に甘んじ、來るべきあらゆる慘過こ恐るべき損害に備ふるの途を講ぜざることは、吾人の斷じて看過し得ざる內憂ではあるまいか。都市建築の改造は此點から見て我國目下の一大緊急事であるこ信ずる。





フランスの一建築家が巴里の博覧會に出品したホラル、食堂及税關設備を有つ飛行機發着場の設計圖であります、格納庫に多數の旅客を一時に收容し構造は鐵筋コンクリート造であつて採光の爲に屋上は全分採光に適當な硝子を使用してある、もち論夜間の發着にも何等の支障なき設備である。



防空上都市構成と建築

第四師團參謀長　澁谷大佐

第一　防空の要諦

第二　世界大戰より得たる防空上の教訓

第三　都市構成と建築

今回始めて貴協會の紙上を道して皆樣に私共の平素の所感を申上げて御垂教を乞ふの好機を與えられましたことを深く感謝致します。扨私共も固より人類の共存共榮民族相互扶助を高唱するものでありますけれども國家民族の間で有史以來一年に一回以上の鬪爭を行つて來て居るといふ統計に照して見まするに吾人は理想の實現に邁進するの一方現實に處して我君國の隆昌を計る爲に眞面目に國防の充實を期せなければならぬと思ひます。支那の現狀、否世界の大勢より推して世人亦吾人と感を同ふせられつゝあるを悦ぶものであります。而して私は昭和國防の一新點は將に國土の防空が其主要なるものの一つであると斷したいのであります。

此國土防空上我國は次の三大弱點を有して居ります。即ち

我國土は到る所他國より空襲せらるゝ距離にあり我國民性は敏感なり。

建築物は可燃性物料よりなるもの其大部なり。

此見地よりして私は我國土防空の要諦及大戰の教訓を概說し都市構成並建築に及ほして見たいと存じます。唯繁務の余暇を竊みて物せるもの固より所論淺薄正鵠を失する所多きを憂へて居ります、幸に御示教を得ば幸甚に存じます。

第一　國土防空の要諦

抑も國土防空の要諦は一般國防と同じ樣に機先を制し遠征によりて敵國を降服せしむるを第一義とし之と同時に遠征成功迄我國土の直接防空をなすにありと信じます。

抑も空襲の目的とする所は敵國の政治商工業中心地軍事並産業要點等を覆滅して有形無形の打擊を與へ野戰軍の成功に先ち或は之と相俟つて戰爭の輪贏を決せんとするにあります



ので隨つて戰爭の繼續する限り執拗に反覆實施せられる攻撃法でありますから戰爭終結迄は敵空襲の根絶は至難でありますと同時に國土の直接防空を切要とするのであります。吾人は紀元前二一八年の春カルタゴの勇將ハンニバルがアルプス山脈を越えて北部イタリアに進入し破竹の強を以て南下し南イタリアに冬營中ローマのスキピオ軍に其本國を攻撃せられ遂に其雄圖空しく消えしを思ふ時今昔の感深きを覺えるのであります。

第二　世界大戰より得たる防空上の教訓

抑も空襲と防空とは千九百十二年獨軍ツエペリン飛行船の遠航成功と之と前後して行はれし米國ライト兄弟のライト飛行機の成功に端を發して居りますが爾來大なる發達を見ることなくして歐洲大戰となりました。次に千九百十四年夏より滿四ヶ年の間歐米交戰各國は國土を敵空襲に晒して陰忍持久國の精鋭を擧げて空襲と防空に精進しましたので此等より得たる經驗は多方面に亘り多大の有益なる教訓を與へて居ります。以下之に戰後に於ける軍事の進歩を加味して聊か御話申上度いと思ひます。

其一　空襲航空機及投下彈丸

空襲航空機として始めツエツペリン飛行船が使用せられましたが飛行機及高射砲の發達によりて影を沒して爆撃飛行機が現出しました現在では約一噸の重量ある爆彈一箇を搭載して遠航することが出來ます。其航續距離は現時は二千數百吉米に達し所要時間も約十三、四時間であります。

投下彈丸は爆裂彈を採用致しましたが最近では燒夷彈毒瓦斯彈が實用に供せらるゝことになりました。

其二　空襲機數及空襲航路

大戰間は一回の空襲に使用しました機數は數機より七十機に及んで居ります。

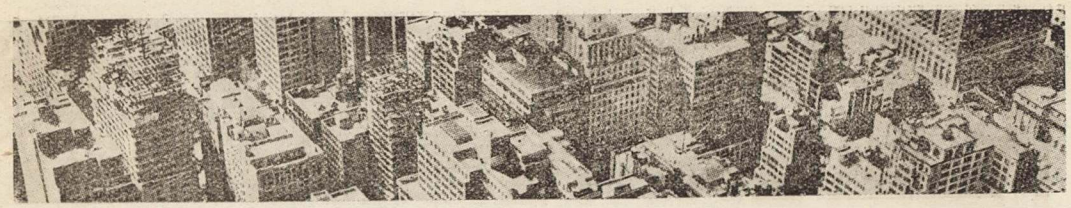
空襲經路は海岸線鐵道河川等は好航路となります又羅針盤による飛行をも行つて居ります。

其三　空襲方法

突襲は前記にて數多の方向より逐次波濤的に行ひ或は突如奇襲するものでありまして現今の航空機は航空設備せる敵に對しては空襲時刻を夜間に選び高度四乃至六千米に取るものと思はれます。投下彈丸の種類は前記の通りでありますが尙將來は空襲の機會を利用して市民に對する惡宣傳を投下する事を覺悟しなければなりませぬ、又學說としては公法を無視して『ばいきん』を投下する敵もあるべしと論せられて居ります。

其四　國土直接防空の『システム』

大戰後各國の採用せる國土、都市の直接防空法には積極的行動によるものと消極的手段によるものとの二法があります積極的手段は次の如くであります。



防禦飛行隊　敵進路の要點附近に駐屯して必要に應じ敵を驅逐するものでありますが高射砲彈の發達並補充の關係及高射砲射撃の方式、高射砲の多寡によりては都市の中央又は一方面の直接防備に任ずることがあります。

高射砲隊　都市の外圍に多數配置せられて射彈にて敵機を撃墜又は驅逐するものであります、必要に應じて都市内にも又敵機進路の要點にも配備せられます。

其彈丸は空中で破裂して地上て落下した時には人畜に危害を及ぼさぬ種類のものが使はれて居りました。

照空隊　防禦飛行隊及高射砲、高射機關銃隊に協力して敵機を照し飛行機の攻撃又は高射砲、高射機關銃の射撃を便にします。

高射機關砲　又は同機關銃隊は低空飛行機を射撃しますので市街内では『ビルデイング』等の屋上に配置することもあります。

以上の手段をとるには大規模の防空監視を要します。

消極的防空手段は前記手段の補助とし又は被害の減少手段でありまして次の如くであります。

燈火管制　敵に防禦地を指す爲め夜間防禦都市を中心とし廣地域の屋内燈の屋外漏出を防ぎ不用屋外燈は消燈し萬止むを得ざるもののみを殘して上空遮光を行ふものであります。

防禦氣球隊　都市の周圍の一方面又は内部にて多數繫留氣球を約四千米以下に昇騰せしめて其索により來襲する敵機の撃墜を計るのであります。

僞裝隊　在來の重要建築物又は好目標を呈する地點を敵機に對し遮蔽又は假裝するの意味の作業に服します例えば夜間空襲に對して市街内大池又は城の堀等を他のものの如く假裝し又は晝間煙幕を張りて敵機をして目標發見を困難ならしむる等の任務に服するのであります。

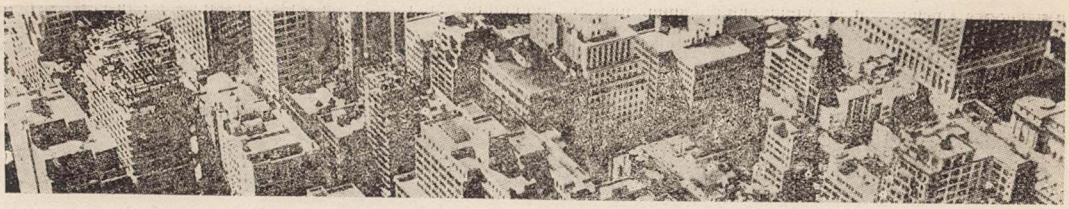
消毒隊　將來戰には投下毒瓦斯に對する消毒に任するのであります、華府會議では毒瓦斯は使用せぬ事になつて居りますが其有効期限も殘僅少年月であり且假令之を禁止してありましても戰時果して此禁止が守れるま否やは保證し得られないのは大戰に於ける獨軍の白耳義侵入によりても明かであります、尚將來戰に病毒投下まで論ぜられて居る事は前述の通りであります。

消防隊　投下燒夷彈又は爆彈によりて起る火災の消防に任するものであります。

警備隊、警察隊、地方自治體の自警團隊等　敵の爆彈等投下せらるゝ場合は勿論でありますが爆彈の落ちない時でも自然に起る市民の恐怖心や消燈より起る交通事故防止等がありますので此種の隊は之が治安保警に任します。

以上の各種手段が防禦に任する兵力の大小や防禦地の廣狹等に依りて適當に按配せられるのであります。

其五　防空兵力



獨軍の大戰末期に於る地上防空機關の總數(概數)は

高射砲　約二千五百門
補助砲　約一千四百門
照空燈　約八百台(大小合して)
兵員　約五萬

又佛國は巴里防備の爲の丈けに約數百門の高射砲を使用して居りました。之を帝國防空の兵力に比較しまするこ誠に慄然こして思半ばに過るものがあります。

其六　空襲及防空の効果

全戰役間獨軍の巴里空襲は

總回數　三十數回
巴里死傷數　八六九名

被害人員の少きは耐火家屋こ完備せる防空施設の賜であります。

大戰末期の千九百十八年九月十五十六日獨軍の巴里空襲では

投下爆彈量　二二噸
巴里市街に命中せるもの　一、六噸

であります。

全戰役間獨軍の英國空襲は

總回數　一一六回
投下爆彈量　二八〇噸
死傷者　三四八〇名(內死者一四一三名)

右の死傷數の內ロンドンの死傷は過半數を占めて居ります。

各國の擊退機數こ空襲機數この比率は約九十%に相當する樣であります。

口繪第四頁は某市に對する投下爆彈痕を示すものであります

第三　都市構成並に建築

私は防空の要諦は遠征こ國土直接防空この併進にありこ述べましたが

第一、遠征の爲めに建築上好個の研究問題は次の如きものがあるこ存じます。

1 航空船格納庫の建築　將來必ず緊要こするに至るものこ存じます。

2 屋上飛行場、之亦違からず實現の時が來るかと思はれます、現に世界的レコードは八米平方で離陸が出來るこか聞及んで居ります。

3 重爆擊機の格納庫は勿論のここであります。

第二、都市直接防空の爲に都市構成及建築上の研究問題こ思考しますものは次の通りであります。

1 防空配備要地の準備

本件は軍事機密にも關連致しますので茲には問題のみに止め詳細は都市計畫委員會等の場合に申上たいこ存ます

2 大ビルヂング樓上防空機關の配置準備

大ビルディング上に高射機關銃又は高射機關砲配備の爲めには方向は四周、高低は水平より八十五度位迄は自由



に射撃し得なければなりませぬ又照空燈或は聽音機を配備する場合には前述の外高低は九十度迄回轉し得るの要があります、其床の抗力は衝動が弱くありますから別段顧慮を要しません。

2 建築物の耐火化

我國の建築物が可燃性物料で出來て居るのは防空の最大弱點であります、大正十年秋我陸軍の某將校は某所に東京を五十年計畫を以て耐火化する意見を提出して一蹴に附せられましたが其翌々十二年には東京横濱等大震火災によりて數萬の生靈と百億と稱する損害を蒙りましたので實に殘念がつて居りました勿論二年や十年で耐火化の實現は不可能であり又日本の風土と習慣とを考量しますると必ずしも所謂歐米式の理想的耐火化は出來ないかとも存じますが之等總てを調和したる耐火化の研究は實に建築家の重大にして緊急なる責務と考へます。

3 重要建築物の疎散配置

歐洲戰にては絶對に敵の空襲を撃退し得たる例もありますが統計によれば先九十%を撃退して十%は都市上空に侵入して居ります從つて空襲を受くるや爆彈、燒夷彈、毒瓦斯戰の投下のあることを豫想せねばなりません。斯く觀じ來れば廳舍、工場等は平時事務又は作業能率增進の爲有利なる配置をとることの必要は勿論でありますが戰時其防護上疎散配置を取ることも極めて必要でありまして之の程度に調和を保つべきかは爆彈の威力圈等にも關係しまするし深く研究考慮を要することと考えます。

4 防火及消防消毒設備

都市建設上都市としての防空施設の必要なると同時に個々の家屋につきても防火、消防設備を必要と致します彼の東本願寺の防火設備の如きは此見地から申しまして至極結構なこと、存じます。

防火壁は都市内又は大工場等には美觀を害しない程度に高架線又は耐火家屋を利用して準備することが緊要と思ひます。

又耐火煉瓦、耐火塗料の發達、廉價供給も必要でありまして先年『レブトライト』の發明は一大福音と聞及んで居ります。又毒瓦斯彈の投下に對する顧慮より申しますと道路の鋪裝には毒物攝取の恐れある尋常煉瓦又は木製式を採らない事が必要であります。

5 防空と交通機關

(イ)道路及都市内の空地の總面積は今後は少くも二分の一又は三分の二に擴げなければならぬと思ひます。之は防空諸機關の配置や住民の避難等の爲であります。當大阪市などは此見地から申しますと研究の餘地が尠くないと思はれます。

(ロ)道路の方向は矢張り前と同じ理由と消防の爲め成るべく大なる空地、貯水池のある所に導く樣になつて居るの



が良くあります。

(ハ)都市より田舎に通ずる道路は其巾を廣くし歩道を設け必ず樹木を植へ突嗟の間に大多數の住民の避難に便ならしむる注意が必要であります。

(ニ)地下鐵道は常に市内の交通に便ぜらるゝのみならず前と同じ理由で遠く之を郊外に導き戰時避難者の便に供へる樣にしたいと思ひます。

(ホ)主要なる道路の方向は恆風と平行するのが良いと申します之は毒瓦斯を速かに消散せしむる爲めであります。

(ヘ)路上の架空線は成るべく之を避け又其發電所變壓所は成るべく深く地中に埋設し都市全滅の最後まで運轉せらるゝ樣に注意が必要であります。

(ト)地下鐵道の上層部は軍部の要求に應ずる樣にして頂いて先づ三百封度以上の爆彈に耐へるら、深さ最小限尋常土にて十二尺コンクリートにて四尺以上あつて欲しいのであります。

[6]都市の秘匿

(イ)夜間の都市秘匿は燈火の管制にあります燈火の管制は佛獨英伊何れも採用せし所でありまして茲に一つの面白き實例を申上ますと大戰間獨軍ツエツペリン十七隻は大舉英京ロンドンを空襲するに際し途中發動機プロペラーの音を絶ちて所謂有名にして英人を戰慄せしめたる『無音の空襲』を行ひましたがロンドン防衛司令官は首都全市消燈し防禦機關の無應戰に依りよく敵機の爆彈を郊外に誘致し得たることがあります之によりて見まするに燈火管制の嚴重なる實施が如何に防空に効果があるかと窺はれます。

然るに戰爭中と雖も國内の工場、諸執務機關等各種の機關は晝夜の別なく活動を要しまするので消燈と申しましても無論屋外燈の消滅と屋内燈火の屋外への漏光を防ぐのを以つて理想とするのであります、之が爲めには電燈線は平時より消燈線、終夜燈線動力線等に區分し置き警報に際し猶豫なく燈火の管制し得るを要します。

又各建築物にありてはガラス窓には鎧窓を設け板戸及鎧窓には更に遮光川カーテンを必要とします。

我國の都市は多くは海岸にある爲め敵機襲來の警報受領後約三、四十分にして敵機は頭上に來るの狀況でありますから其燈火管制は最も迅速なるを要します。

(ロ)僞都市の建設

夜間眞都市を燈火管制によつて秘匿するの外近郊に僞都市を設けて敵彈を此地域に導くの手段も又有利にして巴里に行ひし方法であります、之には電燈を適宜使用するを可とします故電燈事業家との協同を要します。

7特種地域にある建築物の秘匿

外國との接壤地附近に於ける或は滿鐵沿線重要建築物等にて晝間空襲を蒙り易き建築物は天然地物によりて秘匿



し然らざれば動物の保護色と同樣に僞裝するの必要ありと考へます、僞都市の如く僞工場の設備も有効であります。

8 消　火

出火に際して消防機關の容易に活動し得るを必要とする事勿論でありますが專門事項に屬しますので玆には省略致します。

9 戸締及商店構造

夜間の空襲間數時間に亘り燈火管制を行ふときは治安維持不便なる事は明であります、此時に際し火事場泥棒的の輩の横行を防ぐには平時より家屋の戸締と商舖の店先の構造に注意して置く必要があると存じます。

10 防空配備と建築物の高さ及窓ガラス

戰時防空機關を配置せらるべき候補地には建築物は射撃及射照上の家屋の高さに制限を加ふるに必要があると存じます。

又高射能砲の周圍にある家屋にありては砲聲の爲め窓ガラスを破壞する處があります、現に十種高射砲の實彈射撃で火砲より約百米の距離の家の窓ガラスを空氣振動で破壞したのを見ました此距離は火砲の大小により異りますから事實問題としても是等の事を加味し　研究する必要ありと信じます。

11 水源地、水道の防護

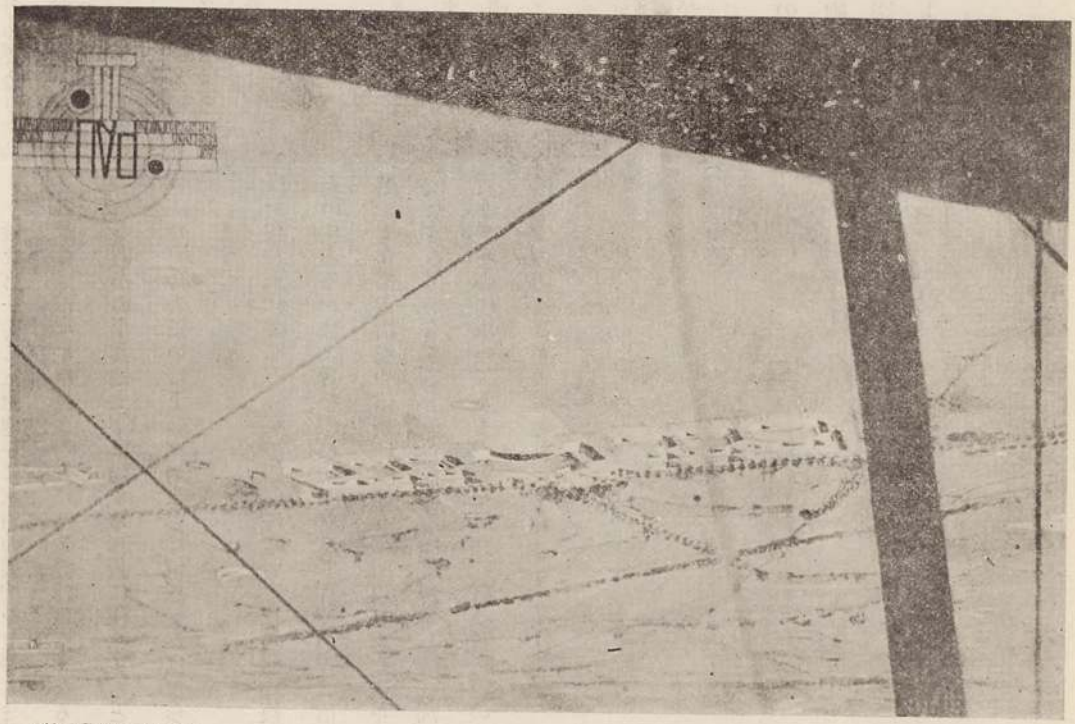
敵は第一番に水源地並に水道の破壞を企つると思ひますから成るべく水源地附近には敵機の目標となる樣な建物を置かぬ事其他上空に對する遮蔽に注意すると共に萬一の場合の爲め地下の水道設置に留意せねばならぬと思ひます。

以上觀じ來れば都市防空が如何に緊要で且如何に複雜多端なものであるかは識者を俟たず明かな事實であると信じます、然かも其都市構成や建築に關連した問題が悉く永年の計畫に俟たざる可からざるもののあるに想到する時我國の現狀に省みて寒心に堪へざるものあると共に有識者諸賢の御反省を願ふの念切なるものがあります。

（終り）



大戦當時フランス軍の施したカモフラージュの一例



（第六頁のつゞき）



航空と建築

會員　八木幸次郎

航空機といふものは丁度二十世紀の文明を表徴するかのやうに、目下發達の道程をたつてゐるといふことは、我々二十世紀の生物にとつては、その職業が建築業であると否とを問はず、頗る因果關係が深いものでなければならぬ。

リンドバークが大西洋を横斷して百萬長者になつたか、スミス大尉が太平洋を横斷して名聲を博したか、ノビレ少將が北極で遭難して氷山の上で救助を求めてやつと國際的救助隊に救はれたか、日本の飛行機が太平洋横斷飛行をやるとかやれないとかいふ樣なことは、もとより鳥に比べれば餘り感心の出來ない事柄ではあるけれども、國際ニュースとしては興味を以て迎へられて居るものであらう。

然しながら一朝有事の際はどうであらう、我國都市の如き貧弱な焚物然としてゐる可燃性建築物を以て掩はれてゐるものは、數個の爆彈投下によつて全燒せしめることは張作霖の列車よりも容易でなければならぬし、又大氣の絶緣が不完全極まる我等の住居は、數個の毒瓦斯彈の投下によつて市民を寢ながら往生させるには充分なものならむ等と云ふ事を考へて見れば、航空と建築なる問題は我等の解決に委ねられたる永久の謎でなければならない。

地上走行機の發達が今尚前途遼遠なるに加へて、地下走行機、上空航行機の發達が加はると云ふことは、地上走行機のみに適合すべく造られたる、我等の建築には青天の霹靂の如く、やがて一大革命を來さなければならないと云ふ豫感は、如何に幼稚なる我輩にも感じられる事柄で、その成行をば絶えず興味を以て視てゐるものの一人である。

我等の建築といふものは、地上に入口を持つてゐて、外側に窓を開け各室を連絡するのに廊下階段エレベーターを以てし、屋上に入口を設けて遊歩場にする位の甚だ悠長なものであつて、我等建築家といふものは、簡單なる平面的の間取を考へて各室を配置し、勝手に外觀を飾つて一人良がりの設計をして居るに過ぎない極めて平凡な者共だとは、我等の子孫の云ふ批評となるかも知れない。

地上の交通から空中の交通となり、更に地下の交通になるかも知れないことも想像し得るものである。



何十年後の建築はどうなるかと云つても、我々は到底その眞相を摑むことは出來ないが、なる樣になるのは間違のない所である。

然らばそのなる樣とは如何なるものであるかと云へば、それは單に想像して斯うなるであらうと云ふより外は何等の根據がない。

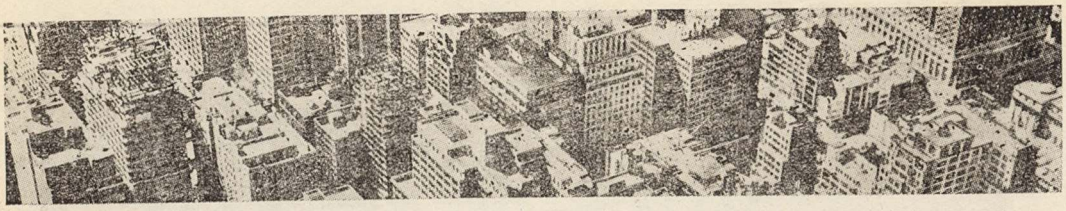
航空機といふものは航行そのものに甚だ無理と障害があるものであるけれども、速力の優越せること、飛行が派手にして人の目につき易いこと等の性質から、現代人の氣質に向いてゐるものと思はれるから、必ず長足の進歩を見るに違ひないのである。明治初年の貧弱なる木造軍艦は既に堂々たる超弩級の鋼鐵艦となり、又曾弱なるマッチ箱の如き汽車にしても既に堅牢なるスチールカーとなつたではないか。未だ貧弱なる遊覽飛行に過ぎないものが既に鮮魚の實用飛行に移つた今日、重要なる交通機關として他を壓倒する時期の近いことも察せられる。

何れにしても空路と建築との連絡といふことは航空と建築といふ標題に於て最先に考へられることでなければならない航空機が地上又は地下の走行機に比較して著しく異つた點は、速力の大なること、航行路を開拓維持することに餘り費用のかからぬこと、眺望が良く如何にも愉快さうに思はれること等が重なるもので、鐵道や軌道の如く鐵路の敷設保線といふ難問題も起らなければ、自働車の如く道路を破壞する心配もなく如何にも自由で如何にも便利といふ特長を持つてゐるから、經濟的にも感情的にも二十世紀以後の人心には全く符合すべき交通機關と思はれるものである。

都市内の交通にも、都市と近郊との交通にも、都市と都市との交通にも盛に利用されるものとすれば、都市を構成すべき我建築の人口は必ずしも地上になければならないといふ理由の存在は誠に不可解のものとなり、寧ろ屋上にある可きものとなるかも知れないと思はれる。獨り建築のみに限らず現在では空路と最も緣の遠い道路といふものも、何も地上のみに存在すべき理由もなく、上空にも存在すべき必要を生ずるものであらうと思ふ。

航空機の理想は都人をして少しも土を踏ましめずして迅速簡便に目的上空に運ぶものとするならば、現在の建築といふものは極めて不便、誠に不經濟、全く舊式のものと云はれても致し方がないと思ふのである。

若しも斯の如くして新人の交通が上空に移動するとするならば、都市の繁榮は地表より上空に移動することとなり、その結果現在雨水の交通路にして烏の遊歩場としか思はれない屋根なるものが、都市經濟の中心となつて、富は土地所有者より屋根所有者に移動して、最も時代の要求する建築はピラミツド型のものに非ずして逆ピラミツド型のものとなり、所謂平地の建築といふものは、現在の巡査派出所のやうに地上に乘つてゐるものに非ずして、通天閣や消防署の火見櫓の



如きものをいよやうになるかも知れないと思ふのである。

即ち都市の建築といふものは、地上或る高さに於て設置せられたる空路を基として漸次下界に延びる傾向をとり、高層建築は低層建築と名義を變更して、建物の階數は下より何階といふものに非ずして上より何階といふ方が適當となり、空路より或る長さを降りたる點より地上に至る間の空間は大して問題とならないものとなるだらうと考へるのである。

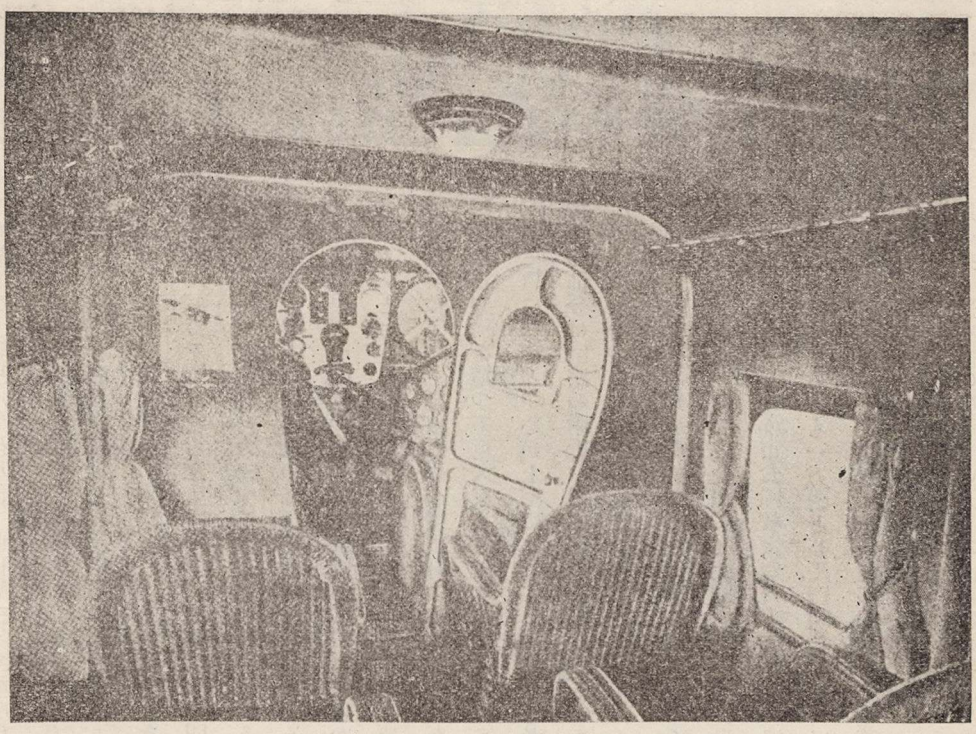
現在の如く地上交通萬能の時代では、最も繁華なるべき場所は必ず建築の一階に相當する地表にして、之は動かすべからざるものと考へらるるが爲めに、已むを得ず上に建物を延ばすと同時に下にも延ばしつつ、上層の重量を支へんがために堅牢なる架構を造つて巨大なる費用を投ずるものとなるけれども、既に都市の中心が上空に移動したるものと考へれば必要なる部分は空路の附近の四五階に過ぎないものとなり、好んで巨費を投じて高層建築を築造するよりも寧ろ、輕快にして經濟的なるべき鐵骨鐵板張の溫室の如き怪ビルヂングを出現せしめ、地上或る高さを以て高架鐵道の自由行走路に充てるも一策なら、更に郡市食糧政策の一方法として地上の水田、畠地を開拓するのも一方法として賢明なるものではあるまいかと考へることも、單なる我輩の夢想として一笑に附すべき理由の存在は認められないと思はれる。

斯の如く航空機の發達といふものは我建築界に及すべき影響が甚だ莫大で、驚異的のものがあるべきは想像するに難くない當面の問題であつて、恐らく我が建築の大部分をして何等の價値なきものとして仕舞ふ程の偉力あるものと思はれるから、幸我大阪市に於て擧行せらるゝ防空演習に際し航空と建築の將來を考へる時は興味津々として盡きるところを知らず、なる樣になるといふ薄氣味の惡い謎の解決は新人の愼重に考慮するに足る問題でなければならない。

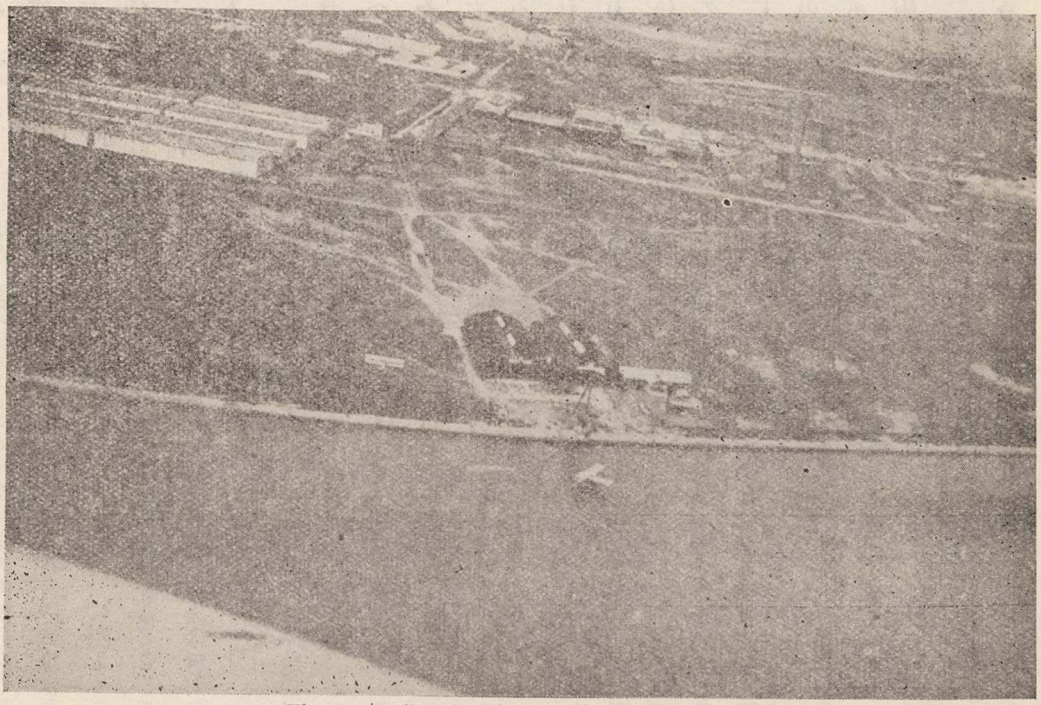
我輩は爆彈投下がごうのと云ふ樣な、都市變革の過途期に於て考へらるべき問題よりも寧ろ、都市繁榮の上空移動といふことが行はるゝや否やを考へる方が適切重大なることを考へて種々夢想したる結果或る時期に於ては必ず實現すべき可能性あるものと思はれるものの一人として諸賢の貴意を問ひたきものである。

畢竟航空機の發達は地表の富を上空に奪ひ去り、地上樓閣に於て生活しつゝある都人をして、空中樓閣内の生活を餘儀なくせしめ、巨費を投じて築造せる壯重華麗な建築を破壞して、輕快簡易なる鐵骨バラックの普及を促し、人類生活の單純化といふ文明の法則を極端に有力に物語るべき使命を持つてゐるのではあるまいか。

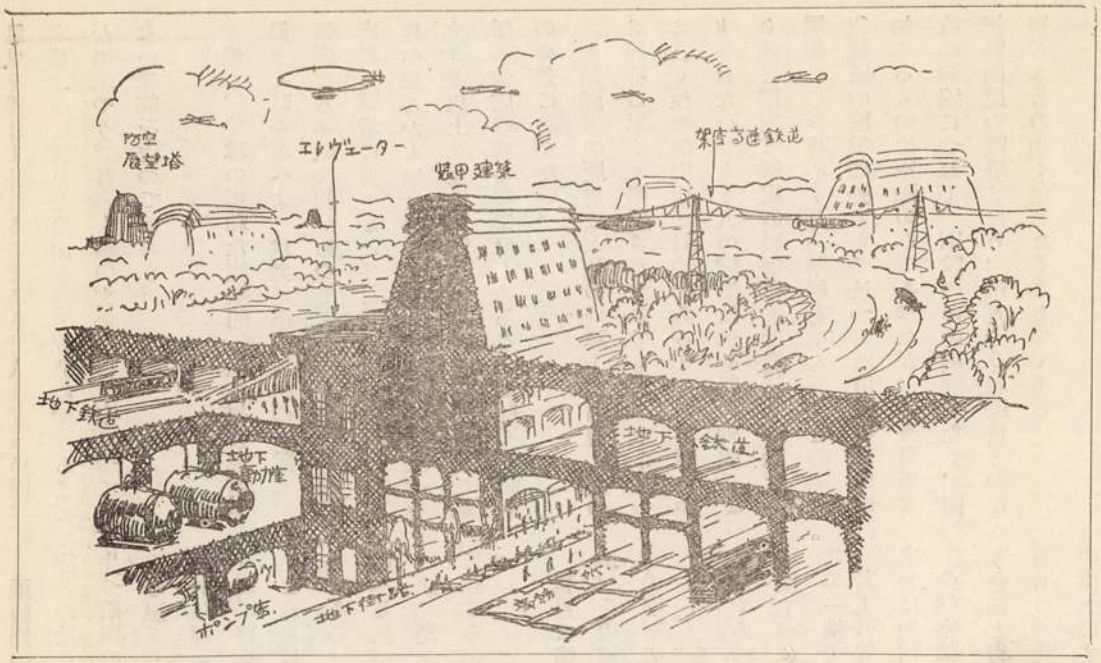
從つて我建築界の前途は鐵骨バラック建築の流行を來して壯重華麗なる藝術的の作品は、恰も日光の東照宮を見るが如く、悠長なる過去の時代の反映として將來の大衆に一笑に附せられるのではあるまいか。輕快にして簡易なる鐵骨空中バラックといふ怪物の横行は正に二十世紀の文明を表徵するに適當なるものとなるべきであらう。



上……日本旅客機乘客席



下・大阪木津川飛行場全景



空中文化か地中文化か
防空都市

凹凸子

はしがき

ライト兄弟が玩具のやうな複葉飛行機を北米の空に翔つて飛行術の可能を世界に知らしめたのは今を去る　年前千九百　年のことである。次いでブレリオ氏のドウバー海峡横断飛行の成功にヤンヤの喝采を博したのも千九百　年のことであつた。

今年は千九百廿八年。

此間僅か　年間に於ける航空の發達に留意されよ。

リンドバーク大佐が大西洋横断飛行の榮冠を得たかと思へば最近の新聞は一婦人イーヤハート嬢が同樣大西洋横断に成功したことを報じてゐる。世界各重要都市を連絡する定期航空路は計畫時代でなく實施期に入つてゐる現狀である。

誰れか、百年後といはず數十年後に速力の遲い、失費の多い汽船の大多數が大洋から姿をかき消して大航空船、大飛行艇の活躍を否定し得るであらう。

人類が空を征服するか否かの問題は、時の問題が未解決に殘されてゐるのみである。

實に平和な時代に於ける航空事業は人類の活動領域の垂直的開拓として無限の

恩惠を授けて呉れるのである。人類が永い間、空飛ぶ鳥に憧れた自由を思ふ存分享樂することが出來やう。吾等人類の文化は有史來且つて見ない光輝を放つであらう。

然し、地球の平和な國際間に恐るべき戰雲が渦まく時を考へよ。世界の平和運動の氣熟し、强固なる不戰條約があつて或る程度の紛爭は慘虐なる戰爭に訴へることなく和解し得る樣な時代が來るかも知れない。然し地球上に國家が分立する以上互に利益を異にする以上絕對に戰爭の慘虐行爲を廢棄せしめることは唯平和論者の夢想に過ぎない。

人類鬪爭の歷史は人類の地球上に出現したのと同時に早くも開展されたのである。或はもつと古く生物の出現と同時であるとも云ひ得るかも知れない。人と人の鬪爭は部落間の鬪爭となり遂に國家と國家の戰爭にまで發達し軍隊なる戰備にのみ專心する一階級を生んだ。この國家對國家の戰爭に於ても、且つては直接戰爭に參加するものは軍隊のみであつたが、近來科學文化の發達につれて、軍隊のみの戰爭でなく、國民對國民の戰爭となり、軍人と非戰鬪員との區別が大昔の如く存しなくなりつゝある。

兩國間の國交が絕斷すると同時に互に壞滅を謀るのは昔の如く單に要塞や軍港のみでなく、先づ敵國の首都であり大都市である。殊に一國の心臟ともいふべき商工都市は絕好の目標となされる運命を持つであらう。即かゝる都市こそ一國の盛衰の消長を握つておるからである。

これも皆科學文化殊に航空の發達に由來するのである。平時、吾等に神の如く無限の恩惠を與へる航空機關は、一朝兩國間に戰雲渦まく時には、絕大の威力で、死を以て吾等に臨む惡魔と化するのである。

世界大戰中、倫敦は獨逸空軍の襲來を受けたが、その被害は割合に輕微であつた。是れは當時の空軍の威力が未だ發達の道程にあつたからである。そして倫敦の受けたのは放火彈又は爆發彈であつたが其後の進步は化學戰に藥品戰に戰慄すべきものがある。即ち毒瓦斯投下の如き其の一例である。

若し吾等の都市が空中から攻擊を受けると假定せば如何

全然空襲に對する防備なく防火建築の普及する企圖し得ない現狀では其の慘禍は想像の外であらう。先年の關東大震災で僅か數十箇所からの出火にすら首都の大半が灰燼に歸するやうな有樣であるから。

將來、否近き將來に於ける戰爭が如何に悲慘であるかは、全歐洲各國ならずとも心あるものが誰れしも考へさせられる問題である。

獨逸の『ウオツヘ』誌は紐育の如く數十層の摩天樓が櫛比して、極限された地域に數百萬の人々が無防禦で居る都市は恰かも石膏製の巨人ともいひ得るし、又人間の落し穴ともいひ得ると評して居る。

更に、爆彈投下飛行機が都市の上空二哩の高さ迄は容易に二噸半の貨物と操縱者を運び得る現狀であると迄つけ加へて居る。

加へて爆擊飛行機の電波操縱等も近き將來に完成を見るとすれば、木造家屋が大都市の大部分を構成する我が現狀は石膏製の巨人でなくて是れからの科學戰の前には藁の人形も同然である。我等は吾身を燒くべき恐るべき焚物を背負つてゐるのである。

防空都市

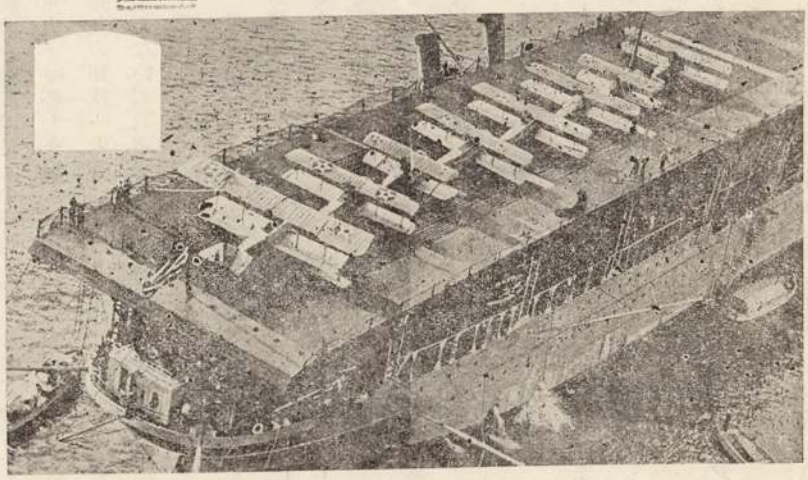
防空都市は戰爭に於ける飛行機襲擊を完全に防備すべく計畫された都市で、地上建築物、交通機關等は殆ど姿を缺き消して大部分が地下深く構造されることになるだらう。そして地上に

現はれる建築物は防空甲裝をした建築で、それが廣き地域に點在し、地表下には地下市街、地下住宅、動力室、工場等のすべてから、地下鐵道、歩道、車道、エレヴエーター、公園等總て現在の都市のもつ諸設備が地下にもぐり强固なコンクリートの被覆に覆はれたものと見れば良いのである。

地上の建築物は假令、如何に堅牢に構造されても現在の如き形である限りは、防空の目的には全然駄目である。實驗の結果大建築も二百二十五封度乃至五百廿五封度の爆彈で破壞し得、千六百四十封度から三千二百八十封度の爆彈を以てすれば市街の一區劃を破壞し去るに充分であると云はれてゐる。又近來は液體空氣を塡充した藥苞が爆藥に代らんとしてゐる。

即ち空からの恐威を考慮に入れず發達し來つた、單に防火と耐震のための形式の建築が攻撃航空機の視野に暴露される時、無抵抗なる『石膏製の巨人』に過ぎないのである。過去の木造建築に比して燃燒を起こさない丈けの得點を持つに過ぎない。

然らば防空建築は如何なる形式を採るべきか勿論材料としては現在のコンクリートの缺點を無くした彈性をもち輕量で完全なる鐵筋コンクリートか或は其れに似たもので、外壁は上空からの爆撃面を少なくするためにピラミツド型に上細りとなり屋根は特に數層のしかも空室で隔てられた鐵筋コンクリート屋根となり內部の空室は爆彈の炸裂に對する震動を殺ぐことに役立つのである。この理論は潛航艇の水雷襲撃に備へるために戰艦に應用されてゐる水膨式に似たもので、例へ水雷が第一の艦壁を破ることに成功しても空室がその破壞作用を間隙して內室には達し得ないのである。



防空建築の場合も、必ずや飛行機よりの爆彈が炸裂するものと見ねばならないが、三層以上の鐵筋コンクリート屋根を貫通せしめることは甚だ困難であらう。

次に起るべきは毒瓦斯に對しての考慮である未來の戰爭の勝敗を決するものはこの毒瓦斯或は殺人毒藥であらうと思はれる。米國のエ・シ・ヒル氏は曰く、

吾れは信ず、次の時代の戰爭は、靜寂裡に行はれる毒瓦斯と爆彈の與へる阿鼻叫喚の一大交響樂で終始するに相違ないと。これに比すれば過去の戰爭は實に雜然たる不器用なる一場の血鬪であつた。

が未來に於ては鬢髮白き老科學者が航空母艦の實驗室內にあつて紫の煙草の環を吹きながら居ながら操縱者なき飛行機を電波にて縱橫に驅使して艦隊、都市等の上に死の傳染毒を撒布せしめるであらう。この毒たるや、單に肉體を破壞するに留まらず、恐怖と苦悶の極精神的に吾人を自殺せしめるだらう。かくして死の毒は凡

ゆる生命を斷つて、暴風の如く地上に狂暴を恣にすることも想像に難くはあるまい。

又米國の誇るリューィジットなる毒瓦斯の威力はシカゴ、ベルリン等の上空から僅か十二個のリューィジット爆彈を投下するならば、市民は文字通り一人殘らず殲滅し盡すに足り又透徹力強大なるため水道の貯水池はいふに及ばず地下埋設管内にまでその毒氣が透徹するであらうと、薄氣味惡き限りであるが、かゝる毒瓦斯の種類は大戰當時僅かに三十種に過ぎなかつたが最近では千餘種に上つてゐる。人類の幸福を增進するものも科學文化なれば、人類の滅絕を早めるのも又科學文化ではないであらうか。

防空建築の重大なる機能の一つは實にこの毒瓦斯を防ぐ裝置である。外壁の窓出入口は勿論最も完全に防毒裝置が施される。又地上建築は各階共換氣管室を中心に數重に防瓦斯壁が設けられ、更に地下道路、地下市術入口には數重の防瓦斯戸が嚴重に裝置される一方、强力なる煽風設備は必要に應じ各入口から空氣や中和瓦斯を噴出して、毒瓦斯に對する有力なる障壁の役目をはたすことである。以上は地上裝甲建築の概要であるが、裝甲建築は四階位を限度とし、廣々とした公園やドライブウエーに圍まれて所々に心强く建つのである。又其他地上に露はれて居るのは架空高速鐵道停車場防空展望塔、防空砲臺等で、且つては音響によつて敵機の來襲を發見せんとしたのであるが、將來では物體の發する赤外線によつて暗夜でも光線と同樣の早さを以て遠距離から適確に發見し得る偵察用感熱機を備へ、又二十億燭光即ち月の五分の一の光力と略等しき絕大の光力を有する防空探照燈彈丸の初速一六〇〇米以上を有せしめる火藥を用ゐない電氣砲、空雷の電波操縱裝置等を備へるであらう。

又地下の格納庫と巧みに連絡された飛行場から絕對爆發しないヘリウム航空船、鳥のやうに安全なプロペラー無しの快速飛行機、或は直上機等が整備される。

かくて吾等の防空都市は外敵の襲來から完全を保證されるのである。

地中文化

人類が地下生活を初め、地下都市を築くことは一見、取るに足ちぬ架空の奇言と思へるかも知れないが決して實現不能の空想ではないのである。以下地下文明——地下都市に就いて多少述べて見たい。

現在では無線文化なる語が何等の不思議も感じないで話題に上されるやうになつたが、科學的理論としてラジオの可能は既に古く立證されて居つたのであるが、今日の如く急速に、世界の隅々まで電波に覆はれる實施時代に入るもの誰れが豫想し得たか、かく見來れば、大半實用化したテレビヰジョンは勿論無線活動寫眞、飛行機や軍艦の電波操縱等は數年を出でずして實用化するであらう。

吾々は科學者の力に信賴せねばならない。地下文化に就いても科學者の研究室に於ける貴重なる實驗成績を具體化する時の問題だけである。

天空の征服に成功した人類が次に考へるのは地下である。地下鐵道はほんのその先驅にすぎない。

人間は生れながらにして審美感をもつ。然し過去の石炭動力による機械文化がこれ程、地表の美しさを破壞したか、麗はしき森、山、田園は枯渇荒廢にまかせられた、幼稚極まる電氣文化——最新の電燈といへども電力を有効に照明の目的に費して居るのは五%乃至一〇%に過ぎない。蒸氣機關では有効に利用されておるのは燃燒の熱量の一〇%のみ——の犧牲となつて醜惡、亂雜に墮して行く美しい自然の景觀。

吾等は現代の文化に反感をもつ、近代人の嬉こぶ構成美、機能美、それが眞の美だらうか、

自分自身を傷嘯する語である。吾等は地表を自然の美しさに歸へさねばならぬ義務を負ふものではなからうか。

地下文化はこの第一着手である。その發足點が防空の目的にあるとはいへ、結果としては一つである。

雜然と殆ど無計畫に延びてゐた家屋を取り去つた廣々とした地表、それは公園、美しい綠地に圍まれたさゝやかな地上別墅（一種のウヰークエンドハウスである）地域、坦々たるドライブウエー、飛行場、運動場の外巨大な面積が太陽熱利用工場、空中窒素工場、紫外線工場、農場等にあてられる。百年の後石炭の飢饉を起すことは火を見るやり明白な事實であるから——（今日人類の物質文明に役立てられて居る總動力は一億二千萬馬力でこの中僅かに一二、五%が水力電氣で殘り、八七、五%は石炭による動力である。即ち現在のまゝでは石炭の終末は物質文化の終末期を意味する）これに代はるものは水力電氣をはじめ太陽熱利用、地下熱利用等で內燃機關の發達は液體空氣機關、原子動力にまで及ぶであらう。かくて火力機關室や住宅の醜惡な煙突に至るまで總てが姿を消して、煤煙に太陽の光りを障られた現在の都市の景觀は僅かに歷史の揷畫に殘こされることになるであらう。麗らかに澄み切つた空、綠したゝる樹林、これこそ未來の地下都市の表象であらう。かくて地表は本來の美しさに歸るのである。

次に地中文化の成功を左右するものは冷光燈である。即太陽のスペクトルと同樣のものを有する光線で間接照明なり、窓の外からなり自由に採光されてかくて、人類は地下にあつても地上にあるときと何等生理的に異なることなく健全に生活し得るのである。地下公園には綠樹したゝり、季節なく百花が爛漫と咲き盛るであらう、吾等は時々地表に飛行機を驅り、自動車をドライブして四季の移り變る姿を見るであらう

地下水の防水排水は何等の困難なく解決せられるであらう。

地中文化に有力な強みを與へるのは地下熱の利用である、地上に於ける太陽熱と相待つて、不斷に地下熱を電氣等の動力に換へて地下工場に供給し、地下住宅の炊事用にまで供給される勿論蓄電方法、送電方法も今日とは隔世の進歩をなすであらう。無論無線送電法であるから、地上、地下共、蜘蛛の網のやうに電力を浪費する電線を張り廻す必要はない。地下都市の氣溫調節は、中央送風室で洗滌された空氣に適當の溫度、濕度を與へて送風される。汚濁した空氣に直ちに地上に排氣される。空襲を受けた際に處するため、安全なる空氣濾過取入口のあるのは勿論である。地上農園の天然栽培に對して現在の溫室の如く、地下に於ける人工栽培も盛んであらう。

次に地下都市の有樣を一通り想像して見たい地下都市たるや、最初は空襲の避難場所として價値をもつたのであるが、人類が次第に何不自由のない地下文化に馴れて來るやうになつて、地下都市は防空の意義を離れても立派な存在である次第に繁盛に赴き今の平面的都市を數層重ねたやうな體裁に發達する、鑿岩機は恐ろしい偉力を發揮して縱橫に掘鑿する、地下中央停車場を中心に交叉することなく、縱橫に地下鐵道が通じ、高速電車が通じ、車道には移動帶式鐵道が通じ兩側には美しく商店の飾窓が並びゆるやかに散步する人の跡をたゝない。恰度東京の丸ビルのアーケードを大規模にして太陽光線で照らした思へば大差はない勿論街路樹も美しい上下の交通は五十人乘以上の大エレベーターが地上架空高速鐵道驛と各層間を連絡する、又一層毎にはエスカレーターが設備される。

住宅地區に足を運ぶこしやう。天井の高い街路の中央には並木路があり、路面は塵埃一つ留めないまでに清淨である。何所からこもなく吹き送られる清らかな空氣に並木は葉ずれをしておる。兩側に並んだ二階建の住宅は屋根が道路の天井に接して屋根がない丈けの相違で、前面のさゝやかな庭、二階の植木棚には草花が咲き亂れ、屋内から愉快なラヂオの響きが洩れてくる。アパートメントも存在する。地下市民は、保健上何等の不足もない筈であるが、廣々こ農園や運動場や公園の打ち連つた地表に出るこゝは、人間の本能からいつて確かに樂しい時間に相違ない。然し現在のやうなゴミ〳〵した汚らしい地表であるなら地下市民は寧ろ地下都市から一歩も踏み出さないでらう。

事務所街は現存する大ビルディングを地下に埋めたに過ぎない、唯今のオフィスビルディングが採光や通風に缺點多く濕度や濕度に對しても殆ど放置されておるのに對して地下ビルディングは總て理想的である。

娯樂境、これこそ地下都市の觀物である。世界各方面のニュースを速刻無線活動寫眞館に見ることが出來る、音聲まで一々手にこるやうである。料金さへ奮發すれば世界一流の音樂家、演劇もわざ〳〵國外に出なくても自由に觀賞するこゝが出る。

レストラント、カフエー、饗中次第で、空氣食料品工場や紫外線食糧工場の調製にかゝる安値にして本物こ寸分違はない營養料理もあれば世界の名産を航空便で取り寄せてその新鮮味を誇る贅澤な名物屋もあるこいつた譯である。

工場地區、これこそ地下文明の最も誇りこするこころで、又生活の鍵も握るものである。如何なる強敵の空襲にも絶體安全を保證されて居らねばならない區域である。

現存の工場地帶は多く大都市の場末で煤煙に汚れ、惡臭を放つ汚水をた、へた不潔境であるが、地下都市のそれは、熱源、動力共石炭等を用ひないから中心地區と變りなく清淨である唯建築が何等裝飾を持たない點で工場だこ察し得るのみである。

如何に科學文化の萬能時代でも、あらゆる必需品が全部人造されるこはこない。地下工場に必要なる原料の大部分は、地下都市こ離れた地上の生産地から搬入されるのであるが、然し一朝事ある際生産地を敵に暴らされた時には自給自足するだけの用意はあるのである。即ち一例を擧げれば植物をして、太陽熱をかり地中の物質を營養ある有機質こ變へしめるこゝは經濟的ではあるが迂遠な方法に相違ないので地中の原素や瓦斯體から直接に必要な物質を得るこゝである。

かく地下都市を一巡して見るこ、強ち、誇妄想狂の戲言でもないこゝに氣付かれるであらう吾等が現代の狀態を標準にして考へる時、地下生活こいへば、直覺的に腦裡に浮ぶのは炭坑や鑛山の坑内生活である。色蒼めて此世からなる地獄の苦腦である。然しこれこ、未來の地下都市こはその根底を全然異にしておるのである。

採光には太陽光線に勝る冷光線あり、空氣は寒暖乾濕調製自由に、一部に火災が起るこても直に防火戸、防瓦斯戸を閉ざせば直ちに消し止めるこゝが出來、地震に對しても殆んご恐るゝこころがないのである。

加へて現在の都市が平面的であるのに對して幾多の層をなす地下都市は數十倍の收容能率をもつであらう。

最後に敵國の空襲を受けた地下都市の壯絶な光景を考へて見たい。

國際審判所、不戰條約の協調も効果なく、二國が最後の一戰に雌雄を決するこなる。

ラジオは全國に戰雲急なるを報ずるであらう。

防備なき地上の農場や工場に働く人達、或は地方の小市街の住民はラジオの警告に時を移さず貴重品を纏めて地下鐵道停車場に或架空鐵道驛に殺到し防空都市へ避難するであらう。運輸機關は全能力を擧けて、數時間にして附近數百萬の住民を全部收容し盡すであらう。

戒嚴令を敷かれた防空都市では裝甲建築の防瓦斯戸を密閉し、中央送氣室は豫備送風機をも運轉して準備をこゝのへる。

一方各所に點々連絡配置された展望塔からは刻々敵機の動靜が手にこる如く報道される。

地上に一人の人影なく、パラダイスの如き天地に太陽が燦々と輝く、嵐の前の靜寂である。

夜になるこ、防空砲臺、展望臺からは數十哩に達する大光柱を閃々こかゞやかし敵機の發見につこめる。

偵察機が歸來して一段こ緊張味を帶びる。

砲臺からは漸く射程內に入つた敵機に第一彈を見舞ひ、壯絶なる空襲の幕が切つて落こされる。あたりを眞晝の如くする閃光彈、續いて各所に炸裂する强力なる爆彈、ジメ〳〵と地表を低迷する毒瓦斯幕、地上建築からは中和瓦斯を噴出して毒瓦斯を吹き拂ふ。

空雷の爆發、攻擊機の墜落……

敵の航空母艦は射程外にあつて、雲霞の如く無電操縱機を送るのである。この母艦要擊に味方の攻擊機が嚴重に防毒裝置を施こして猛然と飛び出す。

かゝる壯絶なる攻防戰が數日に亘りて續く、昨日迄、エデンの園にも喩へた地表は、毒瓦斯の色濃暗く砲煙に太陽も曇り、樹木はさかれ、大地は剝られて悲壯な光景である。

これは地表の恐るべき光景であるが、地下都市に於ては、都市總動員を行つて嗜好品工場や贅澤品工場は一齊に戰需品工場と化し、科學者は全能力を擧けて新發明裝置、藥液、瓦斯の實戰應用を監督する。

全地下市民こ避難民は、地上の激戰を知らぬ顏に、靜穩に極く少量の營養錠劑、人造食糧によつて、些の疲勞もなく、壞血病等の恐るべき病魔も知ることなく、一糸亂れず擧市、それぞれの部署に盡すのである。

攻擊を被らない都市から地下鐵道を利用して物資、戰需品の供給に盡すのは論をまたないが一防空都市のみに敵が襲來することは稀れで數市に一齊に來襲するこ見なければならないから各都市が自給自足で往かねばならぬ、この物資の供給に破綻を來たすこ防空都市の堅牢如何は即ち勝敗の決するこころである。

敵の攻擊は執拗に續行され、後方からの補給が續く限り新手が立ち替り入れ替り襲來する。こいつた有樣だらうこ思ふ。

何んこ恐るべきことだらう。

吾等の誇る科學文化は、何時吾等に死の恐威を以てのぞむかも知れない。

この科學戰の勝利者こそ最後の榮冠を頂くのであらう。

この防空都市なる一文は、手近にあつた實現性をもつた材料こ拾ひ集めそれに筆者の想像を交へて書き綴つたもので、貧弱なる一建築家である筆者のことなれば科學的に見て、又防空戰術から見て噴飯にたへないような誤りも多々あるでしょうが、此點は寬大にお讀み下さるここを希望致します。

一九二八、七・一七



文化村の粋

蘇牛作

文化々々とアンカ〳〵仰つしやるけれど、どれ程造ひますえ、おやじがパパでかかがママで中に出來るのがベースボールぢやあるまいし、鼻たれ小僧がベビーと聞いてエヘンチャン〳〵ラおかしくておへそが笑つてますわネ、まんざら、御面なはれや、大便だつてクロバーやハート型でもありますまい。

近頃は洋裝だとか何んとか言つてありやなんどすえセメン樽なら帶びでもしてゐるが型ばかりがセメン樽で下駄ばきさ、もしや〳〵頭に日傘をさして背の小僧がそれでもママと呼ぶ丈け文化式。

お止しなさいよ、湯上の古いのを作り變へた洋服に赤い腰卷、下からちよろ〳〵はみ出してゐるのなんぞはあんまり文化の粋でもおへんでな。

ひと角植えた迄はよいけれどもその名にし負ふアカシアもプラタースも赤ちやんのおしめ干しとは詩にも繪にもなりそふにもなしお暑い時分ですからネちつとは日本式にネ手拭ゆかたかなんかひつかけてネこふ七三に簾をあげて團子かなんかを左に使ひ右手でちつくりつめつて御覽よ、アラ痛ていよ、とか何んとかいつてれ、爪引き三味線もわるくわありへんで……

本當だ〳〵漫畫子も大いに贊成する所なんだよ、實に堂々たるもんだよ、大いにやり給へ文化の粋が聞いてあきれらア

文化村子曰く、あゝ前途猶遠しか文化のなんたるを理解ない輩は實に氣の毒なもんだ。と。——



カミロ・ジッテ（上）

―都市計畫家銘々傳の三―

藤田進一郎譯

一

建築上から見て、都市計畫界に百花繚亂の春をみせたのは、十八世紀の後半期であつた。ナンシー廣場や、ルイ十五世記念のためのフランスの廣場や、カルスルーへや、エヂンバラの新らしい町や、ランファンのワシントンなどは、みな、その時代の産物である。しかし、これらの美しいりつぱな事業のうちにも、すでに、將來の衰兆が、あらはれてゐた。ワシントンの都市計畫は、多くの點において、それを表現してゐる。十八世紀が終ると同時に、街路や廣場は、建築上の有機的な組織を失うて、支離滅裂となり、すべて單なる家屋の集團や、交通路の配置となつてしまつたのである。一直線の街路が、市中をまつすぐにつきぬけては、互ひに變な角度をもつて交叉し、廣場と呼ばる、不規則な星座のうちに輻輳し、樹枝をもつて裝飾され、おざけたやうな街燈の柱が、ところ〴〵に立てられてゐる。一八五〇年代および六十年代におけるパリの改造には、この垢ぬけのしない野獸的な樣式に、最後の祝福を與へ、發展の急激なヨーロッパの諸都市の郊外には、特に盛んに用ひられ、さらに大西洋を渡つては、アメリカにまでも輸入され、大多數の都市には、この燒網式が殘忍に應用されてゐる。尤もサヴアンナーや、ラ・ローシエ・スール・ヨンなどをみると、燒網式も、なか〳〵氣のきいた應用ができるらしい。アメリカでは、公共建築物は、いつも廣場の中央にあり、その周圍には、樹木を植えてあるヨーロッパでは、舊き寺院を、その周圍に集團した小さな建築物の『デガーゲ』（寬ろぎ場所）としてゐた。

十九世紀の中頃には、特にイギリスやドイツにおいて、建築、繪畫その他すべての應用美術を通じて、美しい繪模樣式のやうなものや、古代趣味のものに對する嗜好が深かつたにもかゝはらず、街路の設計などに、美しい繪模樣式のものは、驚くほど少く、たゞ、イギリスやアメリカの郊外によく見受けるやうな、當時流行の造園趣味をとりいれた妙に曲りくねつたものばかりである。おそらく、技術家や『幾何學者』は、美術や文學上の時代思潮にかぶれないやうに保護されてゐ

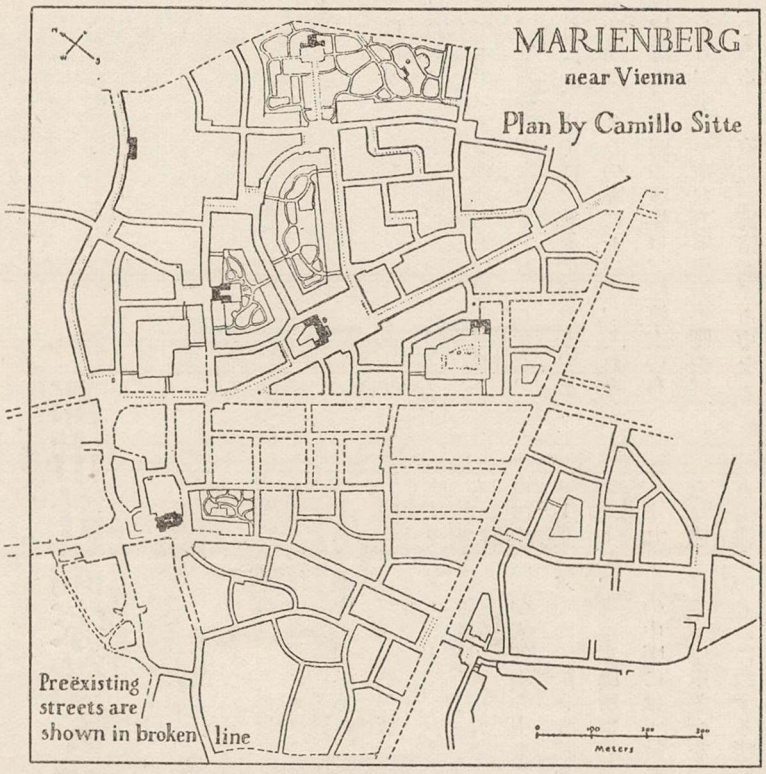
たのでもあらう。しかし、思潮の氾濫は、だん〳〵と高まりつゝある。いつかそれは、都市計畫界にも侵入し來なければやまないのであるが一八八九年、カミロ・ジッテの『都市計畫』(Der Städte-Bau)の出版に至つて、明かにそれが現はれてきたのである。

ウイリアム・モリスが時代の産物であつたやうに、ジッテもまた時代の產物である。古代都市の愛好者であつた點において多藝多能の職工であつた點において、また同時代の藝術をくさしながら、自らの藝術をもつてもつとも完全に時代の精神を表現した點において、この二人はよく似てゐる。しかしその體格はあまり似てゐなかつた。少くともジッテは、モリスのやうに肩幅がひろく、づんぐりとして、大頭であつたが、鬚のある下ぶくれの腮と、圓く禿げあがつた額との間に、愉快さうな小さな鼻と眼鏡をかけた兩眼とを備へた、いかにもドイツ人らしい顏の持主であつた。

ジッテは一八四三年に生れた。父はウィーンの建築家であつた。子供のときピアリステンジムナジユムで、繪畫を習ひはじめ、その後工藝學校や大學で、美術史や美術解剖學を研究し、これに永久の趣味をもつやうになつた。音樂家としても、一かどの技倆をそなへ、ワグネルの親友で支持者であり、かつ建築家として、かれに助力を與へたことも多い。一八七六年にはザルツブルグの國立應用美術學校の校長となり、一八八三年には、ウィンの同種學校の校長に昇進して、一九〇三年逝去までその職にあつた。この間かれは自ら家を建て、繪をかき、彫刻をし、自分でたてた寺院に壁畫をかいたりしてゐた。晩期にはドイツ、フランス、近東、ことにイタリー地方へ旅行をした。

オーストリア諸都市の發展計畫をたて、『都市計畫』が評判になつてからは、主として都市計畫事業にたづさはつてゐた。

ドイツの建築家たちは、ジッテの著書を、出版前から待ち受けてゐたやうであつた。市場に出ると同時に、特にドイツにおいて、盛んに讀まれ、六週間もたゝないうちに、第二版を重ねた。十年後第三版の序言中に、本書は、都市計畫に

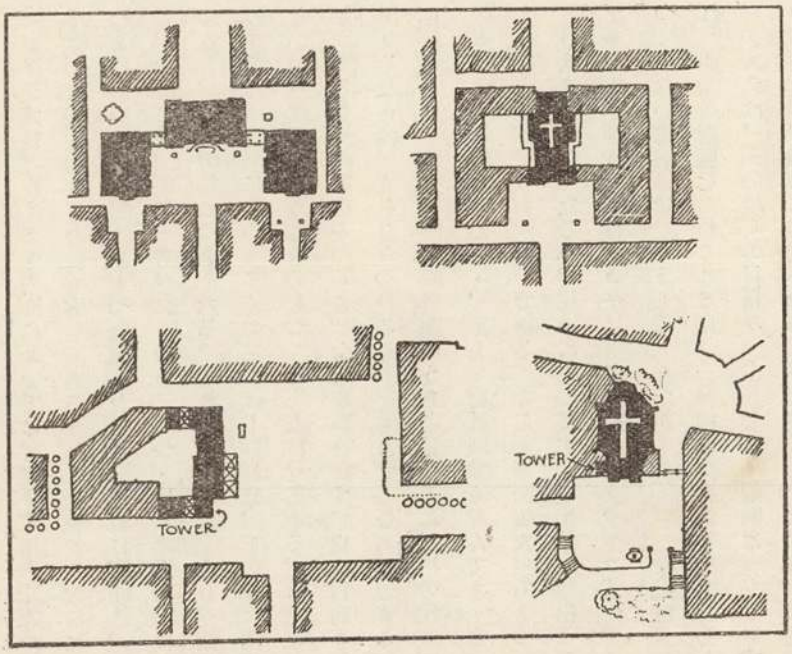


第一圖　ジッテの計畫したマリエンベルグの新市街(ウイーン附近)
(意に注:曲線の街路は舊市街を示す)點線

對して新方向を與へた劃期的のものであるが、このうちに表現された思想は、すでにずつと以前から人々の懷いてゐたものであつて、本書はたゞそれに正當なる言葉を與へたにすぎないと述べてゐる。これは事實であらう。フランス譯は一九〇二年ジュネーヴの建築家カミーユ・マーチンによつて出版され、一九一八年に第二版を出し、改造計畫の手引として絶好のものであると稱せられてゐるが、その説明材料において多大の變更が加へられてゐる。それにジッテが何國の人であるかを述べてゐないのはどうしたわけか。イギリス譯はまだ出版されてゐないが、苟くも都市計畫家をもつて任ずるほどのもので、本書を讀まぬはなく、その衣鉢をついだもの、都市計畫も、ジッテの考案や著書に比してこそ劣つてはゐるが、到る處に見られるのである。

二

ジッテの著書の目的は、かれ自らも述べてゐるやうに、都市計畫家をして『自然』と『祖先』との學校に學ばしめんとするにあつた。即ち(Natur und dur Alten.)である。中世時代の廣場と、寺院の配置とに關する多くの實例が、書物の殆んど半ばを滿してゐるが、それによると、古代の廣場は、中央において打ち開かれてゐることや、その眼界のうちに周圍の建築物が鼻をつくやうに接近してゐることや、自由に解放されてたつてゐる寺院の極めて稀れなことや、古代の廣場は極めて不規則であるが、その不規則はあまり外觀に現はれてゐないことや廣場は多くの場合意識的に集團されてゐることなどがわかるのである中世から進んで現代の記述にうつると、その創意の貧弱な點や、無暗と長い廣い街路やだらしなく寢そべつたやうな廣場や土產神(genius loci)の無視や、燒網式のあらゆる缺點、交通に不便なこと、墓裝置として使用に不適當な點などをあげて、さん〳〵に批難してゐる。次いで、現代の事業において、最善のものは何かといふ問題について



第二圖　ジッテの廣場設計の例

は、自分の考案として、不整形式の標準設計や、矩形街路計畫に適當な建築物集團などの實例を示してゐる。かれの考へによると燒網式の設計は、必要な害惡であつて、できるならばいつも、清新な繪模樣式

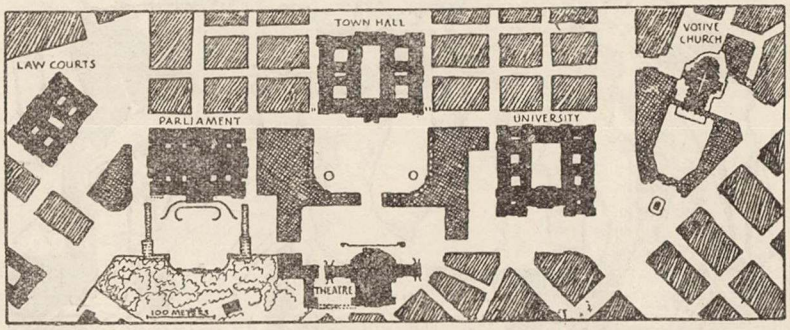
を表現し、かつ紅塵を吹きあぐる風を防ぐために、實際的及び美學的考慮をもつて、曲線や、遮斷や、オフセットや、狹い通景などを用ひなければならぬといつて居る。最後にウインナ・リングのことを論じ、ジツテの原則に則つて改造すべきことを提議してゐる。

この著書が出版されるや、直ちに、ジツテの福音を追求し、傳道する都市計畫學校がおこり、すでに準備されてゐた都市計畫も、大急ぎで、この新らしくして古い樣式に修正されたものである。新樣式は、すべての競爭に勝利を得て大流行となつた。わけてもドイツ人は、かれらに獨得の度はづれた(危險な)習得癖を發揮した。その樣式の秘訣を中部および北部ヨーロツパのすべての建築家や、都市の都市計畫局は、爭うてとり入れたのである。イギリス人も概して同情はもち、二三の思ひつきを受け容れてはゐるが、その心中に強く深く感じてゐる整頓秩序に對する建築的傳統を捨てるやうなことはしなかつた。アメリカ人も、例によつてその燒網式とその正反對の樣式と、盃景式の曲線とに滿足してゐたので、あまり注意を拂はなかつたが、それでも、二十世紀になつてから、そろ〳〵方々にその影響が現はれかけてきたフオレスト・ヒルの田園都市や、ローランド・パークは、たしかに盃景式とジツテ式との折衷である。無論この二つは全然調和しない要素ではない。ブルツセルスにおいては、ブルス市長は、古建築物の『解放』に全力をそゝいだが、その計畫に反對するものを打ちのめすのに、ジツテの權威を眞正面にふりかざしたものである。フランス人は、概して外國人、ことにドイツ人から教へを受くることを好まない。意識的な繪模樣式などは、ドイツ人の柄にないとも考へたであらうが、しかし戰後、ドイツ人のために破壞された町の復興には、三十年前にドイツ人の發明した樣式を盛んに模倣しつゝあつた。しかし、それも最近に至つて捨てゝしまひ、現在では、やはり十八世紀ごろに流行したフランス固有の樣式を復活させてゐる。

ジツテ式は、少くとも表面においては、幾分家屋の『略式』設計は、學ぶのにも使用するのにも容易であるといふ美點をそなへてゐる。まづ入口の戸と、居間とをもつた家をたてる、それに客間と、隱居部屋と、食堂とを、便利と考へたとほりにくつゝける、戸をあけて歩いてゐると、玄關の柱につきあたる、それでいゝのだ。それが繪模樣式なのである。二階にもつと多くの室がほしければ、その下に兩側に壁のない涼み部屋のやうなものをつくつて支持せしめる、もしまた室があまりすぎるならば露臺をつくる。金目をいとはず、良い材料を撰擇して用ひるならば、人をひきつける魅力をもたせることができる。家ができあがると、建築技師が設計圖のうちに描いてゐる杉の代りに、二三のポプラーを植えるがいゝ、そして寫眞師でも呼んできて寫させると立派なものができあがるのである。頗る簡單明瞭だ。ちよつと考へると、吹きだしたくなるが、往々にして愛すべき光景を現出する。ジツテやその追隨者たちは、コチ〳〵で直線的なフランス式が、まだはいつて來ない以前には、かうして、なつかしき『詩人(マヰステルシンゲル)』時代に建てられた祖先の遺風をまねることに、一種神聖な喜悅を感じてゐた。

ジツテは、その說明の材料を、主として不規則なゴジツク式からとつてゐるが、同時にまた不整形工事(Baroque Work.)の美點をも、よく認めてゐた。しかし實際には、ジツテ派の圖案家は、不整形(バロツク)を無視して、中世時代の生長式の飜譯を展開していつたのである。しかしそれは、いかにも當世風にできてゐるので、ちよつとみて原型と間違

へるやうなことはない。街路は殆んど眞直で、アメリカの郊外都市に見かけるやうなビスケット型の曲線は見當らないが、全然眞直といふわけでもなく、極めて短距離に區ぎられてゐる。普通には凹んだ正面を作るためや、通景を塞ぐために、折り曲げられてゐる。二つの街路が、互ひに交叉するやうなことは、めつたにないが、交叉のやむを得ない場合には、きまつて一方を少しく廣くして、オフセットしもしくは隅に小さな廣場を設けて、樹を植えたり、噴水をたてたりしてゐる　それよりも大きい方の廣場でも、あまり大きくはなく、いつも不規則であつて、一方の隅には寺院があり、他方の隅には銅像があり、その周圍に小さな樹がうゑられてゐる。事情のゆるす限り、階段があり、拱道があり、高臺があり、低い支壁があり、並樹がある　家屋形はちよつと變つてゐて、公共建築物は嚴めしく、總のやうで、屋根が高い。



第三圖　ウインナ・リングの一部變更計畫。十字線の部分だけがジツテの考案にかゝり、その目的物建築物の配置をよくするにあるらしく、その内部には小さな樹をうゑた小庭園をつくるにあつたらしい

一九〇三年ジツテは、ベルリンのテオドレ・ゲツケと共同して、雜誌『都市計畫』を創刊した。このうちには都市計畫に關する社會的、經濟的、美術的方面が、專ら論ぜられてゐた。その第一號が出版されないうちに、ジツテは死んだが、かれの記事や圖案は誌上に揭載され、ジツテ派の機關誌と認められるやうになつたのである。雜誌の標題のもとには、なほジツテの名が、共同設立者として記載されてゐるが、しかし今では、創刊號に比較すると、さつてもつかぬやうな設計圖案なども發表されるやうになつてゐる。これは均整と、形式主義とが、ドイツの計畫のうちに、漸次復活しはじめたからである。最初には、概して繪模樣式な設計の間に交つて、偶然の出來心のやうな單に前景のうちばかりではなしに、軸の上にも建てられた家や、實際に規則的な廣場が交つてゐた。ドイツの新建築運動は、最初には都市美術の繪のやうなのを歡迎してゐたけれども、それが均整や直線の緩和的効果を必要とすることを發見するやうになつた。非形式に降服しなかつたイギリス風の都市計畫の影響が、明かにそのうちに現はれてゐる。歷史家や批評家は、各時代はおの〳〵その公式の代表的設計をもつてゐることを發見する。最近の都市はロツテンブルグのやうな藝術的な非形式を學ばなければならないと說きはじめた雜誌も、十年後においては、中世紀の植民地都市はみな美しい小さな碁盤目であつたことを證明するやうな記事を揭載してゐる。

かくのごとくにして、人々は、ジツテが害惡の母とまで呪咀した愉快な古い矩形のマンハイムから初まつて、前ジツテ帶とも稱すべきフランスの對角線式の廣い劃一的街路時代、ゆるやかに曲つた代表的眺の目のジツテ式街路時代及び可なり形式的な直線と曲線とを調和させたイギリスの郊外の田園都市式時代を通過して、遂に、もし最新式の設計が實現されるならば、古きマンハイムのやうに嚴格に直角式な、いかにも形式的な燒網式な、しかもそのうちにリズムと空像とを加味した新時代に入らんとしてゐるのである。（未完）



編輯室のごなり聲

蘇牛作

だれだい、グウ〳〵いつてやがるのはまんざら龜公じやあんめいしコラツボーイ彼奴を起こせよ

凸子（うるせいのはそつちよ、俺等は精進がいゝからな。夕べ小宵彼の女とのラブシーンの連想に遠く思ひを働らかしてゐるちゆー隨分デリケートな問題にふれてゐる所なんだからネあんまりごちや〳〵いつてくれるなよ。

■チイ。ふざけやがつて、ボーイ今日の煽風機は風がにぶいぞ。線が痛んでゐるんじやないか調べて見い。

ボーイ子（へい、その風が痛んでるんで）

■馬鹿ツ。氷水でももつて來い

ボーイ子（永水は衛生によくないと先日先生が仰つしやいましたので温い御湯は如何で）

■コラ〳〵此處へ置いてあつた原稿紙がないぞ。

女ボ子（多分風がもつていつたんでしよう、さつき窓から、サツサと散つて行きましたよ）

■散つて行くのを知らん顏をしてゐると言ふ事があるかい。

女ボ子（でも原稿紙には一切手をふれるなと先生……）

■もふいいツお多福奴ツ

女ボ子（おほきにお世話さま）

男ボーイ（先生！）

■なんだツ

ボーイ（もふ時間で、締切りの……）

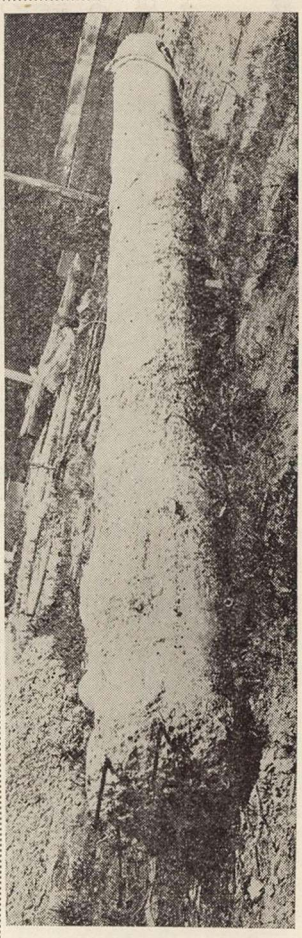
■わかつとる！

編輯子汗はだら〳〵と流れ出すし時間は迫るし、隣室でグーグーやるし暑さは暑い風は無し編輯子の目玉は八方に飛んで渦を巻いてゐる。哀れ生き不動しやく熱地極の刑よろしく。

必ず孫子の代迄編輯子にするでないぞよ、未婚の男子よ必ずその戀人に此の有樣を見せるなよ艮緣も破談になるぞよと……心節な先生のお言葉夢うたがふ事なかれ……

大阪の地盤と杭打基礎工事（承前）

池田宮彦



掘ヒシタ鐵筋入田中式コンクリート杭

松杭に對する色々の問題

前號に松杭の強さは二十噸であると假定して置いた。然し之れは末口を九吋のものとして考へたのであるが若し經濟が許すなれば末口はもつと太くしたいものである、私は先ず十二吋位のものを用ひたいと思ふ、之れは打ち込みに當つて折れる心配のない事と耐力を增し得る事とによるものである。前述の如く含水米松材の强度は普通の乾燥した米松よりも遙かに弱いといふ事を考慮する必要があります、尙又弱いが故に其の繼手は出來得るだけ太くし完全に施工したいものと考へます、即ち元口と元口とを突合せて鐵管にて繼手を作るを最も良いものと考へるのであります。

次に米松杭の壽命といふ事であります。內地松の古い杭五十年百年或はもつと古い時代に打たれたものが皮の部分を除いては原形を其のまゝ止め且つ其の材質の强さに於てもあまり甚だしい變化はないものと認められる、程度にて發堀せられた例は多々ある樣に聞いて居りますそれ等は殆んど水中或は地下水中にあるもののみであつて稍々水分の少い土中にて果してそれと同樣の狀態に保たるゝか否かは疑問であります、現今用ひらるゝ米松材が生松丸太とは云へ內地松丸太と同樣に地下水中にて、かく完全に保たるゝか否かも亦疑問とすべきであります。然し乍ら私は若し生松丸太を用ふれば恐らく內地松丸太と同樣に保つものと考へて良からうと思ひます、但し一旦乾燥したものは良くないと考へるのであります。古來杭材には必らず生松丸太を用ひたのであるが其の理由を詳しく研究した事は無いが恐らく酸化を防ぐ爲めに樹脂及樹液が含有せらるゝうちに地下水中に打ち込みを行ふものであつて一旦乾燥せば樹脂、樹液は殆んど大部分夫れ細胞間に多量の空氣が入り之れが材質を酸化せしむる原因となるのであらう、故に杭材には生松を用ゆる必要があるのであります。

杭の壽命を考へる事が必要であるといふ事は他方に於て建築物の壽命が永いから杭の壽命が建物の壽命と同じか又はそれ以上を要するといふ事から來て居る考へである。然らば建築物の壽命は果してそんなに永いものであらうか。

今記念建築物は之れを考慮外に置き、通常のオフイスビルデング。

バンクビルデング。或は工場建築について考へて見よう。

オフキスビルデングの壽命については本誌第九輯第一號（大正十五年一月一日發行）ビルディング號に竹腰健造氏が非常に詳しく述べて居られます、これに據れば約四十年と示されてあります、勿論之れは米國の例ではありますが恐らく我國の都市に於いても現今の趨勢に鑑み大差はない事と想像せられます、故に此の約四十年と云ふ壽命は確定的のものと考へてよろしいと思ひます。而してバンクビルディングも同樣であります。

次に工場は如何であるか。先ず發電所を考へて見よう、水力に於ても火力に於ても其の設備費の償却年限は廿五年に見積らるゝものであると聞いて居ります、水力發電所に於ては最初設備をすればアトは何時までも無限に流るゝ水によつて自然に發電せらるゝ如く考へられ如何にも便利且經濟的の樣ではあるが實は機械の磨滅によつて甚だしく能率が下るのみならず時勢の進運によつて廿年も經てば其の機械はもう舊式のものとなつて打算上到底他の新式機械と拮抗する事が出來なくなるとの事である。火力發電機に於ても同樣であり機械の壽命によつて建物も自然改造の止むなきに到る事は明らかである。其他各種製造工場に於ても製造方法、製造機械の進歩變遷は實に甚だしいものがあつて三十年内外にて殆んど一變せらるゝものである、然して其の工場建築も同じく機械類と其の運命を共にし、卅年内外を以て壽命が盡きるものと見らるゝのである。

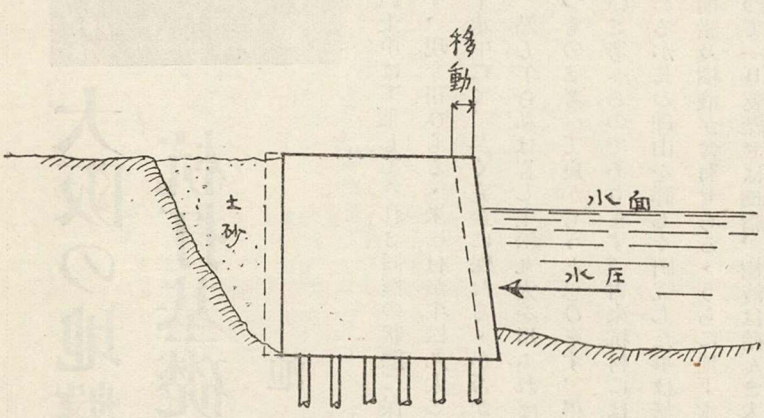
かくの如く都市の建築物の壽命は三十年乃至四十年。五十年を以て最長として恐らくこれ以上に達するものは無いと見てよろしく從つて杭の耐久力もそれだけあれば差支へないものと考へらるゝのである、生松杭材がそれ位の壽命はあるものと私は信ずるのであります。

從つて鐵筋鐵骨コンクリート造の永久的建築材料を用ひた都市の大建築に松杭を用ゆる事は決して差支へないものと考へるのであります

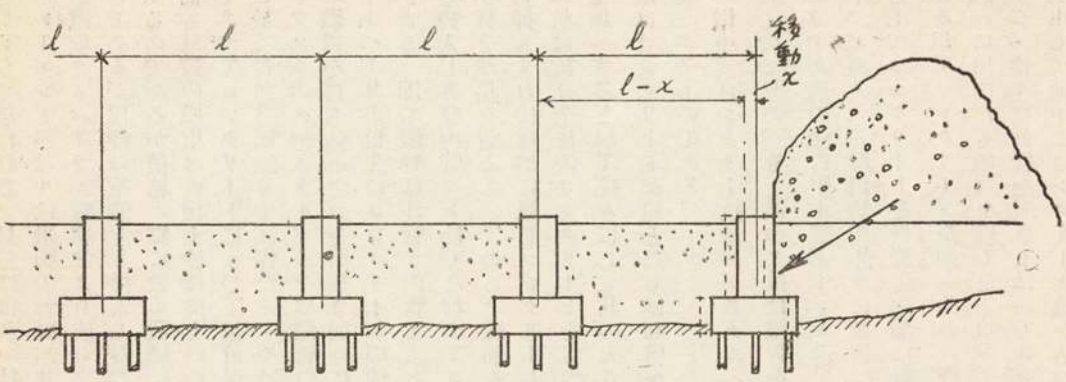
次に長尺杭の横動を豫防するといふ事も茲に考へて置きたいのであります。

杭頭附近に相當締りのよい地層が少しでも在る場合は先ず斯くの如き心配はないのでありますが、大阪の如き地層では上部は殆んど總てコス許りであつて少しも締つて居ない、故に長尺杭を打つても先端は固定せられて居るが上端は自由に横に移動し得る狀態にあるのであります。故に若しも基礎版（フーチング）が柱一本宛別々に造られたとすれば此の基礎版は地震の横力或は其他の外力によつて横に移動する事があります。これが若しも各獨立柱が勝手に移動したなれば其の建物は破壞を生じ、山々敷大事となるのであります、長尺杭は往々にして斯くの如き横動

第十二圖



第十三圖



を生ずる事があります。

第十二圖はこの横動の一例である、或る橋の橋脚が長尺杭を打つて造られて、左方の土の土壓は考慮に入れてあつたものと思はれるがいよ〳〵出來上つて河の中に設けられてあつた堰を拂つた結果水壓が此の橋脚にかゝつて點線の如く移動を來した。

第十三圖は建物の基礎版が各柱に於て獨立して居り且つ他の基礎版と何等の連絡がなかつた爲に其の右端の基礎版の脇に土砂の置据を爲した爲め其の横壓によつて基礎眞々距離に狂を生じたものであるかくの如く長尺杭の杭頭は容易に横の移動を爲すものであるから之に對して相當の手當を要する。ことに建物が河岸海岸等に建てられる場合に於ては殊更充分の豫防研究を爲し、地震を受けた場合に此の横の移動によつて生ずる被害の無い様に、基礎版間を全部鐵筋コンクリート造の梁によつて連絡し場合によつては陸地と安全な緊定を施す必要を生ずるやも計られない。

地下水位の非常に低く且つ地下室の不要なる建物に松杭を用ゆる必要を生じた場合に如何にせば經濟的に施工し得るか、即ち、根伐を淺くし杭頭を地下水上に留むる方法である、ケレオソート類の防腐劑を用ひて有効なるものなりや、之れ又松杭を用ふる上に考ふべき問題の一つである、松杭の上にコンクリート杭を繼ぎ打ちを爲し得ないものであらうか、米松の長さが七十五尺を以て限度とする場合にもう十尺或は十五尺をコンクリート束にて現場にて杭打と同時に打ち繼ぎを行ひ得ざるものであるか、かくの如き方法の案出は行はれざるものなりや。等々。

コンクリート長尺杭

普通のコンクリート杭は型にコンクリート及鐵筋を打ち込み之れが充分硬化したる後に之れを松杭の代用として打ち込むものであつて松杭の腐融の虞れのある場所即ち地下水の無い場所に用ひられたものであるが、このコンクリート杭は運搬に不便であるのみならず打ち込みが松杭に比して遙かに困難であるから、鐵筋コンクリートが建築構造に盛んに用ひらるゝ今日に到るも其の應用は極めて微々たるものである、然るに近來鐵筋コンクリート杭を地中に造る方法が考案せらるゝに至つて其の應用の範圍が急に擴張せられたと云ふべきである。

其の種類に、レーモンドパイル。ペデスタルパイル。及田中式コンクリート杭がある。是等のパイルについては今更茲に紹介する必要は

無からうと思はれる、只茲には各の特長を述べて見たい。

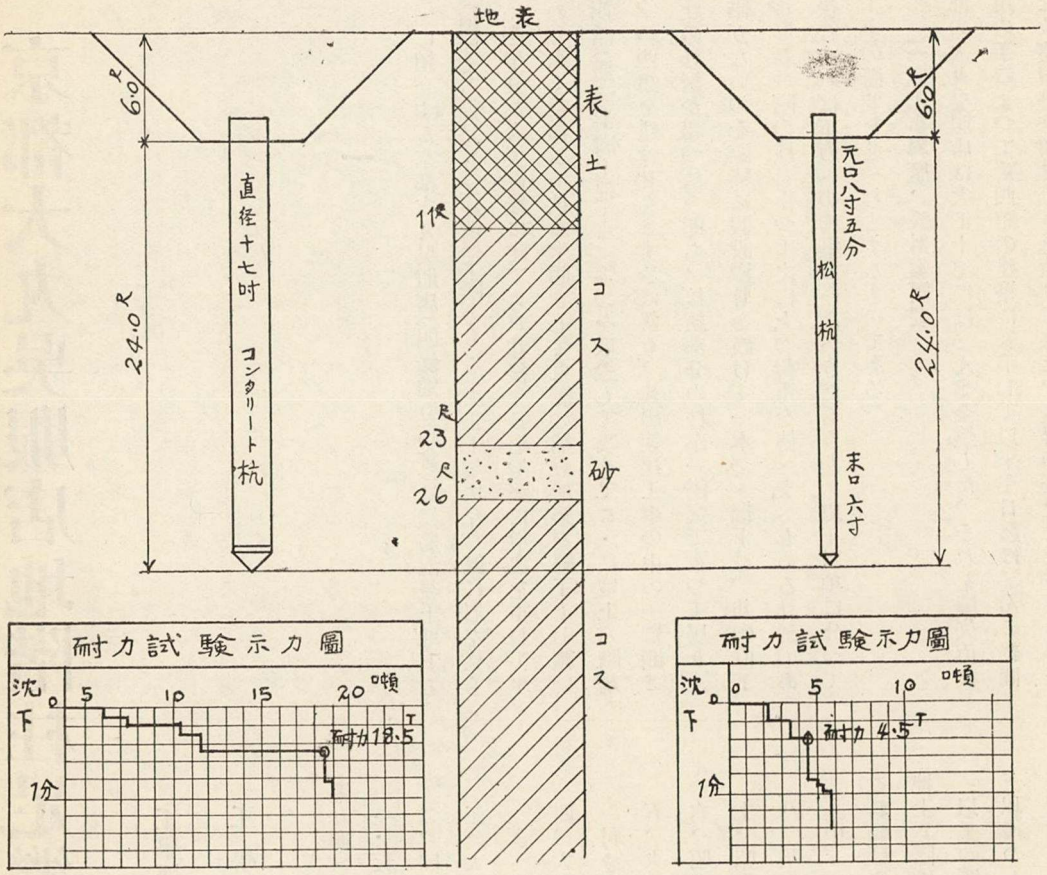
レーモンドパイルは米國の會社が其のパテントを有して居り、外殻が鐵板とスパイラル鐵筋とより成り之れにコンクリートを詰め込むものであるが同時に鐵筋をも挿入し得る。長さは地層に應じて自由に出來るのであるが價格の點に於て我國にて一般に用ひ得ざる所である。而も外殻の鐵板は直接土砂に接し內にコンクリートを藏して居るのみであつてコンクリートによつて被覆保護せられてない點が果して我國に於て長年月腐蝕せずに保たるゝや否や疑問である。次に東洋コンプレツソルのペデスタルパイルは鐵管の先にポイント(杭先)を取付け此の鐵管を打ち込み之れを引抜き同時にコンクリートと置き替える方法であつて其の杭先にコンクリートの球根を造りベヤリングを增す特長がある。即ち鐵管は外管と內管とより成り內管を引上げコンクリートを投入し再び內管を下げて之れにてコンクリートに壓力を加へ外管を引抜き球根を造るものである。鐵筋を要する場合には其の內外管の間に挿入すれば自然に鐵筋コンクリート杭となるものである、然れ共此の杭は杭身全長のコンクリートを打つにはコンクリートに充分の壓力を加へざるを以て往々にして其の太さが地中の土壓により細くなり或はコンクリートが粗となり砂利膚を生ぜざるやの懸念があるのを遺憾とするものである。

田中式コンクリー抗はペデスタルパイルの欠點を補つて考案せられたものと見るべきであつて杭は鐵管を打ち込むものにして內管と外管とあり外管の先に堅木製ポイント(杭先)を取付けこれを打下げ所要の深さに達したる時內管の先きに裝置せられた辨を開き內管を漏斗代用としてコンクリートを外管の內部に數尺詰め、內管の底の辨を閉ぢこれを以てコンクリートを押へ此の內管をスチームハンマー(杭の打ち込みに用ひたもの)を以て充分叩き非常なる壓力をコンクリートに加へつゝ、徐々に外管を引き上げ以てコンクリートを外管の底より外へ押し出して地中にコンクリート杭を造つて行く方法である。これを繰り返し行ふことによつて杭は所要の長さに無接合にて出來上るものである。此の杭の特長はコンクリートに充分の壓力を加へ得るを以て出來上つたコンクリート杭は理想的に締り良く出來上り且つ壓力の加へ方如何によつて杭の先端に於ても或は又任意の部分に於ても太さを增し外管の太さよりも尨大なる杭を造ることを得る、從つて、フリクションパイルとしても實に理想的のものとなるのである、而して杭の太さは外管の外經十七吋である、鐵筋は全長或は上部のみに挿入することを得る。現今に於ては誠に理想的の鐵筋コンクリート杭と稱すべきである。但長さは只今の處鐵管の長さ及櫓の高さに制限ありて六十五尺乃至七十尺を以て限度とせられて居るから、若しも堅地層がより深い所にある場合にはそれへ達せしめ得ないのは殘念である。然し乍ら追々工法の研究が進められて百尺迄達する時期は遠からず迎えらるゝものと信ずる、こゝに於て松杭よりも尙一層安全なる鐵筋コンクリート杭を以て重量の大なる建造物にも亦壽命の長い記念建造物にも或は地下水の非常に深い土地にも淺い基礎工事にて完全なる基礎を造り得るものと信ずるのであります、最近川ひられた某所のものは長六十五尺にて耐力六十噸に達して居る、但し杭の單價は松杭よりも遙かに高く一本當りにては到底米松の長尺杭と競爭する事は出來ない、然し松杭三本內外と此のコンクリート杭一本とを以て代用せば經濟上充分實用に供せらるゝものと思はれる。

フリクションパイルとしての松杭とコンクリート杭

第十四圖に示す一例は或る埋立地にして地層が甚だ惡く松杭の耐力不充分にして松杭のみにては到底安全ならず然れ共長尺松杭を打つだけの工費を有せざる場合に試みて成功したる例で土壤とコンクリート杭とのフリクションを利用するためにコンクリート杭としては前述の田中式を採用したるものである此の實驗の結果に據つて松杭及コンク

第十四圖



リート杭の表面フリクションを算出せば次の通りになる。

松杭（内地産生松丸太、末口六寸元口八寸三分長二十四尺）耐力四噸半

$$\text{表面積} A=\pi\frac{6+.83}{2}\times 24=53.8\square'$$

$$\text{毎平方尺のフリクション} F=\frac{4.5\times 2240}{53.8}$$

$$=188\text{瓩}/\square'$$

コンクリート杭（太さ直徑十七吋長二十四尺）耐力十八噸半

$$\text{表面積} A=\pi 1.45\times 24=109\square'$$

$$\text{毎平方尺のフリクション} F=\frac{18.5\times 2240}{109}$$

$$=380\text{瓩}/\square'$$

即ち此の地層に於けるフリクションは松杭のそれよりもコンクリート杭のそれの方が遙かに大にして約二倍を示して居る、故にかくの如き地層の場合に松杭を用ゆる事は經濟上亦構造上にも餘程考ふべき事と思はれる。

特に茲に注意すべきは鐵管を打ち込む場合の沈下は實際の耐力とあまり關係の無いものである事が荷重試驗によつて知られた事であつて鐵管のフリクションとコンクリートのフリクションとが非常に異る事から起るものであらう、斯の如き土地にコンクリート杭が強いといふ事は田中式杭のみならず、ペテスタル杭にても同じ事であつてコンクリートを現場打とする杭には何れにても良しいのである。但し此のコンクリート杭はすべて地中にて造られ出來上りを見る事が出來ない故に施工には特殊の注意と努力とを要する事は云ふ迄もないのである。以上

京都大丸吳服店地階柱足繼ぎ工事の紹介

工學博士　內藤多仲
工學士　半井直彦

一

こゝに紹介する京都大丸吳服店(四條通り高倉)は鐵筋混凝土地上六階建(總地下室付き又一部屋上階あり)で大正十年に今日既に形を見られない西半分が火災直後に建てられ其後今日迄增築に增築を重ねて來たもので漸く昭和二年秋前半期として東館の補强增築を終了し引續いて舊西館(鐵筋混凝土地上三階建)を取毀して改めてこゝに地上六階總地下室の西館を建設せんとするに當り、其の連接工事の中の一難關として此の計劃が起つた。即ち、接續部分の柱が一階迄で止つて居り、地中階がないのを臨時に假設鐵骨を設けて一本づゝ掘下げ、其の直下に新地形新地階の柱を作つて之に上の荷重を傳へ支へしめる計劃であつた換言すれば下方への增築こいふべきだらうか。以下數項に分つて其の工事の概要を述べむとするものである。

一、工事畧歷、設計案概要

京都の大丸吳服店は大正十年にほこんご全燒した、それを燒失直後竹中組の手によつて舊西館の建築に着手して以來今日迄ほこんご絕間なしに改築增築修繕こ工事を續けて來た、概畧の歷史を誌すと(第一圖參照)

一、大正十年八月舊々木造館全燒
二、同時に舊西館に着手十年未完成(地上三階屋上鐵骨小屋)
三、大正十一年六月より同年十二月迄に東南館地上三階(總地階付き)增築
四、大正十三年三月より十三年十月迄に東北館地上三階建(總地階付き)及東館(南北共)四階增築
五、大正十五年十一月より昭和二年二月迄東館補强工事
六、昭和二年二月より同年八月迄東館(南北共)五六階增築
七、昭和二年十月より十二月まで舊西館取毀ち
八、昭和三年一月より新西館(地上六階總地下室付き)着手目下工事中

これだけの大連續工事である、斯くして目下第二圖の樣な坪數六三〇地上六階總地下室の建物が出來上りつゝある。

以上の歷史の中で二の舊西館は地下室か無いものであつた、そして三以後のものは皆地下室を備へて居た。で、七、八に到つて新西館の接續の柱に問題が起つたのである。猶又三の時の東西館の接續部分は

極めて簡單に取扱はれて居つた。即ち全く東西兩館は連結されて居なかつた。(第三圖)勿論二、三、四階の所は連結されて居たけれ共引續いて(四)が終つてからいよ〳〵全館に對する改造案が出來て其の計劃が立てられたのは大正十五年の春頃からであつた。然し西館は全然增築の豫定計劃がなかつたもの故取毀つて改築し東館は始め七階建の計劃ではあつたけれ共更に耐震的に充分安全ならしむる爲めに補强工事をなす事とし全館地上六階總地階の計劃にした上一部に別に輕量の鐵骨建物を少し設ける事に變更した。

先づ西館を取毀つて四階建の東館に足繼工事を施しそれから、東館五六階を建て增し西館を改めて建てれば一番うまかつたけれ共之は註文者側の使用面種から到底許されない事であつた。又舊西館に手をつけずにもぐらの樣に地中で豫め足繼工事をやつて五六階を增築して後舊西館を取毀ちたいの希望があつたけれ共之は施工上到底不可能だつた。でこのあたり種々營業上の問題と折衝を經て後終に東館に五六階を先づ增築し然る後に西館を取毀ち柱に假設工事をして地階を掘下げる事に決定した。

東館五六階は昭和二年二月に補强工事が了り八月に五六階が出來た補强の結果大部柱等も大きくなつたけれ共この外裝をヴオーリス事務所で整へてくれた。そして十月からは西館を取毀ちにかゝり同時に假設鐵骨を組はじめ十一月には假設工事が出來上り足繼ぎの本工事にかゝり本年四月下旬に全部を終了した。

二、工事計劃、强度計算

この計劃が豫め建てられて居たために正面の柱(1)は(第四圖)未だ補强工事の手始めにやつてしまつた、此時は未だ西館も使用しつゝあつたけれ共一劃を區切つて其中で土留の爲めに徑三尺位の井戶を五本掘つて之に混凝土をつめて連續した厚い壁の樣に設けて(第五圖)後其中を掘下げた。之柱一本を豫めやつて置けば外裝上も相當に整つた形として一時を過す事が出來るのと且つ荷重が割合に少い爲めに工事が樂であつたのと二つの理由からであつた。結果としては又此の一本を早く施工した爲めに一方には今回の假設鐵骨には足留りとして充分働いて貰へた事と他方には事實上柱の足元を切離して其下に新地形を設ける事の一つの體驗を從業員が豫め得た事と二重の好結果を得た。

假設鐵骨の案としては第五圖第六圖の樣に筋違型に假設鐵骨を設けて各柱の荷重を一時隣接柱に分擔せしめて其の足繼工事を終了し之の硬化をまつて次の柱にうつる計劃であつた。圖の計劃では『キリン』を用ひて新設地形の爲めに煉瓦積の井戶枠を次第に押下げつゝ其中の土を掘出して所要の深さに達する計劃であつたけれ共、註文者の希望として新設地階を深くし爲めに井戶枠が非常に深くなる事と從つて隣接の舊柱地形の土留として煉瓦壁が厚く必要である理由から此の計劃を變更し豫め井戶枠の位置に井戶を掘り混凝土を打込んで混凝土壁を設け之を土留壁とし其間を掘下げて新地形を作る事にした。以下其の計算を述べん(次頁)

さて施工について工程を考へると井戶枠はずん〳〵設けられるが柱を削つてフーティングを缺取つて宙釣りにするにはどうしても約十二三日を要する故に先づ一本を施工すれば其の硬化を待ち之に荷重を負はしめる迄三週間として其の柱の荷を分擔する隣接の柱に着手するには十日間程空しく待たねばならなかつた。これは急ぎの工事として甚だ困つた問題であつたけれ共、幸か不幸か西館全體の掘方が大分時日を要する爲めに新西館の一階床混凝土を打つ時には全部の柱の足つぎを終了して以後全く工程を一致させる事が出來る樣になつた。

三、工事實狀

以上の計算及計劃に基いて先づ順序として鐵骨の組方と土留井戸掘が第一着手であつた昨二年十月舊西館營業部が新東館五六階に引越しがすむと直ぐ此の掘方に掛つた一方取毀ちが屋上階から進行して一階に及んだ頃鐵骨組方も亦完成し十二月末には西館敷地一帯が地均しされ建物の全側面が露出した。

餘事乍ら此の取毀ち工事は存外早く進捗した、スラブはハンマアで叩き落し得た小梁は一端をニユウマティックハンマア及酸水素瓦斯で切斷すると目重でベントアップのところから折れて落ちた。大梁は一つ置きに小梁と同樣に扱ひ殘つたフレーム型は柱根元を切斷して引倒した其震動が新館の方に大分大きく響いたので早速接續第一劃のスラブに各階南北に渡る巾一尺程を溝に落した結果震動も極めて少しか傳らずにすんだ。(寫眞六參照)

鐵骨工事は豫め現場を實測して之に基いて寸法を定めて全部工作したこうして出來上つたものが寫眞の(一)に示す樣なものであつた。然しこの鐵骨の頭部が約七階分の柱の荷を受けるのは其の接觸面に於てだからとて此の面の接觸を充分ならしむる爲めにモルタを注入した。又柱の頭部と脚部との間は著しい壓力を受けるのに實際には寫眞(一)の

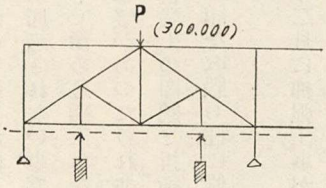
基礎堀下ゲ工事部分計算

第一圖

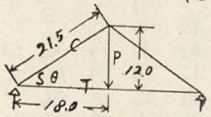
床版活荷重　柱ニ及ボス可キ荷重ヲ 30 #/□' トシテ次ノ如ク略算スルコトヲ得ベシ。

DL, 120
LL, 30
} 150 #/□' × 15.0 × 18 × 6.5 = 270.000 #

之ヲ 300.000 #トシテ計算スルコトトス。



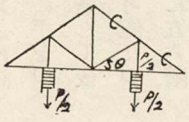
Pナル荷重が  トシテ支ヘラルルモ  トシテ支ヘラルルモ安全ナル如ク設計スルヲ要ス。



$C \sin\theta = \frac{1}{2}P$

$C = \frac{1}{2}\operatorname{cosec}\theta P = \frac{1}{2} \times \frac{21.5}{12.0} \times P = 0.9P$

$T = \frac{1}{2}\cot\theta P = \frac{1}{2} \times \frac{18}{12} \times P = 0.75P$



$2C \sin\theta = \frac{P}{2}$

$C = \frac{P}{4}\operatorname{cosec}\theta = 0.45P$

第二圖

次ニ構材ヲ設計スルニ

C. Member

$C = 0.0P = 300,000 \times 0.0 = 270,000^{\#}$

ZL_8 12 × 4 − 36.47 #



area = 10.727 × 2 = 21.46□"

約 2'.4　$r = 4.61"$　$l = 16' \quad \frac{l}{r} = 42.6$

$P = Afc(1 - 0.003\frac{l}{r}) = 21.46 \times 16,400(1 - 0.003 \times 42.6)$
$= 305,000^{\#} > 270,000^{\#}$

∴ Safe

T. Menber

$Z - 12" \times \frac{3}{2}" \; L_8$ ⋯ 26.1 #

$AS = 7.675 \times 2 = 15.3□"$

Rivet hole $2 \times \frac{3}{8} \times \frac{7}{8} = 0.655$

Net area 15.3 − 0.655 = 14.645

$T = 0.75P = 300,000 \times 0.75 = 225,000$

$\frac{225,000}{14.645} = 15,400^{\#}/□"$ Safe

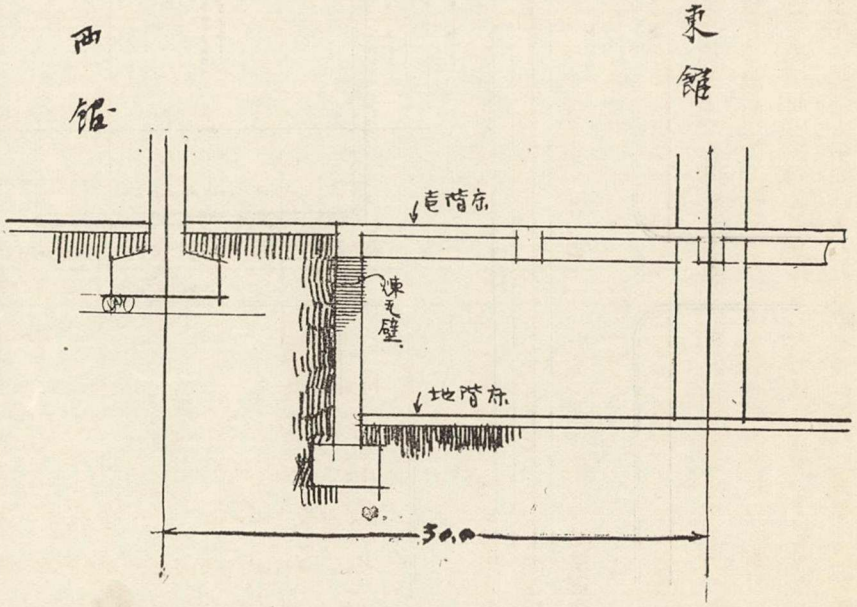
様に混凝土も不完全な點が少くなかつたので之は一度表皮を剝取つてフープを巻いて臨時に混凝土を打ち足した。即ち寫眞(二)に見る様な形となつたのである。なほ第三圖の煉瓦壁の位置に四階迄木造壁を作つて多少床荷重を之にも分擔せしめた。

これだけの準備をして本年一月中旬からいよ〳〵足元切取に着手し次の様な工程で全部を順次に(二本置きに二本づゝほゞ同時に)進行した。(寫眞三)

柱番號(第四圖)	着手	完成	施工順序
1	昭和二年一月中旬	二月初旬	1
2	三年二月二十九日	三月十二日	6
3	一月十六日	二十四日	2
4	二月十四日	二十一日	4
5	三月七日	十六日	7
6	一月十八日	廿九日	3
7	二月十六日	廿七日	5
8	三月十四日	廿日	8
9	三月廿九日	四月八日	9

此間毎日現場にレベルを据え又は水線を張り萬一多少なりとも垂下の兆なきかを注意し又右の柱に連續せる三十尺の大梁、壁等にクラックが起らぬかを常に檢査しつゝ進行したが、幸ひ何等支障なくして終了した。

何分下から建物を漸次に積上げてゆく時は其間に順次にパーマネントセット(落付きの沈下)を起すべきも一時にこれだけの荷重が新しい地形に加る故、幾分の沈下は或はまぬがれぬかと思はれたが幸ひに何等不安な結果を惹起せずにも出來上つた。其理由の一つとしては新地形が地形のみで既に二坪程の重量のもの故地形を打つて四五日後に柱を打繼いだ其間に落つきの沈下が起つたかとも思はれるし又一つには地下十二尺からは水が湧いて地形の混凝土はほとんど水じめをした粘土交り砂利層に施工された故五噸や八噸やの荷重では沈下のない位の耐力だつたかとも考へられる。

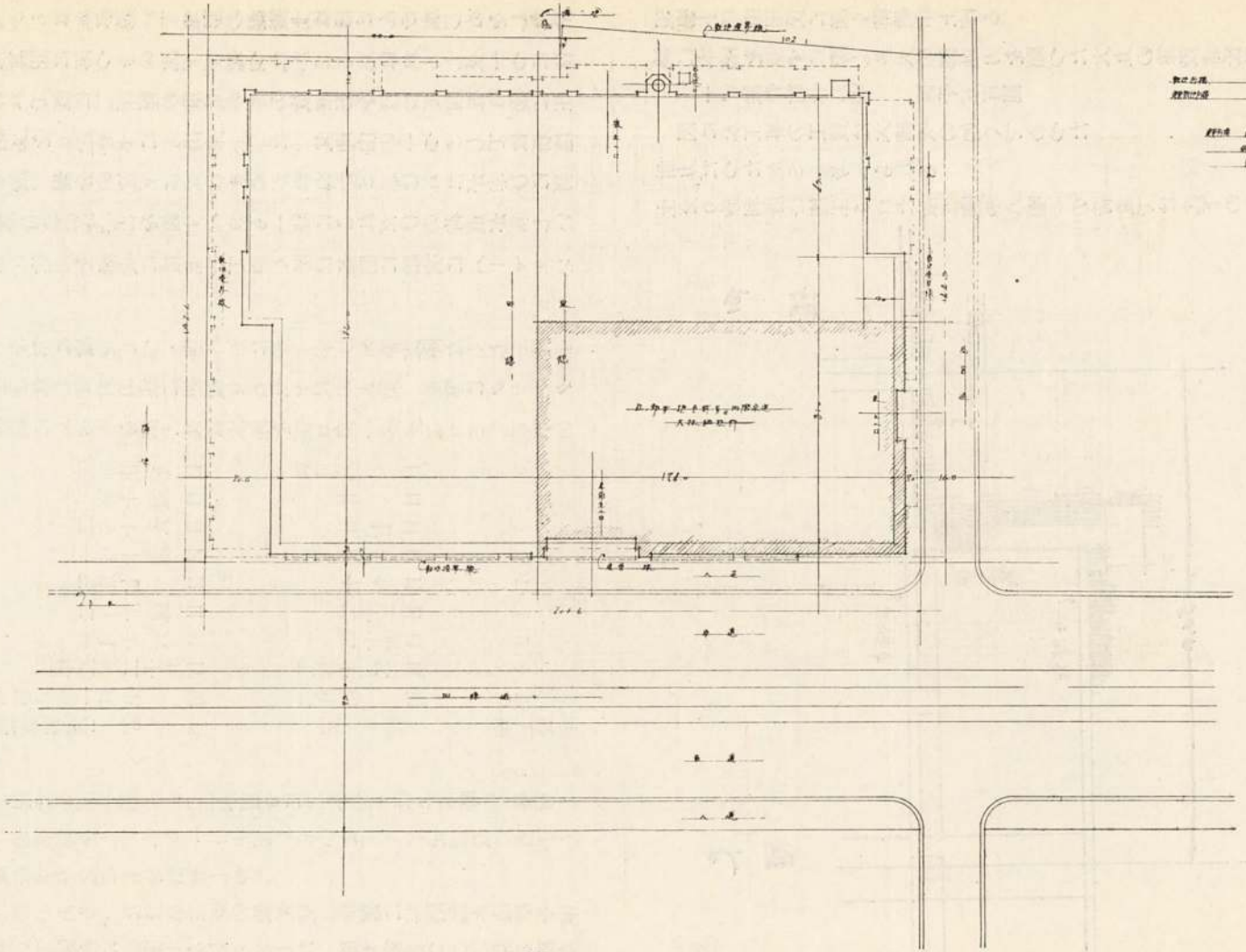


第十圖

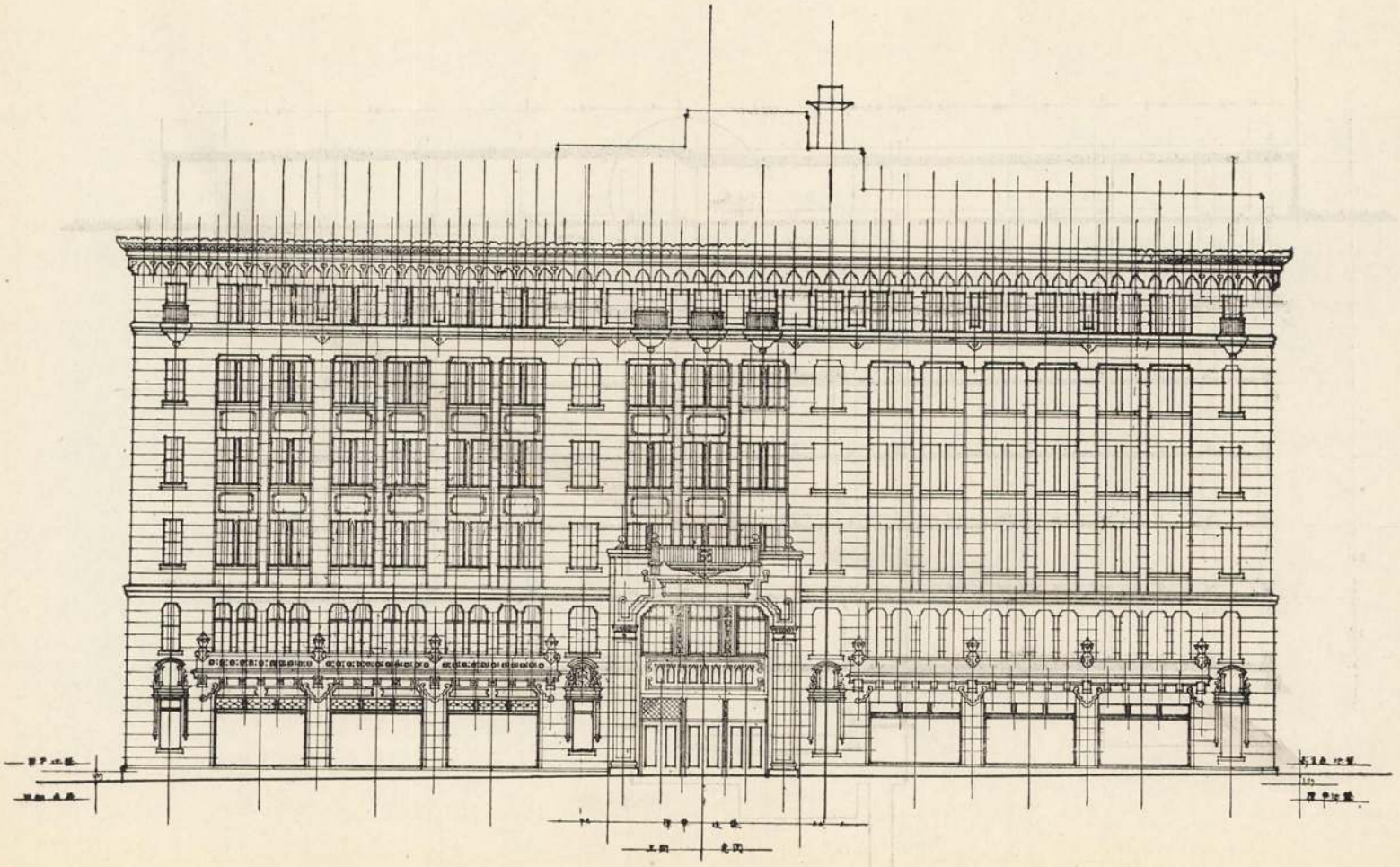
因に本工事の工費は大體次の如くであつた。

一、鐵骨約廿八噸　四千五百圓

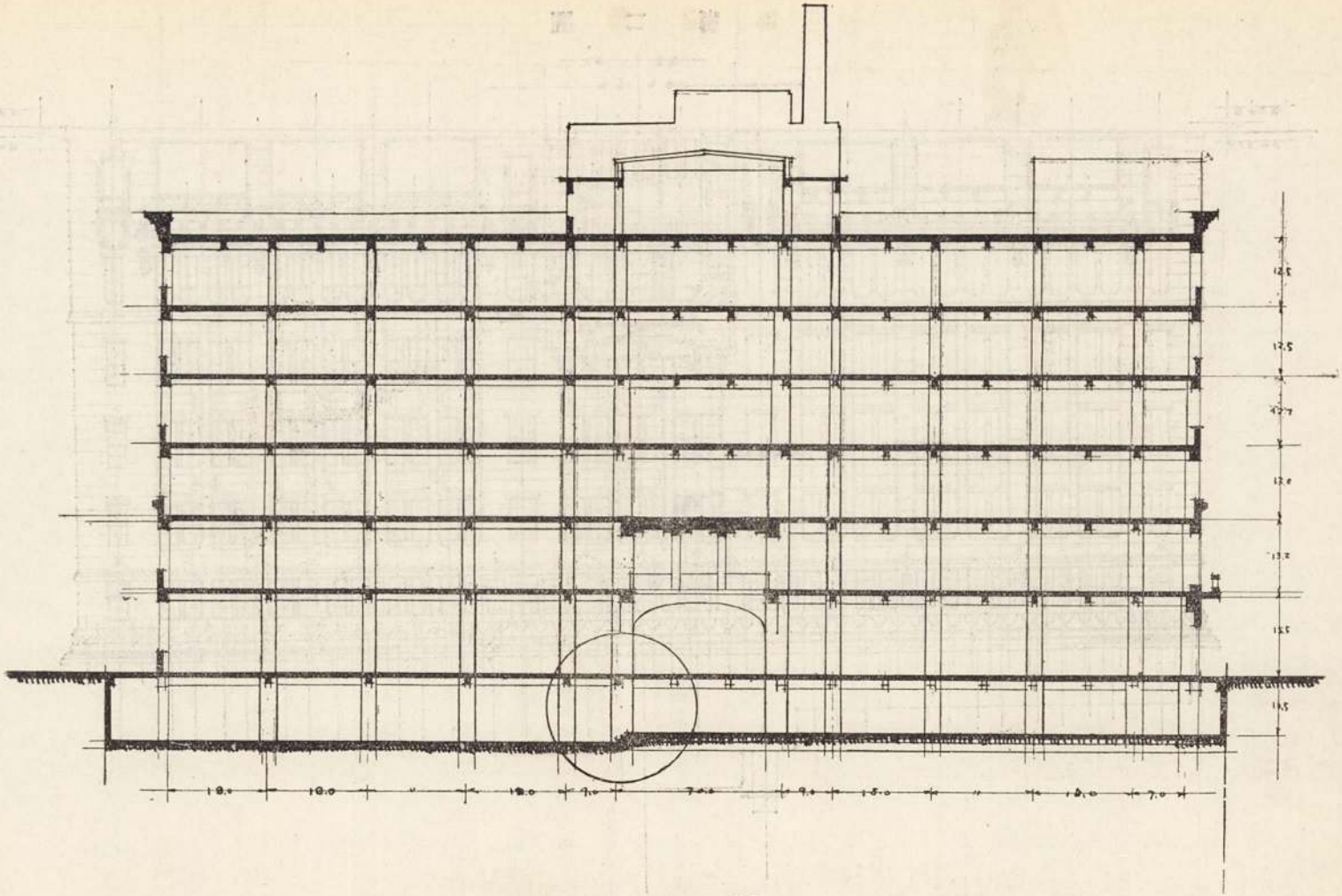
終に本稿を草すに際し多大の御助力を願つた大丸の重役諸氏及清水組現場主任山田氏に深く御禮申上げる。



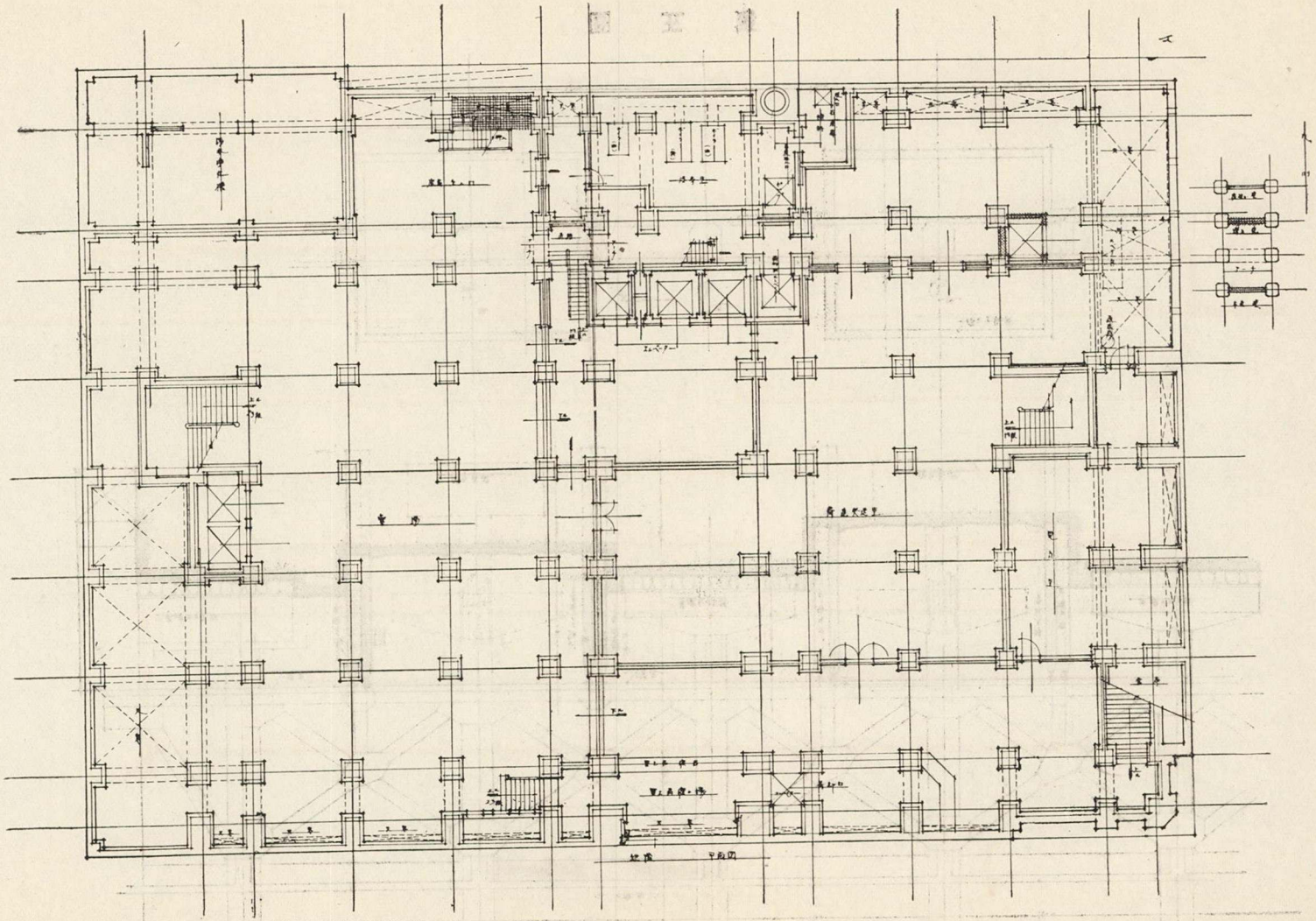
第一圖



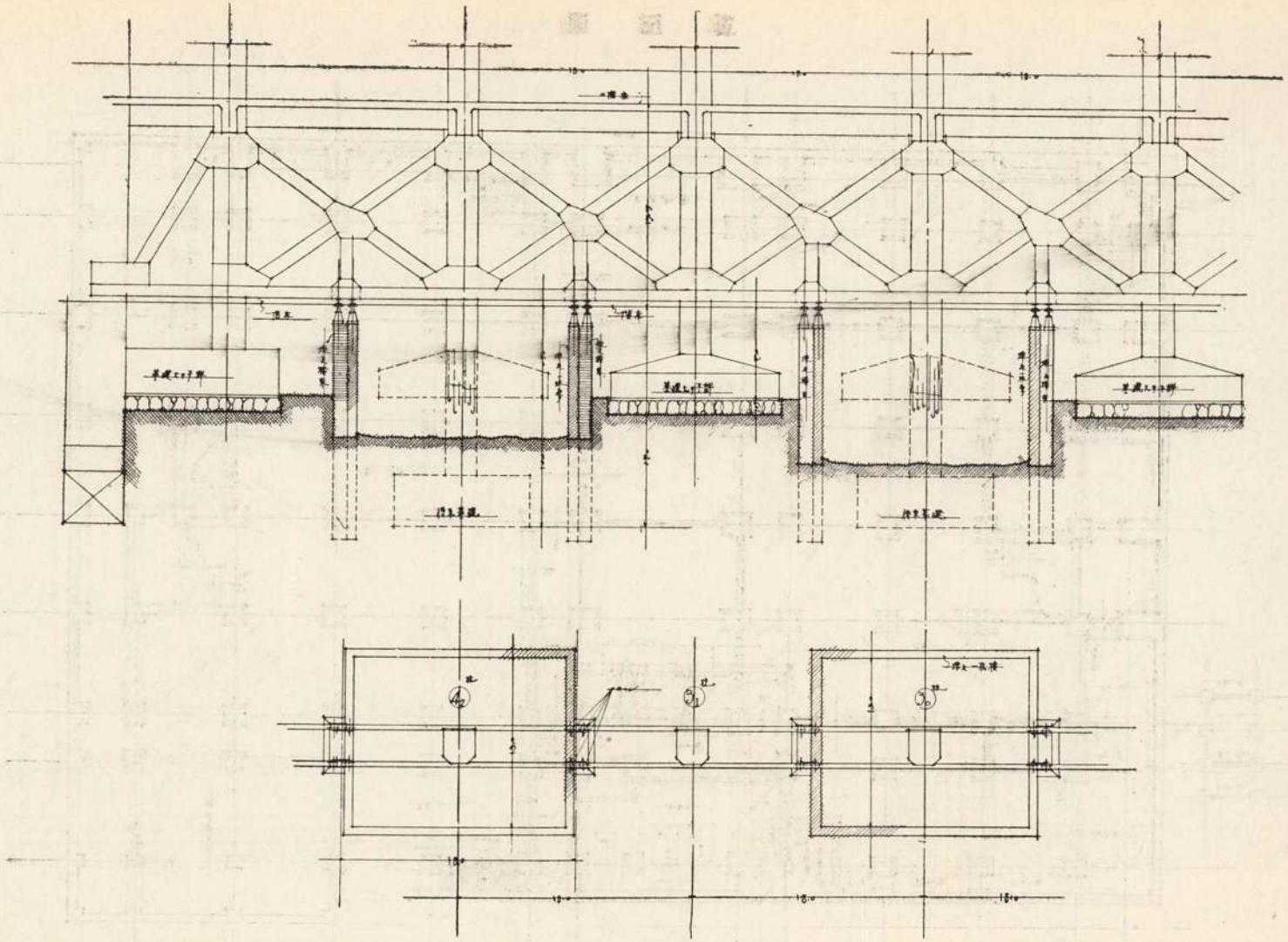
第二圖



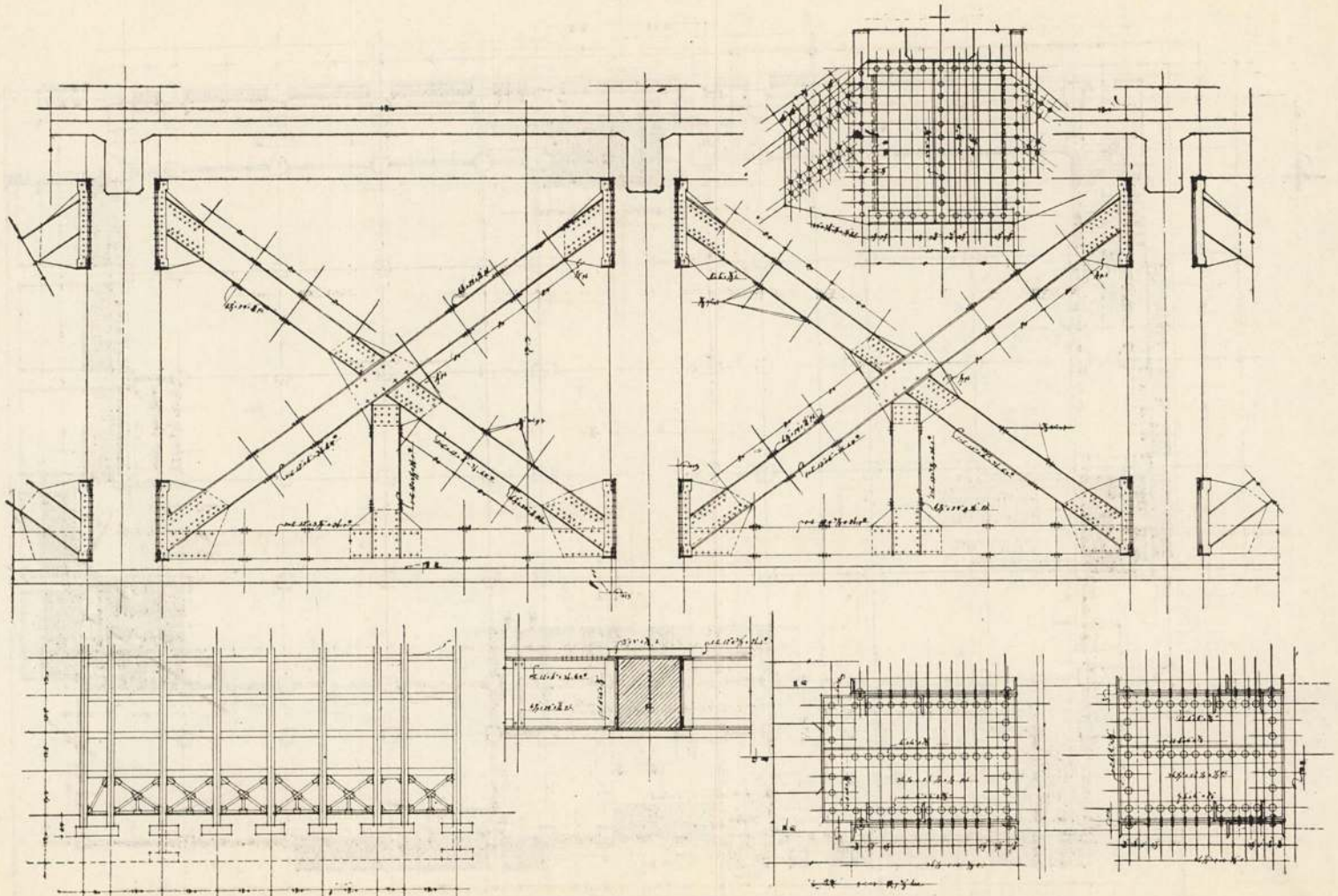
第三圖



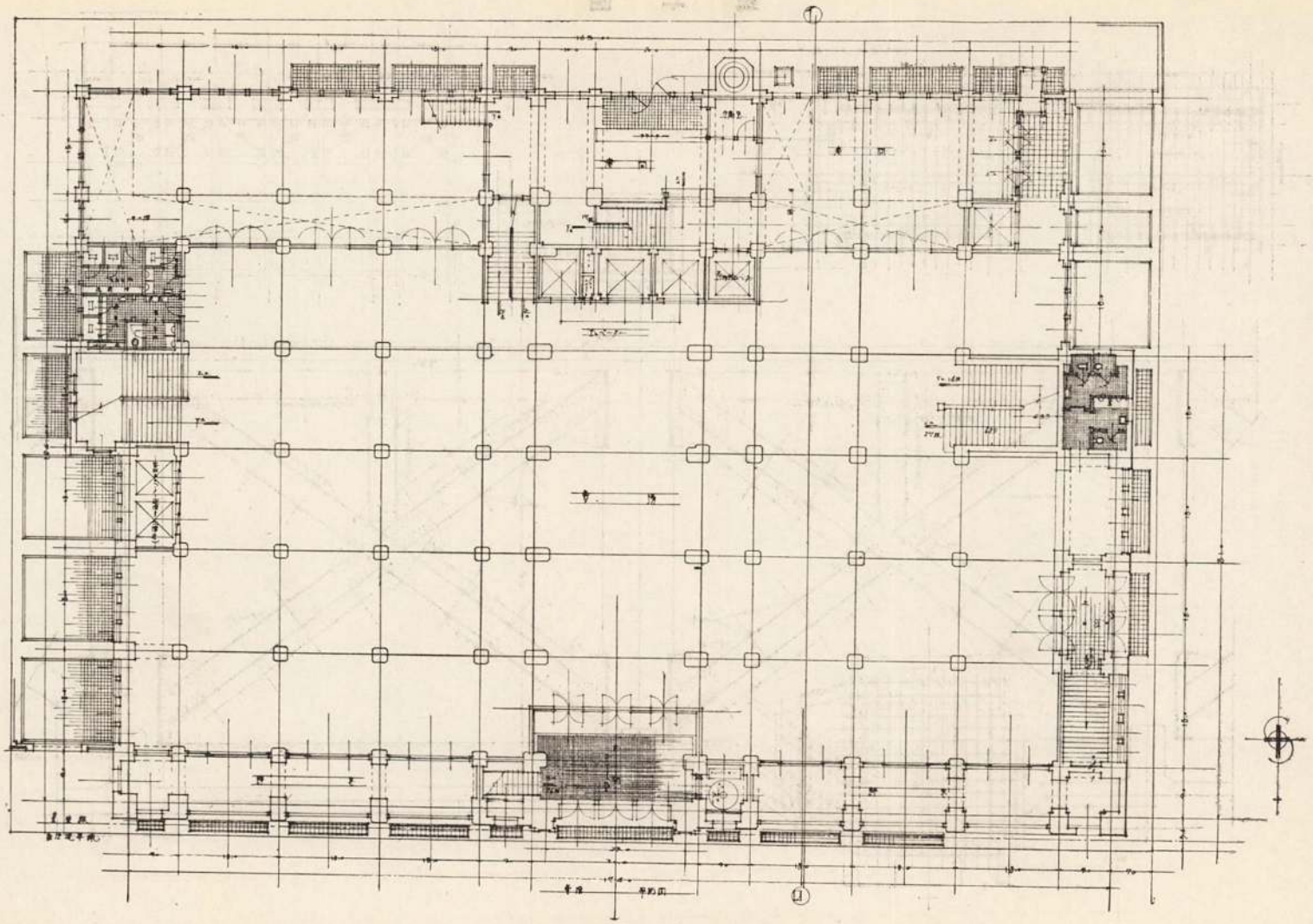
第四圖



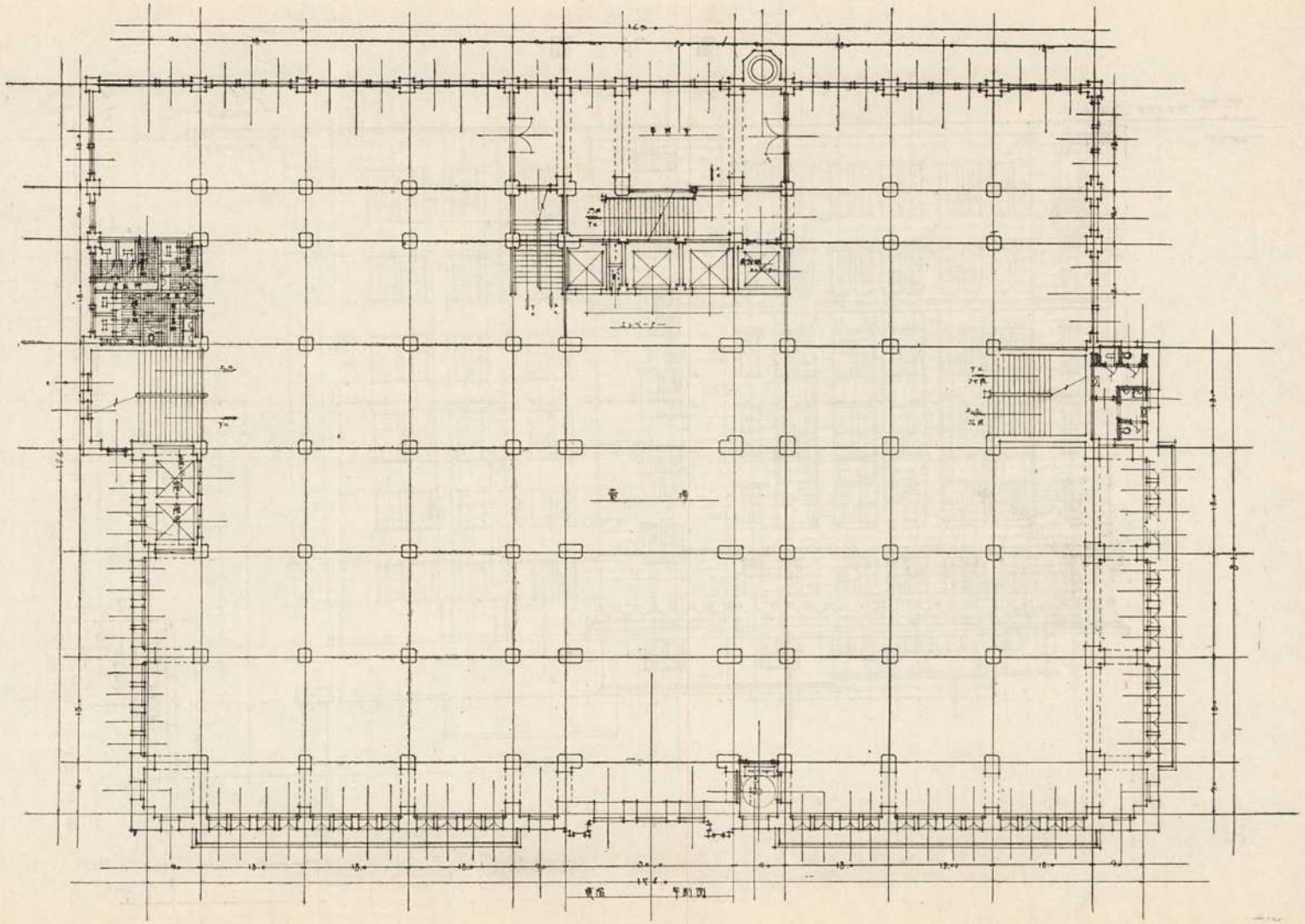
第五圖



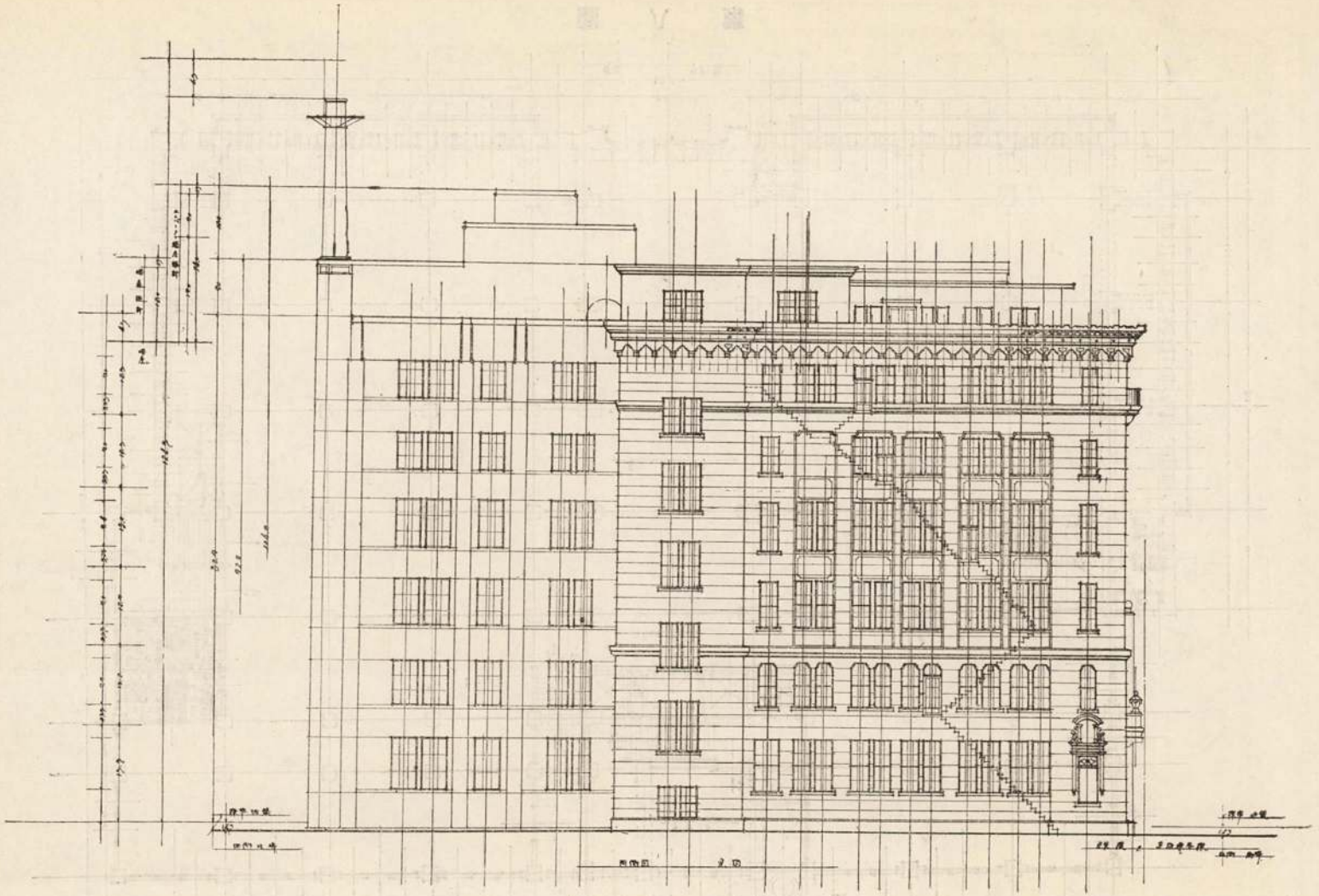
第六圖



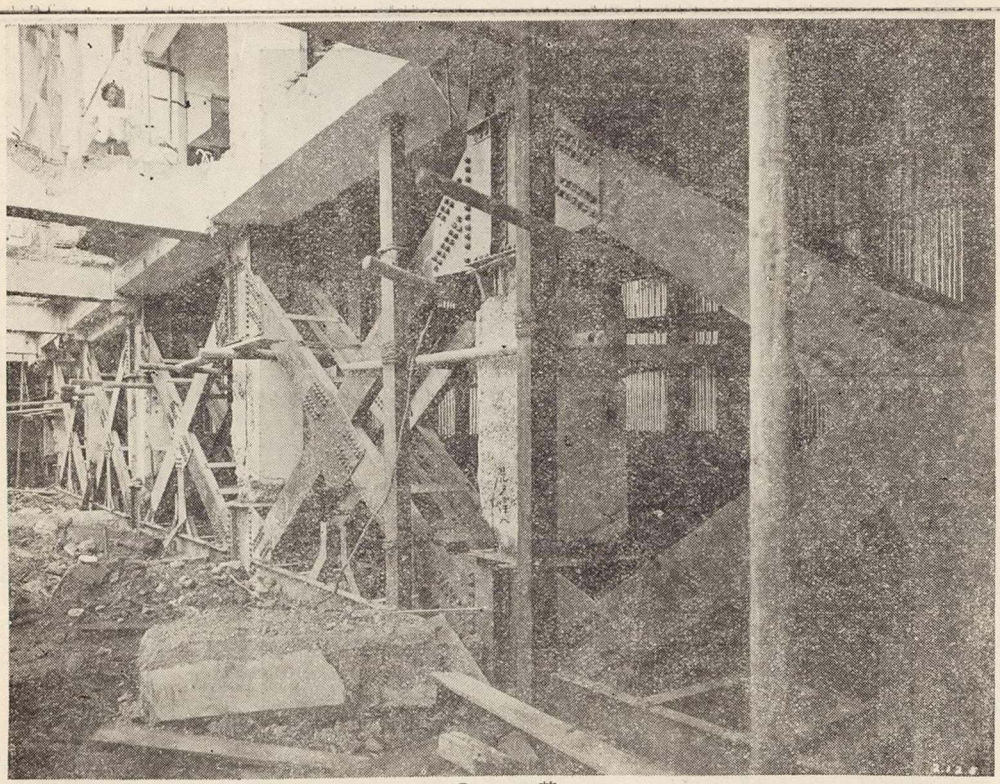
第七圖



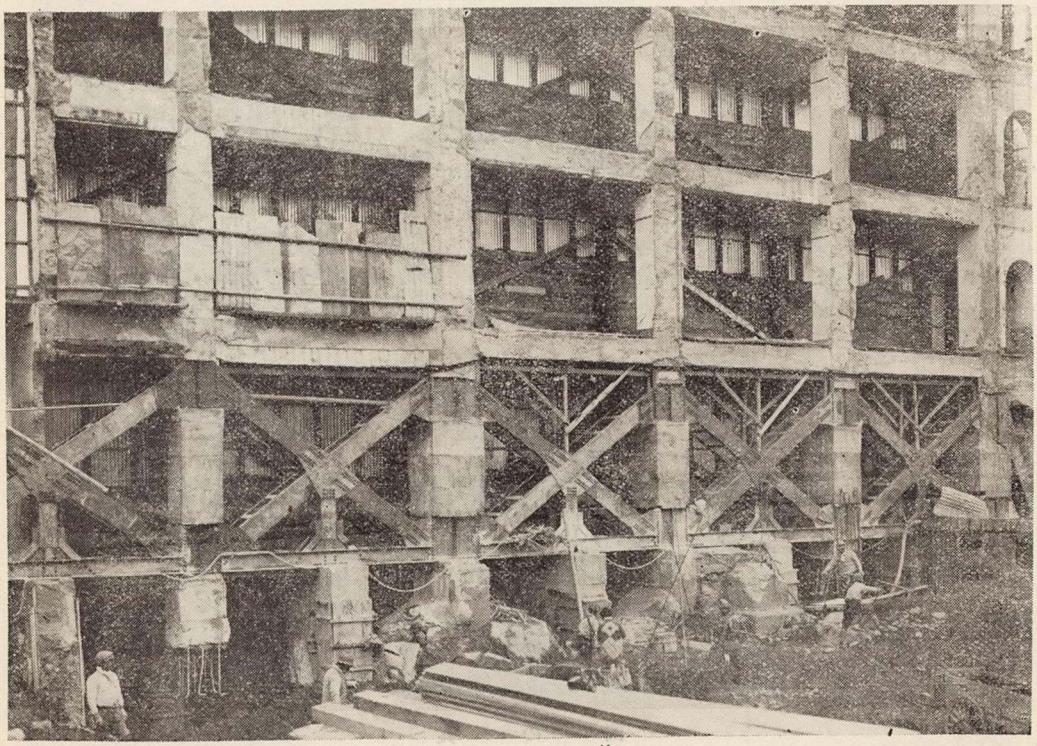
第八圖



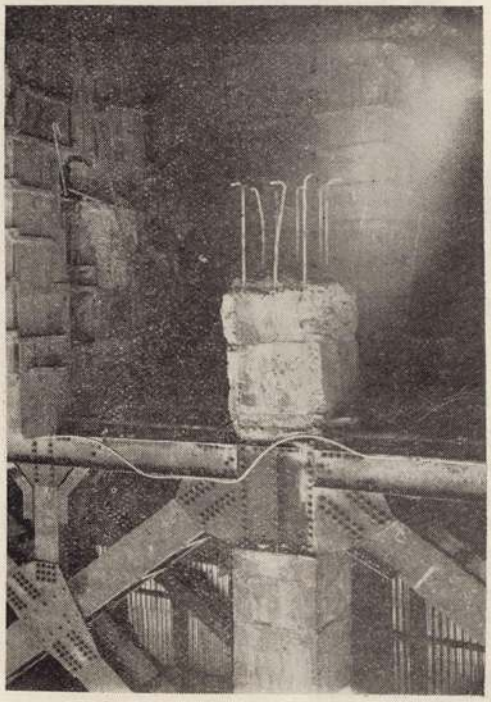
第九圖



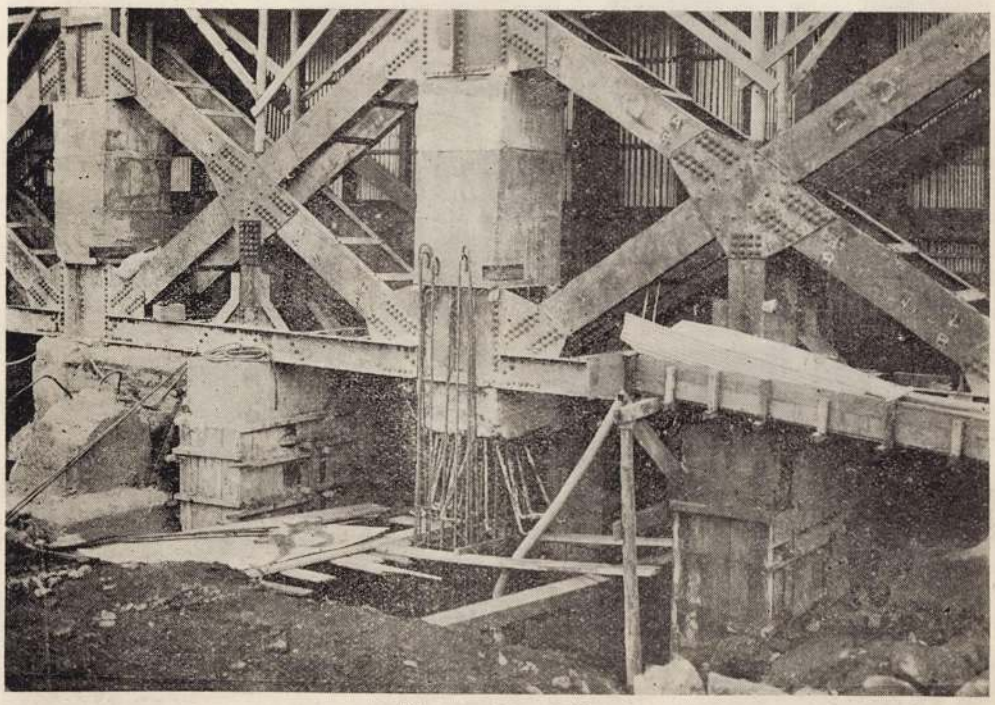
其の一



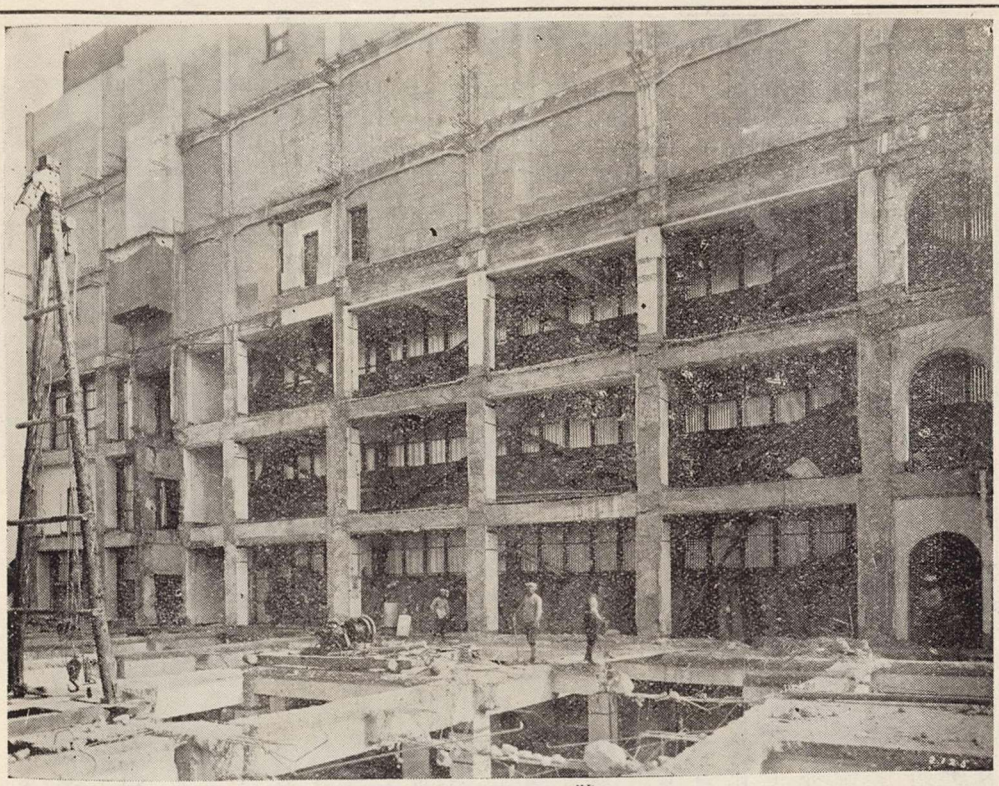
其の二



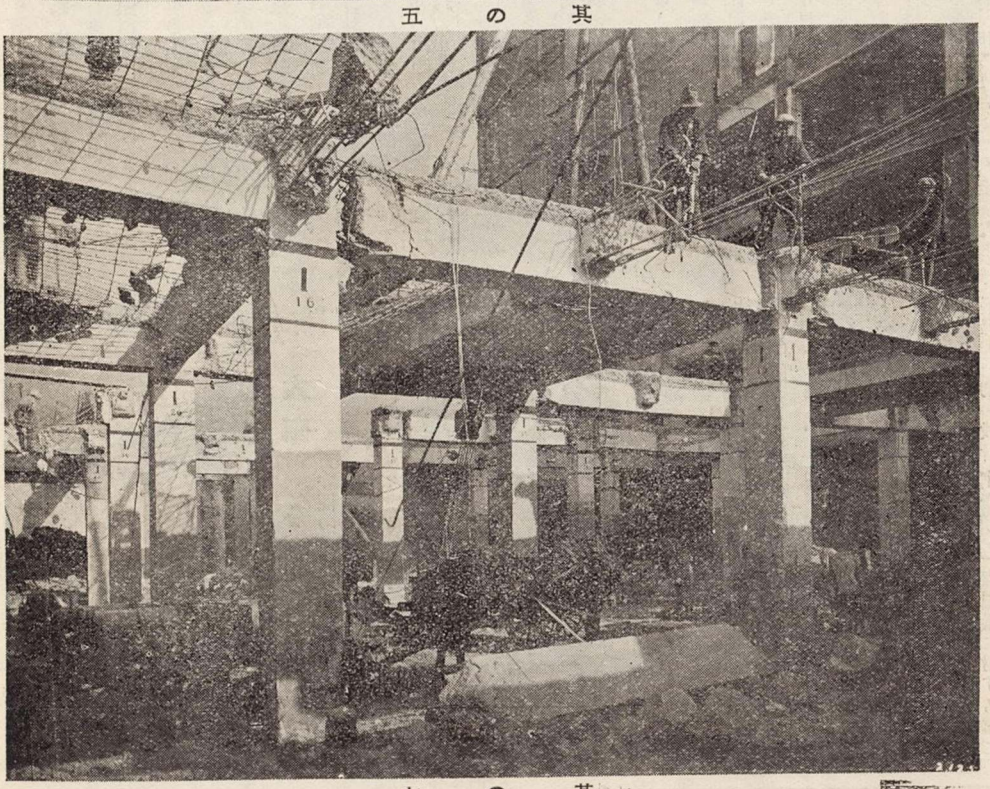
三　の　其



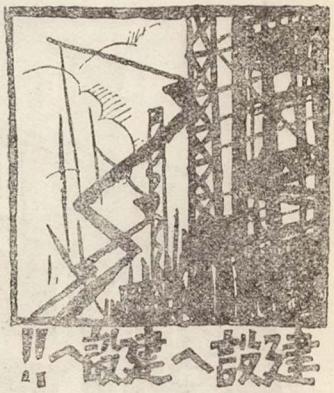
四　の　其



其の五



其の六



建設へ建設へ

一、松坂屋新築工事
大阪日本橋筋三丁目松坂屋支店は現在竹中組の手に依て改築第一期工事施工中であるが同工事竣成を俟つて第二期工事に着手計畫中の由建坪は第一期よりも多く高さは同じく七階建の豫定

一、十合呉服店計畫
大阪心齋橋十合呉服店改築計畫
六大百貨店中最も消極的に見られ十合呉服店にては今度勇奮一番一大店屋を新設して顧客を誘引し同業者をあつと云はす可く計畫中の由建坪は約千坪階高は地下共八九階の豫定。前記松坂屋新設と共に最新デパアトビルヂングとして異彩を放つ事と思はれる。

一、京大一部改築工事計畫
京大では豫て各學部共舍屋增改築計畫あり昨今協議中の由、其原案内容は醫學部病院其他工費約八百五十萬圓、法經學部數十萬圓、農學部數十萬圓、其他數十萬圓等にて完成の上は最高學府として一段其權威を增す事であらう。

日本に始めて出來る 自動車ビルヂング

一度に二百臺を樂々收容される
東京丸の内興銀裏手に建設

最近東京市内に自動車のふえた事は驚くばかりで、震災後一萬臺を突破して世人を驚かしたのも束の間、現在では二萬臺の聲も目前といふ豪勢振である、丸の内界隈の銀行會社だけで一目に呑吐する數は千臺以上にのぼり、丸ビル、郵船ビル、海上ビルをはじめその會社の前にも道も狹しとばかりに自動車がずらりと並んでゐる始末。それでこゝに目をつけたのが丸の内の本尊三菱で、地所部營繕課長藤村氏の設計した日本初めての自動車ビルヂングの議が急速に進展し、いよ〳〵七月早々起工式を擧げる段取りとなつた。

場所は、興業銀行裏手、建物は總建坪二千五百坪、六層樓の鐵骨鐵筋造り、内部はランプ・システムといつてビルヂングを中斷した各階は床が食ひ違ひになつてゐて、床と床の間は僅か五尺五寸の勾配、ハンドル輕く樂に六階までのぼれ二百臺が收容出來る仕組である。運轉手用として小さなエレベーターが設けられるほか一日四千石から吹き出す大井戸が掘られるので、洗ふことも自由である。

來年春までには竣工の豫定で、これが出來あがれば迎ひ用、送り用、待ち用などの長く待つ自動車は全部姿を消してビルヂングで休憩、呼びりん一つでビルヂングからすべり出るといふ便利至極なものである。



御大禮記念として

大阪城を開放

天守閣の再建もする
陸軍省から市へ正式に認可

大阪市では、御大禮記念の一つとして大阪城の開放と天守閣の再建を計畫し、かねて陸軍省の内意を伺つてゐたところ、いよ〳〵この程正式に認可の回答がきたので、市では御大禮奉祝費とゝもに一切の事業費を計上近く市會の協贊を求める事となつた、大阪城の開放は御大禮記念といふよりもむしろ都市計畫に密接の關係があり、現に第二次都計案には城跡一帶を市の中央公園にとり入れる事に立案してゐるくらゐであるが、しかし陸軍省の内意もあり、今回は單に城内本丸跡だけの開放にとゞめ、しかもその代償として現在本丸内にある師團司令部ならびにそれに附隨した廳舍全部を他へ移轉し、その改築に要する一切の經費を市から提供しなければならぬが、それも市と師團側と交涉の結果建設地は城内と決定、また建設費は百五十萬圓見で當これは無事市會を通過するものと見てゐる、次に天守閣の再建については市の建築課で一切の設計を完成し一應廳議に附する事になつてゐるが、これは波江建築課長が畢生の努力

と研究を要したもので、やはり豊公が築いた當年の天守閣そのまゝの結構を見せようとの計畫だといふ、そしてこれに要する工事費は今のところ大體卅萬圓見當としてゐるがこれも御大禮記念といふ主旨からその建設費を市の豫算から支出せず廣く一般市民の篤志に待つ事にしたいとの意向で、いよ〳〵決定の上は市會協議會を開いて議員一同の贊成を求めるはずであると。

新設備を施した

大阪鐵道病院

天王寺驛前金魚池上手に

工費百萬圓で起工

大阪鐵道局工務課で計畫中の大阪鐵道病院は二日午前同局で入札の結果、いよ〳〵大林組の手で大阪天王寺驛南側金魚池上手に新築することに決定した。

建築費五十八萬六千圓、設備、器具と合せて總工費約百萬圓の豫算で、鐵筋コンクリート、近代式三階建、一部地下室あり、附屬建物を合すれば全延坪八千六百四十二平方米となり、そのうち本館は延坪七千八百二平方米、一階には外科および內科の診察室、藥局あり、二階は齒科婦人科、耳鼻咽喉科、眼科の診察室、三階は全部病室で、一等（一人入り）六室、二等（二人入り）十室、三等（五人入り）廿一室合計卅七室、ベッド數約百卅個、ほかに附屬室として傳染病室（百四十三平方米）結核室百五十一平方米（消毒室（廿五平方米）屍室（五十二平方米）手術室（二百卅二平方米）あり

本月中ごろ起工、來年六月竣工の豫定で、外觀より內部に力を入れ最近醫學の新設備を施すことになつてゐる。

三百萬圓で

新設の十三橋

淀川大橋と同じくらゐ

府の土木事業進む

大阪府土木部では既定計畫によりぼし〳〵道路事業を進めてゐるが、都計十大道路中本年度の事業である國道第二號線中（野江—守口間）大阪池田線（十三—岡町間）は土地收用を完了し阿倍野、住吉線（西中道（松蟲塚）—大和川間）は目下工事に着手してゐる、右三線は何れも十三間道路で他の各線はそれ〳〵年度に從つて構築することになつてゐるが、今年度事業の大阪、池田線の十三橋は長さ四百間幅十一間ほとんど新阪神國道の淀川大橋に等しきもので工費が三百萬圓、上流の阪急鐵橋と橋脚を一致させる必要上阪急の各橋脚徑間百尺に對し徑間二百尺の橋とするはずで、橋梁の形式は水面の距離を多くし運航に便ならしめるため天神橋のやうな下路橋にすることにほゞ決定してゐるらしいなほ府土木事業たる十大路線延長計畫は現牛島土木部長の提案で前年通常府會で決議されたものであるが、未だ內務省並に大藏省から起債認可の指令がないので土地買收も未着手のまゝである。

海外奇聞

歐洲鼠族退治會議

パリで開催された『歐洲鼠族退治會議』の席上、フランス代表はパリの鼠軍は少くも五百萬で、市の人口よりずつと多いとコボした。

國際聯盟設計圖入選

建築技師に罰金

ブダペスト裁判所はジョセフバコーなる建築家に對し罰金を課し、もし應ぜなければ六日間の禁錮に處する旨申渡した。そのわけは建築技師の免許狀なしに數多の公共建物を設計したといふ廉だがこのバコー氏は先年國際聯盟が一千萬圓の巨費を投じて聯盟本部の設計圖業を募集した際數百人の各國の建築大家と競爭して日出度入賞した四名中の名譽ある一人とは不思議千萬な話である。

懸賞金三千ドル

階段速上り競走

オペラ女優が第一着

摩天樓として有名なニューヨークのウールワース・ビルヂングの五十八階を最短時間でかけ上る金三千ドル懸賞はレギア夫人といふ三十八歳のオペラ女優の手に落ちた。夫人はこの階段實に千三百五十八段を僅々十三分と四秒でかけ上つた。

新刊紹介

—建　築—

住居の衛生　第五編最新刊（大阪市立衛生試驗所長醫學博士藤原九十郎著）　一章健康保持と住宅、二章健康に良い住居借家の撰び方、三章敷地の撰定、良い敷地の見別け方、四章住宅の配置、五章建家材料と室内用具の撰び方、六章居住の樣式と寢室、小供室の設備、七章台所の設備と衛生、八章便所の衛生と改良法、九章浴室及び風呂、十章室内の消毒と清淨法、十一章室内害虫の驅除法、十二章夏季の住宅衛生、十三章多季の住宅衛生、十四章炭火の中毒、十五章採光と照明、十六章空氣の衛生と換氣方法、十七章附空氣の試驗法、十八章郊外生活と飲料水（四六判洋裝函入各四百頁　定價壹圓八拾錢送料十錢）

建築工事仕樣見積及施工法（福井義長、小島淳吉）（三、八〇　大阪淀屋書店）

鐵筋混凝土（上卷）（内村三郎）（三、〇〇　小石川良書普及會）

家を建てる人の爲に（山田醇）（五〇〇　麹町資文堂）

—趣　味—

大和古瓦圖錄（保井芳太郎著）　古跡を訪ね諸書をあさり、この種の研究に多年沒頭してゐる著者の鄉里大和を中心に蒐集した古瓦約八百種、これを適宜に分類解說したもの（非賣品奈良縣王寺町著者）

新撰古錢大鑑（中橋掬泉編）　日本、支那、安南の古錢、並に和漢の繪錢多數を刻印に附したもの、泉形とその年代、事歷の大要が知られる（二圓八十錢　東京日本橋檜物町紅玉堂書店）

—交　通—

交通警察論（藤岡長敏著）　藤岡君が警視廳保安部交通課長になつて足掛け七年だ「交通課長になつて生れた兒がもう來年は學校だよ」とニヤリとするのが藤岡さんだ、藤岡君のすわつてる交通課長のイスは、せゝこましい小うるさい切實な實際問題を處理する警視廳の課長連中のそれとは異つて甚だ閑散の樣だ「のんきだなア」と聞くと「おれは牛刀だ」とうそぶくそしてその机の上にはいつでもがらにない交通理論の文献を積んで居る、經驗とそのがらにない努力が今度「交通警察論」一册となつたわけなのである、第一部の交通警察法論と第二部の街路交通整理論は學術的な研究としてこの種の文献の少い日本にとつては緊切なその一つとなるだらうし、第三部の交通整理上の特殊問題は實際問題として最後の附錄は各國のポスターとその大都市の交通取締規則を載せて彼此比較研究の便を與へて居る（定價三圓　神田錦町二松堂書店）

—園　藝—

圖解庭造法（本多錦吉郎先生著）　本書は古來の名著を基礎とし遠近名家の庭園を實地に調査寫生し、各寫生圖理想講に精細な彩色を施し樹木泉石燈籠井筒庭石淨手鉢等の配置迄も悉く實景を展開瞭然たらしめたり。

總說、眞體か山圖解、行體築山圖、解眞體半庭圖解、行體半庭圖解、草體半庭圖解、茶庭圖解、樹石、泉石、淨手鉢、燈籠、井筒馬車廻し及び通路（四六倍判洋裝石版着色刷　定價三圓八十錢送料十八錢）

造園叢書二（都市の美裝）（黑田鵬心）（一、六〇　神田雄山閣）

造園叢書二（花壇と芝生）（關倫三郎）（二、〇〇　神田雄山閣）

—美　術—

奈良美術史料（推古編）（二、三〇　小石川、武藏野書院）

日本服飾史論（文學博士高商橋健自著）新刊菊版脊カンヴス、服飾の歷史的意義及び是れが變遷の跡を辿ることは夫れ自身に興味あるばかりでなく、一國文化の消長に關與し、考古學、土俗學への有益なる貢献を齎らし、文學藝術、特に繪畫彫刻の好參考資料を提供する。更に新流行の機因を作り、堅實なる風俗習慣の根柢をなすものである。本書は筆を我國神代に起し、埴輪土偶の考證、奈良朝時代から明治時代に至る間の服裝、飾身具一般に關し、確實なる典據に基いて服裝に現はれたる時代相、儀式禮裝の法をも克明に叙述した稀有の文献である（定價三圓送料十八錢）

都市計畫公報

（昭和三年五月三十一日官報第四二六號）

大阪市都市計畫街路、運河、下水道、公園、墓地左ノ通決定シ昭和三年五月二十九日內閣ノ認可ヲ得タリ

大阪都市計畫

街路ノ部

第一　街路ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一　廣路　幅員　四十四米以上

二　一等大路ハ左ノ三類トス

第一類　幅員　三十六米以上

第二類　幅員　二十九米以上

第三類　幅員　二十二米以上

三　二等大路ハ左ノ二類トス

第一類　幅員　十八米以上

第二類　幅員　十一米以上

第二　本計畫ニ定ムルモノヲ除クノ外街路ノ築造ニ關シテハ大正八年十二月內務省令第二十五號街路構造令ノ定ムル所ニ依ル

第三　街路ノ新設及擴築竝ニ位置及幅員左ノ如シ

一等大路第二類

第二號線（今宮平野線）

東四條三丁目ニ於テ一等大路第三類第十五號線ヨリ分岐シ南海鐵道本線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）東入船町ニ於テ同阪堺線路ヲ横切リ天王寺町ニ於テ同天王寺支線線路ヲ跨キ平野泥堂町ニ至リ右折シ平野背戶口町ニ於テ南海鐵道平野線線路ヲ横切リ喜連町二千三百二十番地ニ至リ一等大路第三類第六十二號線ニ接續スルノ路線　幅員　三十米

但シ起點ヨリ東入船町一番地地先ニ至ル區間ハ幅員二十三米、阿部野橋南詰ヨリ天王寺町二千五百五十六番地ニ至ル區間ハ幅員四十米トス

一等大路第三類

第四十號線（北野豐津線）

豐崎西通一丁目二番地地先ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ同四丁目ニ於テ國有鐵道大阪驛貨物線線路下ヲ過キ新淀川新架橋ヲ經南方町ニ於テ新京阪鐵道十三線線路ヲ横切リ西町ニ於テ國有鐵道北方貨物線線路ヲ跨キ宮原町、三國町、十八條町及神崎川新架橋ヲ經テ豐津村大字榎阪四百七十三番地ニ至リ一等大路第三類第四十一號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十七米

但シ豐崎西通三丁目十八番地ヨリ北川口町六百九十四番地ニ至ル區間ハ幅員三十六米、西町百七番地ヨリ南宮原町百十一番地ニ至ル區間ハ幅員三十四米トス

第四十一號線（吹田伊丹線）

吹田町字竹ケ本三千百二十八番地ニ於テ一等大路第三類第四十五號線ヨリ分岐シ豐津村及小曾根村ヲ經中豐島村大字服部ニ於テ阪神急行電鐵寶塚線線路ヲ横切リ南豐島村大字利倉字十四、七百二番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第四十四號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

但シ豐津村大字榎阪四百七十三番地ヨリ中豐島村大字服部三百番地ノ二ニ至ル區間ハ幅員三十米トス

第四十二號線（吹田塚口線）

吹田町字平松千九百六十番地ヨリ同町字孤澤ニ至リ新京阪鐵道千里山線線路ヲ横切リ同町字長澤ニ於テ國有鐵道城東貨物線線路下ヲ過キ同町字蓮田ニ於テ同東海道本線線路ヲ横切リ豐津村及小曾根村ヲ經庄內村大字野田ニ於テ阪神急行電鐵寶塚線線路ヲ横切リ南豐島村大字南今在家字バクヤ二十七番地ノ一地先府縣界ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

但シ起點ヨリ吹田町字中野三千九百五十九番地ニ至ル區間ハ幅員十五米トス

第四十三號線（淀川北岸線）

南大道町千二百十一番地ヨリ西大道町及上新庄町ヲ經豐里菅原町ニ於テ國有鐵道城東貨物線線路下ヲ過キ國次町ニ於テ新京阪鐵道線線路ヲ跨キ山口町ヲ經南方町ニ於テ同十三線線路ヲ横切リ右折シ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ北川口町及南方町ヲ經木川町ニ於テ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ塚本町ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ野里町ヲ經大和田町佃町錯雜地ニ於テ阪神電氣鐵道本線線路下ヲ過キ大和田町ニ於テ同傳法線線路下ヲ過キ神崎川新架橋及中島町ヲ經テ布屋町二百十三番地地先海岸ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

但シ起點ヨリ西大道町七百五十三番地ニ至ル區間ハ幅員十五米トス

第四十四號線（御幣島豐中線）

野里町七百八十一番地ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ加島町ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ神崎川新架橋ヲ經庄內村大字庄本ニ於テ阪神急行電鐵神戶線線路下ヲ過キ南豐島村大字原田字本陳山九百五十八番地ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

第四十五號線（歌島吹田線）

三津屋町六百八十三番地ニ於テ一等大路第三類第二十九號線ヨリ分岐シ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ新高町ニ於テ同寶塚線線路下ヲ過キ宮原町及神崎川新架橋ヲ經吹田町字宮ノ後ニ於テ新京阪鐵道千里山線線路下ヲ過キ同二千五百六十一番地ニ於テ一等大路第三類第三十號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

第四十六號線（宮原國次線）

宮原町六百七番地ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ國有鐵道東海道本線線路ヲ横切リ國次町四百九十二番地ニ於テ一等大路第三類第四十三號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十ヵ米

第四十七號線（西野田傳法線）

茶園町一丁六番地ニ於テ國道二號ヨリ分岐シ中津川及傳法川各新架橋ヲ經傳法町南一丁目ニ於テ阪神電氣鐵道傳法線線路下ヲ過キ秀野町及西島町ヲ經テ島船町地先埋立豫定地海岸ニ至ルノ路線　幅員　二十二米

第四十八號線（西野野田中津線）

茶園町二十八番地ニ於テ國道二號ヨリ分岐シ阪神電氣鐵道本線線路下ヲ過キ浦江町ニ至リ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ中津南通三丁目八十三番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十二米

第四十九號線（梅田線）

梅田町四十七番地ヨリ阪神電氣鐵道本線線路ヲ横切リ同町四十六番地ニ至ルノ路線　幅員　二十二米

第五十號線（北野善源寺線）

一等大路第三類第四十號線起點ヨリ阪神急行電氣線線路下ヲ過キ豊崎東通一丁目ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ天神橋筋六丁目及都島橋ヲ經テ澤上江町二丁目七十三番地ニ至ルノ路線　幅員　二十七米

但シ澤上江町一丁目九十八番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員三十米トシ天神橋筋六丁目ニ面積約三千平方米ノ廣場ヲ設ク

第五十一號線（中津赤川線）

豊崎西通三丁目十八番地ニ於テ一等大路第二類第四十號線ヨリ分岐シ豊崎東通四丁目ニ至リ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ長路西通二丁目ニ於テ新京阪鐵道線線路下ヲ過キ毛馬橋ヲ經赤川町ニ於テ國有鐵道城東貨物線線路下ヲ過キ同町五百七十七番地ニ至ルノ路線幅員　二十五米

第五十二號線（赤川柴島線）

赤川町七百四十一番地ヨリ淀川新架橋ヲ經テ柴島町三十四番地地先ニ至リ一等大路第三類第三十號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

第五十三號線（蒲生生江線）

蒲生町四十六番地ヨリ國有鐵道中野町聯絡線線路ヲ横切リ中宮町ニ於テ同城東貨物線線路下ヲ過キ生江町七百二十八番地ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

第五十四號線（新庄平野線）

上新庄町千二百五十二番地ニ於テ一等大路第三類第三十號線ヨリ分岐シ西大道町ニ至リ新京阪鐵道線線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）右折シ淀川新架橋ヲ經守口町大字土居ニ於テ京阪電氣鐵道線線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）三鄕村大字高瀨ニ於テ右折シ北清水町、別所町、今福町、鯰江川新架橋、寢屋川新架橋及放出町ヲ經布屋町新喜多町錯雜地ニ於テ國有鐵道片町線線路ヲ跨キ　緩速車道ハ平面交叉トス）左專道町及深江町ヲ經今里町ニ於テ大阪電氣軌道線線路下ヲ過キ大友町及巽村ヲ經平野泥堂町ニ於テ國有鐵道關西本線線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）同町百八十一番地ニ於テ一等大路第二類第二號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

但シ上新庄町四百九十二番地ヨリ西大道町二千七十九番地ニ至ル區間、守口町大字土居百七十五番地ヨリ同三百八十九番地ニ至ル區間、放出町三百三十六番地ヨリ左專道町八十三番地ニ至ル區間及平野泥堂町二百二十四番地ヨリ終點ニ至ル區間ノ幅員三十三米、今里町八百五十九番地ヨリ同町九百五番地ニ至ル區間ハ幅員二十七米トス

第五十五號線（古市清水線）

森小路町四百九十六番地ニ於テ一等大路御三類第三十四號線ヨリ分岐シ京阪電氣鐵道線線路下ヲ過キ別所町三百七十一番地ニ於テ前號路線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

第五十六號線（森小路大和川線）

前號起線點ヨリ關目町ニ至リ京阪電氣鐵道線線路下ヲ過キ蒲生町並ニ鯰江川及寢屋川各新架橋ヲ經鴫野町ニ於テ國有鐵道片町線線路下ヲ過キ中濱町中本町及大今里町ヲ經片江町ニ於テ大阪電氣軌道線線路下ヲ過キ猪飼野町及生野田島町ヲ經杭全町ニ於テ國有鐵道關西本線線路ヲ横切リ中野町ニ於テ南海鐵道平野線線路ヲ横切リ矢田村大字住道四百六十八番地地先大和川右岸ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

但シ鳴野町百八十五番地ノ一ヨリ同町二百十二番地ノ一ニ至ル區間及大今里七百三十五番地ヨリ杭全町五百五番地ノ二ニ至ル區間ハ幅員三十米、矢田村大字住道九百四十一番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十五米トス

第五十七號線（玉造左專道線）

一等大路第三類第六號線終點ヨリ森之宮東之町ニ於テ國有鐵道城東線線路ヲ横切リ深江町百九十八番地ニ至リ一等大路第三類第五十四號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

第五十八號線（足代線）

猪飼野町百五十五番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第五十六號線ヨリ分岐シ巽村大字矢柄百八十三番地ニ至リ一等大路第三類第五十四號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

第五十九號線（天滿谷町線）

一等大路第三類第二十四號線起點ヨリ谷町六丁目十二番地ノ一ニ至リ一等大路第三類第十二號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十四米

第六十號線（上本町線）

上本町二丁目二十九番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第十二號線ヨリ分岐シ上本町九丁目ニ至リ右折シ椎寺町ニ於テ左折シ逢坂上之町九番地ニ於テ一等大路第三類第十三號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十二米

第六十一號線（平野瓜破線）

平野本町一丁目八十四番地ニ於テ一等大路第三類第三十六號線ヨリ分岐シ喜連町六十番地ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

第六十二號線（喜連敷津線）

前號路線終點ヨリ湯里ヲ經鷹合町ニ於テ大阪鐵道線線路ヲ横切リ東長居町及西長居町ヲ經千躰町ニ於テ國有鐵道城東線線路下ヲ過キ濱口町ニ於テ同阪堺線線路ヲ横切リ同本線線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）十三間川新架橋及南加賀屋町ヲ經テ釜口町地先埋立地海岸ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

但シ安立町一丁目十九番地ヨリ濱口町二百六十一番地ニ至ル區間ハ幅員三十三米トス

第六十三號線（平野紫谷線）

平野野堂町六十一番地ニ於テ一等大路第三類第六十一號線ヨリ分岐シ平野流町及中野町ヲ經砂子町ニ於テ大阪鐵道線線路下ヲ過キ南田邊町ヲ經住吉町ニ於テ南海鐵道高野線線路ヲ跨キ粉濱東之町一丁目ニ於テ同本線線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）北加賀屋町ヲ經テ柴谷町地先埋立地ニ至リ左折シ釜口町地先埋立地ニ於テ前號路線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

但シ住吉町五百五十六番地ノ十六ヨリ同町四百五十八番地ニ至ル區間ハ幅員三十米、粉濱東之町一丁目四十六番地ヨリ粉濱中之町一丁目十七番地ニ至ル區間ハ幅員三十三米トス

第六十四號線（平野木津川線）

平野元町六丁目八十九番地地先ヨリ平野馬場町ヲ經北田邊町ニ於テ大阪鐵道及南海鐵道平野線線路ヲ横切リ阿部野町ニ於テ同上町線線路ヲ横切リ有樂町ニ於テ同本線線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）新開通一丁目ニ於テ同高野線線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）津守町二百九十一番地ノ二木津川左岸ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

但シ起點ヨリ平野元町七丁目十九番地ニ至ル區間ハ幅員二十二米、有樂町十番地ヨリ新開通二丁目十九番地ニ至ル區間ハ幅員三十三米トス

第六十五號線（大運橋通線）

南恩加島町四百五十番地ヨリ同町十八番地ニ至ルノ路線　幅員　二十二米

第六十六號線（阿部野木津川線）

天王寺町千五十七番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第二十一號線ヨリ分岐シ西今船町ニ於テ南海鐵道阪堺線線路下ヲ過キ三日路町ニ於テ同天王寺支線及同本線線路ヲ跨キ（緩速車速ハ平面交叉トス）梅通九丁目ニ於テ同高野線線路ヲ横切リ津守町八百七十番地木津川左岸ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

但シ西今船町三番地ヨリ花園町三十八番地ニ至ル區間ハ幅員三十三米、津守町四百十九番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十五米トス

第六十七號線（桑津矢田線）

林寺町三十一番地ヨリ桑津町ニ至リ國有鐵道關西本線及大阪鐵道線線路ヲ横切リ北田邊町ニ於テ南海鐵道平野線線路ヲ横切リ七百二十二番地ニ於テ一等大路第三類第六十二號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十五米

第六十八號線（天王寺吾彦線）

天王寺町二千五百五十六番地ニ於テ一等大路第二類第二號線ヨリ分岐シ大阪鐵道及南海鐵道平野線ヲ横切リ阿部野町、南田邊町、東長居町及我孫子町ヲ經テ淺香町五番地ニ至ルノ路線　幅員　二十七米

但シ我孫子町四百三十一番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十五米トス

第六十九號線（今池帝塚山線）

一等大路第三類第八號線路終點ヨリ住吉町五百五十六番地ノ十六ニ至リ一等大路第三類第六十三號線ニ接續スルノ路線　幅員　二十二米

但シ住吉町七百十三番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員三十米トス

第七十號線（難波河原町線）

廣路第一線號點ヨリ日本橋筋三丁目十二番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　二十二米

第七十一號線（難波泉尾線）

元町三丁目百九十一番地ノ一ニ於テ一等太路第三類第十號線ヨリ分岐シ東神田町ニ於テ二等大路第二類第六十七號線及國有鐵道關西本線線路ヲ跨キ（緩速車道ハ平面交叉トス）立葉町ニ於テ南海鐵道高野線及國有鐵道臨港線線路下ヲ過キ木津川新架橋ヲ經テ大正通四丁目三十一番地ニ至ルノ路線　幅員　二十二米

但シ元町三丁目百四十二番地ノ一ヨリ稻荷町三丁目八百九十二番地ニ至ル區間ハ幅員三十米、立葉町千三百一番地ノ一ヨリ同町千二百九十一番地ノ一ニ至ル區間ハ幅員二十五米トス

第七十二號線（恩貴島尼崎線）

恩貴島南之町百三十四番地ヨリ島屋町正蓮寺川新架橋新濱川新架橋西島町及神崎川新架橋ヲ經中島町五百十六番地地先府縣界ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

第七十三號線（大阪伊丹線）

一等大路第三類第二十九號線終點ヨリ府縣界ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

第七十四號線（傳法尼崎線）

一等大路第三類第三十三號線終點ヨリ府縣界ニ至ルノ路線　幅員　二十五米

二等大路第一類

第二十二號線（東田中町線）

夕凪町一丁目四十一番地ノ四ニ於テ國道第三十七號ヨリ分岐シ石田元町一丁目五十一番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　十八米

二等大路第二類

第二十號線（木津川驛前線）

津守町六百二番地ノ三ヨリ同町六百六十九番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第二十一號線（千船川北線）

大野町三百三番地ニ於テ一等大路第三類第三十三號線ヨリ分岐西島町ヲ經テ矢倉町二百十九番地ノ一地先海岸ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第二十二號線（福町十三線）

福町地内伽町飛地千三百三十二番地ニ於テ一等大路第三類第三十三號線ヨリ分岐シ阪神電氣鐵道傳法線線路ヲ横切リ姫島町ニ於テ同本線線路ヲ横切リ塚本町ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ十三南之町ニ於テ左折シ今里町七十六番地ニ至リ一等大路第三類第二十九號線ニ接續スルノ路線　幅員　十五米

第二十三號線（伽線）

伽町百二十一番地ニ於テ國道二號ヨリ分岐シ阪神電氣鐵道本線及傳法線線路ヲ横切リ同町七百二十七番地地先府縣界ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第二十四號線（宮原加島線）

西町三百三十二番地ヨリ國有鐵道北方貨物線北側ニ沿ヒ東雲町ニ至リ阪神急行電鐵賓塚線線路下ヲ過キ堀上町ニ於テ同神戸線線路下ヲ過キ三至ルノ路線　幅員　二十二米

二等大路第一類

第二十二號線（東田中町線）

夕凪町一丁目四十一番地ノ四ニ於テ國道第三十七號ヨリ分岐シ石田元町一丁目五十一番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　十八米

二等大路第二類

第二十號線（木津川驛前線）

津守町六百二番地ノ三ヨリ同町六百六十九番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第二十一號線（千船川北線）

大野町三百三番地ニ於テ一等大路第三類第三十三號線ヨリ分岐西島町ヲ經テ矢倉町二百十九番地ノ一地先海岸ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第二十二號線（福町十三線）

福町地内伽町飛地千三百三十二番地ニ於テ一等大路第三類第三十三號線ヨリ分岐シ阪神電氣鐵道傳法線線路ヲ横切リ姫島町ニ於テ同本線線路ヲ横切リ塚本町ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ十三南之町ニ於テ左折シ今里町七十六番地ニ至リ一等大路第三類第二十九號線ニ接續スルノ路線　幅員　十五米

第二十三號線（伽線）

伽町百二十一番地ニ於テ國道二號ヨリ分岐シ阪神電氣鐵道本線及傳法線線路ヲ横切リ同町七百二十七番地地先府縣界ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第二十四號線（宮原加島線）

西町三百三十二番地ヨリ國有鐵道北方貨物線北側ニ沿ヒ東雲町ニ至リ阪神急行電鐵賓塚線線路下ヲ過キ堀上町ニ於テ同神戸線線路下ヲ過キ三津屋町ニ於テ右折シ加島町二百七十六番地ニ至リ一等大路第三類第四十四號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第二十五號線（新庄庄内線）

上新庄町千二百五十二番地ニ於テ一等大路第三類第三十號線ヨリ分岐シ下新庄町ニ於テ新京阪鐵道千里山線線路ヲ横切リ國有鐵道城東貨物線線路下ヲ過キ國次町ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ三國町及神崎川新架橋ヲ經庄内村大字牛立ニ於テ阪神急行電鐵賓塚線線路ヲ横切リ同村大字庄本ニ於テ同神戸線線路下ヲ過キ同八十六番地地先府縣界ニ至ルノ路線　幅員　十五米

但シ庄内村大字牛立百三十一番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十八米トス

第二十六號線（柴島線）

長柄橋北詰ニ於テ一等大路第三類第三十號線ヨリ分岐シ新濱川堤防ニ沿ヒ南方町ニ至リ右折シ同町四百六十一番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第四十三號線ニ接續スルノ路線　幅員　十五米

第二十七號線（江口線）

西大道町七百五十三番地ニ於テ一等大路第三類第四十三號線ヨリ分岐シ神崎川新架橋ヲ經テ南大道町飛地二千三百七十二番地ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第二十八號線（四貫島島屋町線）

四貫島大通二丁目十五番地ヨリ四貫島元宮町ヲ經テ恩貴島南之町二百十六番地ニ至リ一等大路第三類第七十二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第二十九號線（傳法櫻島線）

姫島町八百四十六番地ノ二ニ於テ二等大路第二類第三十號線ヨリ分岐シ千鳥橋ヲ經四貫島白鳥町ニ於ヲ右折シ國有鐵道西成線北側ニ沿ヒ同線安治川驛前ヲ經テ島屋町三百六十三番地ノ四地先ニ至ルノ路線　　幅員　十一米

第三十號線（梅田傳法線）

北梅田町十七番地ニ於テ大阪市區改正設計二等大路第二類第四類第四號線ヨリ分岐シ浦江町ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ海老江町ニ於テ阪神電氣鐵道本線ヲ横切リ中津川新架橋ヲ經傳法町北四丁目ニ於テ阪神電氣鐵道傳法線線路下ヲ過キ姫島町千二百九十九番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第十八號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

第三十一號線（野田西九條線）

吉野町一丁目三番地ヨリ同町三丁目ニ至リ左折シ綠橋及逆川橋ヲ經朝日橋通二丁目ニ於テ左折シ國有鐵道西成線線路ヲ横切リ北安治川通一丁目三十一番地ニ於テ大阪市區改正設計二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

第三十二號線（安治川海老江線）

安井町二十五番地ニ於テ二等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ今開町二丁目ニ於テ國有鐵道西成線線路ヲ横切リ大開橋ヲ經大開町二丁目ニ於テ阪神電氣鐵道本線線路ヲ横切リ海老江町九百九十四番地、九百九十五番地、千二番地ノ一合地ニ於テ二等大路第二類第三十號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

第三十三號線（大野町線）

對込町十六番地ニ於テ二等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ笹平町二番地ニ至リ前號路線ニ接續スルノ路線　　幅員　十五米

第三十四號線（野田驛前線）

大野町二丁目九十四番地ニ於テ二等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ玉川町四丁目八十七番地ニ至ルノ路線　　幅員　十一米

第三十五號線（福島浦江線）

下福島二丁目百十九番地ニ於テ二等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ平松町ニ於テ國有鐵道西成線線路ヲ横切リ阪神電氣鐵道本線線路下ヲ過キ浦江町ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ同町百七十八番地ノ四ニ於テ一等大路第三類第四十八號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

第三十六號線（中津線）

中津南通三丁目二十一番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ豊崎西通四丁目二十番地ニ於テ一等大路第三類第四十號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

第三十七號線（本庄線）

中崎町三十番地ヨリ本庄中通三丁目九番地ニ至リ一等大路第三類第五十一號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

第三十八號線　北野天滿線）

芝田町五十六番地ニ於テ一等大路第三類第四號線ヨリ分岐シ阪神急行電鐵線線路下ヲ過キ鶴野町ニ於テ國有鐵道東海道本線線路下ヲ過キ中崎町百二十六番地ヲ經浪花町ニ於テ一等大路第三類第十四號線下ヲ過キ天滿橋筋六丁目ニ於テ右折シ樋之口橋ヲ經天滿橋筋四丁目ニ於テ國有鐵道城東線線路下ヲ過キ同七十三番地ニ於テ一等大路第三類第十六號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

但シ起點ヨリ芝田町十四番地地先ニ至ル區間ハ幅員十八米トス

第三十九號線（天滿長柄線）

天滿橋筋六丁目五十九番地ニ於テ前號路線ヨリ分岐シ長柄東通三丁目十番地ニ至リ一等大路第三類第五十一號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

第四十號線（天滿友淵線）

天滿橋筋四丁目七十二番地ニ於テ一等大路第三類第十六號線ヨリ分岐シ濱川新架橋ヲ經中野町二丁目ニ於テ左折シ國有鐵道城東線線路ヲ横切リ澤上江町一丁目及友淵町ヲ經毛馬町八百五十三番地ノ一ニ至ルノ路線　　幅員　十一米

第四十一號線（櫻之宮線）

東野田町二丁目二十一番地ヨリ中野町二丁目二百三十八番地ニ至リ前號路線ニ接續スルノ路線　　幅員　十一米

第四十二號線（赤川森小路線）

赤川町七百四十番地ノ二ヨリ森小路町二百八十一番地ニ至リ一等大路第三類第三十四號線ニ接續スルノ路線　　幅員　十五米

第四十三號線（東野田野江線）

東野田町七丁目百十九番地ニ於テ一等大路第三類第二十四號線ヨリ分岐シ國有鐵道中野町聯絡線線路ヲ横切リ善源寺町九丁目ヲ經テ一等大路第三類第二十二號線終點ニ至ルノ路線　　幅員　十一米

第四十四號線（寢屋川北岸線）

相生町百十四番地ヨリ寢屋川北岸ニ沿ヒ新喜多

町ニ至リ國有鐵道城東線及片町線線路下ヲ過キ蒲生町五百八番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第五十六號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第四十五號線（鴫野德庵線）

鴫野町百八十五番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第五十六號線ヨリ分岐シ放出町ヲ經テ今津町千五百十三番地地先國有鐵道片町線德庵驛前ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第四十六號線（眞田山今里線）

木野町十番地ヨリ國有鐵道城東線線路ヲ横切リ入船橋ヲ經テ大今里町五百九十三番地ニ至リ一等大路第三類第十二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十三米

第四十七號線（中道桑津線）

森町百十番地ニ於テ一等大路第三類第五十七號線ヨリ分岐シ猪飼野町ニ於テ大阪電氣軌道線線路下ヲ過キ鶴橋木野町及生野國分町ヲ經テ林寺町百六十七番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　十一米

第四十八號線（森之宮小橋線）

紀伊國町九百二番地ノ一ニ於テ二等大路第二類第十二號線ヨリ分岐シ空堀通二丁目及餌差町ヲ經テ味原町九十九番地ノ三十六ニ至リ二等大路第二類第五十二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第四十九號線（南北桃山線）

東高津北之町三十五番地ニ於テ二等大路第二類第五十二號線ヨリ分岐シ小橋西之町ニ於テ大阪電氣軌道線線路ヲ横切リ北山町五十九番地ニ於テ二等大路第二類第五十四號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第五十號線（谷町筋線）

谷町六丁目三番地ニ於テ一等大路第三類第十二號線ヨリ分岐シ六萬體町三十二番地ニ至リ一等大路第三類第六十號ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第五十一號線（毘沙門池大道線）

眞法院町八十八番地ニ於テ二等大路第二類第五十四號線ヨリ分岐シ大道三丁目四十七番地ニ至リ一等大路第三類第十三號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第五十二號線（東西高津線）

瓦屋町四番丁二十八番地ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ小橋元町九十一番地ニ至ルノ路線　幅員　十一米

第五十三號線（生玉猪飼野線）

生玉前町三十番地ニ於テ二等大路第二類第五十號線ヨリ分岐シ上本町七丁目九十番地ニ至リ一等大路第三類第六十號線ニ接續シ更ニ同二十一番地ニ於テ同線ヨリ分岐シ堂ケ芝町ニ於テ國有鐵道城東線線路ヲ横切リ新平野川新架橋ヲ經テ猪飼野町千百六番地ニ至リ一等大路第三類第五十六號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第五十四號線（夕陽丘猪飼野線）

下寺町二丁目十五番地地先ニ於テ一等大路第三類第二號線ヨリ分岐シ夕陽丘町ヲ經上本町八丁目十六番地ニ於テ一等大路第三類第六十號線ニ接續シ更ニ同町九丁目四番地ニ於テ同線ヨリ分岐シ烏ケ辻町ニ於テ國有鐵道城東線線路ヲ横切リ新平野川新架橋ヲ經テ猪飼野町七百三十一番地ニ至リ一等大路第三類第六十號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第五十五號線（河堀口舍利寺線）

生野國分町百八十七番地ヨリ生野田島町十五番地ニ至リ一等大路第三類第五十六號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第五十六號線（生野線）

二等大路第二類第四十七號線終點ヨリ生野田島町ヲ經テ巽村大字大地七百九十四番地ニ至リ一等大路第三類第五十四號線ニ接續スルノ路線　幅員　十五米

第五十七號線（阿部野杭全線）

天王寺町二千六十三番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第二十一號線ヨリ分岐シ桑津町ニ於テ大阪鐵道線線路ヲ横切リ杭全町四百八十九番地ニ於テ一等大路第二類第二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十五米

第五十八號線（瓜破線）

瓜破村大字西瓜破三十九番地ニ於テ一等大路第三類第六十二號線ヨリ分岐シ同村大字東瓜破二百五十二番地地先高野大橋北詰ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第五十九號線（大和川北岸線）

矢田村大字富田八十八番地ノ一地先下高野橋北詰ヨリ苅田町ヲ經遠里小野町ニ於テ南海鐵道高野線線路ヲ横切リ住之江町ニ於テ同阪堺線線路ヲ横切リ同本線線路下ヲ過キ南加賀屋町七十五番地ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第六十號線（北畠淺香山線）

住吉町千二百八十九番地ノ二ニ於テ一等大路第三類第三十二號線ヨリ分岐シ上住吉町千躰町殿辻町及山之內町ヲ經テ杉本町三百三番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第六十一號線（安立線）

長峡町四十七番地ノ一ヨリ安立町一丁目十六番地ニ至リ一等大路第三類第六十二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十五米

第六十二號線（天下茶屋線）

天王寺町五百八十二番地ノ三ニ於テ一等大路第三類第六十九號線ヨリ分岐シ南海鐵道阪堺線線路ヲ横切リ南海通二丁目ニ於テ同高野線線路下ヲ過キ玉出本通一丁目二番地ニ至ルノ路線　幅員　十五米

第六十三號線（今宮玉出線）

出城通五丁目十二番地ニ於テ大阪市區改正設計二等大路第二類第二號線ヨリ分岐シ潮路通一丁目二十四番地ニ至リ一等大路第三類第六十四號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第六十四號線（長堀逢坂線）

末吉橋通一丁目九番地ノ一地先ニ於テ一等大路第三類第十二號線ヨリ分岐シ長堀川新架橋、高津橋、御藏跡町及高津入堀川新架橋ヲ經テ南日東町百十四番地ニ至リ一等大路第三類第十三號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

但シ高津町二番丁ニ面積約三百平方米ノ廣場ヲ設ク

第六十五號線（難波鷺町線）

河原町一丁目千五百三十五番地ノ一ヨリ西關谷町二丁目及夕日橋ヲ經水崎町ニ於テ國有鐵道關西本線線路下ヲ過キ東入船町四十四番地ニ於テ一等大路第二類第二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十三米

但シ西關谷町二丁目ニ面積約二百五十平方米ノ廣場ヲ設ク

第六十六號線（難波下寺町線）

蘆原町千百八十二番地ノ四ヨリ東神田町ニ至リ國有鐵道關西本線線路ヲ横切リ難波入堀川新架橋ヲ經西關谷町二丁目ニ於テ南海鐵道本線線路ヲ横切リ高津入堀川新架橋ヲ經テ下寺町三丁目十二番地ニ至リ一等大路第三類第二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第六十七號線（湊町今宮線）

元町一丁目七百三十六番地ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ東神田町ニ於テ一等大路第三類第七十一號線下ヲ過キ勘助橋及國有鐵道關西本線今宮驛前ヲ經由町四丁目ニ於テ右折シ國有鐵道關西本線線路ヲ横切リ出城通一丁目九番地ニ於テ大阪市區改正設計二等大路第二類第二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第六十八號線（西濱榮町線）

榮町一丁目三十八番地地先ヨリ西濱北通一丁目ニ至リ國有鐵道臨港線線路下ヲ過キ西濱南通一丁目三十三番地ニ於テ二等大路第二類第六十九號線ニ接續スルノ路線　幅員　十三米

第六十九號線（木津西濱線）

大國町三丁目十七番地ヨリ榮町二丁目ニ至リ國有鐵道關西本線及同臨港線線路ヲ横切リ西濱南通三丁目ニ於テ左折シ榮町五丁目二十番地ニ至ルノ路線　幅員　十一米

但シ西濱南通三丁目八十八番地ヨリ終點ニ至ル區間ハ幅員十三米トス

第七十號線（岩崎橋筋線）

大正通一丁目九十五番地ヨリ國有鐵道臨港線北側ニ沿ヒ同四十二番地ニ至ルノ線路　幅員　十一米

第七十一號線（三軒家千島線）

大正通一丁目十六番地ヒリ三軒家家東一丁目ニ至リ國有鐵道臨港線線路下ヲ過キ南泉尾町三丁目ニ於テ右折シ同五十一番地ニ至リ大阪市區改正設計二等大路第二類第二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第七十二號線（泉尾恩加島線）

北泉尾町二丁目百十七番地ニ於テ一等大路第三類第十七號線ヨリ分岐シ泉尾松ノ町二丁目、泉尾北村町二丁目、小林町及新千歳町ヲ經テ南恩加島町三十二番地、三十三番地合地ニ至ルノ路線　幅員　十一米

第七十三號線（永樂橋線）

南泉尾町二丁目六十番地ニ於テ二等大路第二類第七十一號線ヨリ分岐シ泉尾濱通三丁目二十七番地ニ至ルノ路線　幅員　十一米

第七十四號線（平尾恩加島線）

平尾町四十五番地ニ於テ大阪市區改正設計二等大路第二類第七號線ヨリ分岐シ南恩加島町四百八十一番地ニ至リ一等大路第三類第六十五號線ニ接續スルノ路線　幅員　十五米

第七十五號線（江戸堀福島線）

土佐堀通五丁目十七番地ニ於テ一等大路第二類第一號線ヨリ分岐シ土佐堀川及堂島川新架橋ヲ經テ下福島二丁目五十一番地地先ニ至リ二等大路第二類第一號線ニ接續スルノ路線　幅員　十三米

第七十六號線（立賣堀富島線）

立賣堀北通六丁目十九番地ニ於テ二等大路第二類第十八號ヨリ分岐シ江島橋及古川橋ヲ經富島町ニ於テ左折シ國津橋ヲ經テ南安治川通一丁目

一番地ノ二地先ニ至ルノ路線　幅員　十一米

第七十七號線（九條北通線）

九條北通一丁目二番地ニ於テ一等大路第二類第一號路ヨリ分岐シ九條北通三丁目四百九十六番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　十一米

但シ本田町通二丁目及九條北通二丁目ニ面積約三百平方米ノ廣場ヲ設ク

第七十八號線（九條中通線）

九條中通一丁目百四番地ノ二ニ於テ國道三十七號ヨリ分岐シ九條中通四丁目三百九十二番地ノ一ニ至ルノ路線　幅員　十一米

第七十九號線（境川市岡線）

北境川町二丁目三十七番地ヨリ境川運河新架橋南境川町二丁目及魁町一丁目ヲ經テ西市岡町一丁目四番地ニ至リ國道三十七號ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第八十號線（安治川市岡線）

南安治川通二丁目三十八番地ヨリ九條通四丁目ニ至リ右折シ北境川町三丁目及境川運河新架橋ヲ經テ石田布屋町一丁目九十二番地ノ一ニ至リ二等大路第一類第二十二號線ニ接續スルノ路線　幅員　十一米

第八十一號線（曾根長興寺線）

中豊島村大字曾根百九十六番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第二十八號線ヨリ分岐シ同村大字長興寺五百五番地ノ二ニ至ルノ路線　幅員　十一米

第八十二號線（千里小曾根線）

一等大路第三類第三十號線終點ヨリ千里村大字片山ヲ經同村大字佐井寺ニ於テ新京阪鐵道千里山線線路ヲ横切リ小曾根村大字寺内二千四百七番地ニ至ルノ路線　幅員　十一米

但シ起點ヨリ千里村大字片山二千三百七十番地先ニ至ル區間ハ幅員十五米トス

第八十三號線（垂水千里山線）

豊津村大字垂水九百番地ニ於テ一等大路第三類第四十一號線ヨリ分岐シ新京阪鐵道千里山線線路ヲ横切リ千里村大字佐井寺三百二十二番地ニ於ヶ前號路線ニ接續スルノ路線幅員　十一米

第四　大正八年十二月二十三日内務省訓令第八百五十七號ニ依リ大阪市長ノ公告シタル大阪市區改正設計第五中左ノ路線ヲ削除ス

大正十三年十一月二十九日竝ニ大正十五年六月十日内閣ノ認可ヲ經タル大阪都市計畫事業ニ該當スルモノ

一等大路第二類　二
一等大路第三類　三
同　八
二等大路第一類　一
同　四
同　五
同　七
同　十中蒲生町四十六番地同ヨリ終點ニ至ル區間
同　十三
同　十五
同　十九
同　二十
二等大路第二類　二中夕凪町一丁目四十一番地ノ四ヨリ石田元町一丁目五十一番地ノ一ニ至ル區間及恩賞島南之町百三十四番地ヨリ終點ニ至ル區間　幅員　十一米

同　五中西市岡町二丁目二十六番地地先ヨリ終點ニ至ル區間　幅員　六間

同　幅員　八間

同　幅員　八間

同　幅員　八

一等大路第三類ノ部

一二　伯樂橋西詰ヨリ松島町二丁目十八番地地先ニ至ル區間　幅員　十二間

二等大路第一類ノ部

二　一等大路第三類第十七號線終點ヨリ尻無川渡船場及市岡元町二丁目(舊市岡町)ヲ經テ南安治川通三丁目五十一番地ニ至ル區間　幅員　十一間

六　北安治川通三丁目四百八十二番地地先ヨリ春日出橋ヲ經テ一等大路第三類第十八號線起點ニ至ル區間　幅員　十間

七　一等大路第三類第二十三號線終點ヨリ一等大路第三類第五十三號線起點ニ至ル區間　幅員　十間

二等大路第二類ノ部

一　北安治川通一丁目八番地地先ヨリ大阪市區改正設計二等大路第一類第六號線起點ニ至ル區間　幅員　八間

二　西四條三丁目十一番地(舊今宮町水渡六百二十二番地ノ一)ニ於テ一等大路第三類第十號線ヨリ分岐シ木津川落各上渡船場、千島町、大正通十丁目(舊泉尾町)、尻無川甚兵衛渡船場、北福崎西ノ町舊北福崎町三樋入堀新橋梁ヲ經テ夕凪町一丁目四十一番地ノ四ニ至リ國道三十七號ニ接續スル區間及石田元町一丁目五十一番地ノ一ヨリ安治川松ケ鼻渡船場ヲ經テ一等大路第三類第七十二號線起點ニ至ル區間　幅員　八間

四　西梅田町三百九十五番地ヨリ中津南通三丁目二十一番地(舊中津町下三番二百三十七番地)ニ於テ一等大路第三類第四號線ニ接續スル區間　幅員　八間

五　二等大路第一類第二十一號線終點ヨリ西市岡町二丁目二十六番地ニ至リ二等大路第一類第二十二號線ニ接續スル區間　幅員　八間

運河ノ部

第一　運河ノ等級及幅員ハ左ノ標準ニ依ル

一等　幅員五十五米以上

二等　幅員四十七米以上

三等　幅員四十米以上

四等　幅員三十三米以上

五等　幅員二十五米以上

六等　幅員十八米以上

第二　運河ノ底高ハ特別ノ場合ヲ除クノ外最低水位以下二米トス

第三　運河ニ架スル橋梁ノ桁下高及有效徑間ハ特別ノ場合ヲ除クノ外左ノ標準ニ依ル

一　高　計畫高水位ヨリ三米以上

一　主徑間　八米以上

第四　運河ノ新設及擴築竝ニ位置及幅員左ノ如シ

二等

第一(阪北運河)

國次町千二百五十二番地ノ三地先神崎川ヨリ三國町、宮原町、南宮原町、西町、東雲町、堀上町及三津屋町ヲ經テ加島町千四百三十七番地地先神崎川ニ至ル　幅員　四十七米

第二(寢屋川運河)

新喜多町二百五十三番地地先ヨリ寢屋川ヲ相生町百四十一番地地先ニ至ル　幅員　三十六米乃至四十七米

第三(川北運河)

佃町七百二十七番地地先左門殿川ヨリ同町及中島町ヲ經テ神崎川派川ヲ百島町百九十二番地地先新淀川ニ至ル　幅員　四十七米

但シ終點附近ニ面積約七千平方米ノ船溜ヲ設ク

第四(敷津運河)

北加賀屋町三百三番地地先木津川ヨリ釜口町ヲ經テ北島町百六十二番地地先大和川ニ至ル　幅員　四十七米

第五(津守運河)

津守町二百十一番地地先ニ於テ運河六等第四ヨリ分岐シ北加賀屋町二百九十三番地地先木津川ニ至ル　幅員　四十七米

三等

第一(城北運河)

友淵町自二百八十八番地合地地先淀川ヨリ赤川町、生江町、中宮町、江野町、南島町、森小路町及今福町ヲ經テ放出町千百三十四番地ノ一地先寢屋川ニ至ル　幅員　四十米

但シ森小路町及千林町今市町錯雜地ニ面積約一萬三千平方米ノ船溜ヲ設ク

第二(北港運河)

島船町地先新淀川ヨリ正蓮寺川ヲ横切リ川岸町三丁目五番地地先安治川ニ至ル　幅員　四十五米

但シ起點ヨリ正蓮寺川ニ至ル區間ハ幅員六十米トス

第三(住吉運河)

濱口町三百九十二番地ノ一地先ヨリ住吉浦ヲ埋立地地先海ニ至ル　幅員　四十米乃至七十五米

五等

第一(北島運河)

長橋通九丁目七番地ニ於テ運河六等第四ヨリ分岐シ津守町七百八十一番地地先木津川ニ至ル　幅員　二十五米

六等

第一（城東運河）

杭全町三百十三番地ノ三ヨリ今林町ニ至リ左折シ巽村、中川町、片江町、大今里町、東今里町永田町及天王田町ヲ經テ放出町六百三十番地地先寮屋川ニ至ル　幅員　十八米乃至二十五米

第二（中本運河）

永田町百八十五番地ノ一ニ於テ運河六等第一ヨリ分岐シ中本町ヲ經テ中濱町三百七十五番地ニ至リ運河六等第三ニ接續ス　幅員　十八米

第三（平野川運河）

中道町七百十一番地地先新平野川終點ヨリ平野川ヲ中濱町七百七十三番地ニ至ル

幅員　十八米乃至二十五米

第四（十三間川運河）

西濱北通三丁目三十九番地地先ヨリ十三間川ヲ運河三等第三起點ニ至ル

幅員　十八米乃至二十五米

第五（堂島運河）

堂島濱通二丁目二十三番地地先堂島川ヨリ西梅田町三十七番地地先大阪驛構内船溜ニ至ル

幅員　二十二米

第六（木場川運河）

北安治川通一丁目三番地地先安治川ヨリ木場川ヲ新家町一丁目ニ至リ更ニ同町二丁目五十九番地地先六軒家川ニ至ル

幅員　二十二米乃至三十五米

下水道ノ部

第一　下水排除區域ハ大阪市區域内トス但シ地勢ノ關係ニ依リ隣接町村一部ノ下水ニシテ市内ニ流入スルモノハ之ヲ收容スル計畫トス

第二　下水排除量ニ付テハ雪水量ヲ一時間最大降雨量六十粍トシ汚水量ヲ一人一日當リ〇・二立方米（七立方尺）トシ將來人口約五百萬人ニ對スル下水ヲ排除スルモノトス

第三　下水排除方法ハ主トシテ合流法ニ依リ雨水及汚水ヲ同一管渠ニ導キ收容排除ス但シ地勢ニ應シ之ヲ格別ノ管渠ニ依リ排除スル分流法ヲ併用スルコトアルヘシ

第四　下水處分ニ付テハ汚水ハ凡テ之ヲ處理場ニ導キ處理シタル後河海ニ排出ス但シ合流法ニ依ル地域ニ於ケル下水ハ雨水カ晴天時汚水量ノ三倍ニ達スル迄ハ之ヲ處理シ殘餘ハ直ニ河海ニ排流セシムルモノトス

第五　下水管渠ノ構造ハ總テ暗渠式トシ排水量ノ多少ニ應シ陶管、鐵筋混凝土管竝鐵筋混凝土暗渠ノ三種ヲ併用ス

第六　下水排除區域ヲ中部、南部、北部、淀川北部及東部ノ五處理區ニ分ツ

第七　各處理區ノ區域、排水面積竝ニ處理場、抽水所及下水道幹線ノ大要左ノ如シ

中部處理區

一　區域　西區、港區、浪速區ノ全部、北區、東區天王寺區、南區ノ一部

（別紙大阪都市計畫圖第二號表示ノ通）

二　排水面積　約二千九百五十ヘクタール

三　處理場、抽水所及下水道幹線ノ名稱、位置等左ノ如シ

イ　津守處理場

位置　津守町地内

面積　約五萬九千五百平方米

主要設備　沈澱池、喞筒場、放流溝、淨化裝置等

ロ　市岡抽水所

位置　尻無川北通五丁目地内

面積　約六千九百九十平方米

（既設抽水所面積約五千七百六十平方米）

ハ　小林抽水所

位置　小林町地内

面積　約五千七百十平方米

（既設抽水所面積約四千三百九十平方米）

ニ　下水道幹線

東横堀津守幹線

護屋橋東詰ヨリ高津町四番丁、高津入堀川伏越、難波新川伏越、新川一丁目、同三丁目、蘆原町竝ニ鶴川及十三間川ノ各伏越ヲ經テ津守處理場ニ至ル

大川島之内幹線

護屋橋西詰ヨリ横堀一丁目、長堀川伏越、南炭屋町及道頓堀川伏越ヲ經テ難波新地三番丁ニ至リ東横堀津守幹線ニ接續ス

土佐堀櫻川幹線

土佐堀南詰ヨリ江戸堀川、京町堀川、海部堀川、阿波堀川立賣堀川、西長堀川、堀江川及西道頓堀川ノ各伏越並ニ櫻川二丁目ヲ經テ芦原町ニ至リ東横堀津守幹線ニ接續ス

高津幹線

下寺町二丁目ヨリ同町一丁目ニ至リ東横堀津守幹線ニ接續ス

難波新川幹線

西關谷町二丁目ヨリ難波新地三番丁ニ至リ東横堀津守幹線ニ接續ス

難波幹線

小田町ヨリ芦原町ニ至リ東横堀津守幹線ニ

接續ス

西濱幹線

榮町五丁目ヨリ同町ニ於テ東横堀津守幹線ニ接續ス

今宮北幹線

長橋通一丁目ヨリ十三間川伏越ヲ經テ津守町ニ至リ東横堀津守幹線ニ接續ス

末吉橋通幹線

順慶町一丁目ヨリ末吉橋西詰ヲ經テ上繫橋東詰ニ至リ大川島之内幹線ニ接續ス

長堀幹線

長堀橋筋一丁目ヨリ下繫橋東詰ニ至リ大川島之内幹線ニ接續ス

道頓堀幹線

問屋町ヨリ上大和橋西詰ヲ經テ大黒橋北詰ニ至リ大川島之内幹線ニ接續ス

櫻川幹線

木津川町一丁目ヨリ櫻川二丁目ニ至リ土佐堀櫻川幹線ニ接續ス

境川幹線

北境川町二丁目ヨリ境川運河伏越、八雲町二丁目及市岡元町三丁目ヲ經テ市岡抽水所ニ至ル

泉尾等一號幹線

市岡抽水所ヨヒ尻無川北通入堀伏越、北福崎東ノ町、尻無川及西堀ノ各伏越、大正通十丁目及大正運河伏越ヲ經テ小林抽水所ニ至ル

泉尾第二號幹線

小林抽水所ヨリ千島中橋堀割、千島大橋堀割及木津川ノ各伏越ヲ經テ津守處理場ニ至ル築港幹線

八幡屋元町三丁目ヨリ朝潮橋下入堀及夕凪橋東入堀ノ各伏越並ニ市岡元町五丁目ヲ經テ市岡抽水所ニ至ル

福崎幹線

南福崎町四丁目ヨリ同町三丁目、北福崎西ノ町並ニ福崎堀及三樋入堀ノ各伏越ヲ經テ三樋町ニ至リ築港幹線ニ接續ス

船町恩加島幹線

船町ヨリ木津川運河伏越及南恩加島町ヲ經テ小林抽水所ニ至ル

鶴町幹線

鶴町三丁目ヨリ福町堀伏越、福町二丁目及千歳運河伏越ヲ經テ南恩加島町ニ至リ船町恩加島幹線ニ接續ス

南部處理區

一　區域　西成區ノ全部住吉區ノ一部

（別紙大阪都市計畫圖第二號表示ノ通）

二　面積　約三千ヘクタール

三　處理場、抽水所及下水道幹線ノ名稱、位置等左ノ如シ

イ　大和川處理場

位置　釜口町地先埋立地地内

面積　約四萬二千九百七十平方米

主要設備　沈澱、池、喞筒場、放流溝、消化裝置、放流管等

ロ　粉濱抽水所

位置　粉濱西之町一丁目地内

面積　約三千六百三十平方米

ハ　下水道幹線

西長居大和川幹線

阿倍野町ヨリ西長居町、上住吉町、十三間川伏越及南加賀屋町ヲ經テ大和川處理場ニ至ル

但シ上住吉町地内ニ於テ細江川ニ至ル溢流溝ヲ敷設ス

津守敷津幹線

津守處理場ヨリ住吉浦伏越ヲ經テ南加賀屋町ニ至リ西長居大和川幹線ニ接續ス

苅田幹線

苅田町ヨリ西長居町ニ至リ西長居大和川幹線ニ接續ス

住吉幹線

阿倍野町ヨリ上住吉町ニ至リ西長居大和川幹線ニ接續ス

住之江幹線

山之内町ヨリ十三間川伏越ヲ經テ南加賀屋町ニ至リ西長居大和川幹線ニ接續ス

今宮南幹線

天王寺町ヨリ今池町、東萩町、旭南通二丁目及十三間川伏越ヲ經テ津守處理場ニ至ル

玉出幹線

千本通三丁目ヨリ辰巳通二丁目ヲ經テ粉濱抽水所ニ至ル

櫻井幹線

粉濱抽水所ヨリ十三間川伏越ヲ經テ北加賀屋町ニ至リ津守敷幹線ニ接續ス

柴谷幹線

北加賀屋町ヨリ柴谷町及住吉浦伏越ヲ經テ南加賀屋町ニ至リ西長居大和川幹線ニ接續ス

北部處理區

一　區域　此花區ノ全部、北區、東淀川區、西淀川

區ノ一部

（別紙大阪都市計畫圖第二號表示ノ通）

二　排水面積　約千七百七十五ヘクタール

三　處理場、抽水所及下水道幹線ノ名稱、位置等左ノ如シ

イ　海老江處理場

位置　海老江町地内

面積　約三萬千七百三十平方米

主要設備　沈澱池、喞筒場、放流溝、淨化裝置等

ロ　北野抽水所

位置　大仁町地内

面積　約三千八百二十平方米

（既設抽水所面積約二千百六十平方米）

ハ　恩貴島抽水所

位置　恩貴島南之町地内

面積　約七千二百平方米

（既設抽水所面積約七千二百平方米）

ニ　下水道幹線

堂島海老江幹線

天神橋北詰ヨリ天滿堀川伏越、柳橋東詰曾根崎新地三丁目、堂島堀割伏越及大開町二丁目ヲ經テ海老江處理場ニ至ル

長柄幹線

長柄中通三丁目ヨリ本庄川崎町四丁目、同三丁目、本庄東通三丁目、南濱町三丁目同町二丁目、豐崎二丁目、中津南通二丁目及大仁町ヲ經テ北野抽水所ニ至ル

聖天川幹線

北野抽水所ヨリ上福島北一丁目及同四丁目ヲ經テ龜甲町二丁目ニ至リ堂島海老江幹線ニ接續ス

福島幹線

上福島中四丁目ヨリ同町ニ於テ聖天川幹線ニ接續ス

大仁海老江幹線

中津南通四丁目ヨリ浦江町ヲ經テ海老江處理場ニ至ル

西野田幹線

新家町一丁目ヨリ大開町二丁目ニ至リ堂島海老江幹線ニ接續ス

酉島海老江幹線

酉島町ヨリ恩貴島北之町、傳法川伏越、傳法町北一丁目及姫島町ヲ經テ海老江處理場ニ至ル

島屋幹線

島屋町ヨリ恩貴島抽水所ニ至ル

恩貴島幹線

恩貴島抽水所ヨリ正蓮寺川伏越ヲ經テ恩貴島北之町酉島海老江幹線ニ接續ス

傳法幹線

傳法町北四丁目ヨリ姫島町ニ至リ酉島海老江幹線ニ接續ス

淀川北部處理區

一　區域　東淀川區、西淀川區ノ一部

（別紙大阪都市計畫圖第二號表示ノ通）

二　排水面積　約三千百十ヘクタール

三　處理場、抽水所及下水道幹線ノ名稱、位置等左ノ如シ

イ　福町處理場

位置　福町地内

面積　約二萬七千七百七十平方米

主要設備　沈澱池、喞筒場、放流溝、淨化裝置等

ロ　北川口抽水所

位置　北川口町地内

面積　約一萬千五百七十平方米

ハ　御幣島抽水所

位置　御幣島町地内

面積　約六千六百十平方米

ニ　下水道幹線

豐里柴島幹線

西大道町ヨリ豐里三番町、上新庄町、國次町、山口町及南方町ヲ經テ北口川抽水所ニ至ル

十三姫島幹線

北川口抽水所ヨリ木川町、十三東之町、十三西之郡、今里町、塚本町、野里町及姫島町ヲ經テ福町處理場ニ至ル

三國加島幹線

三國町ヨリ宮原町、三津屋町及加島町ヲ經テ御幣島抽水所ニ至ル

御幣島福町幹線

御幣島抽水所ヨリ大和田町及大野川伏越ヲ經テ福町處理場ニ至ル

布屋大和田幹線

布屋町ヨリ中島町及神崎川派川伏越ヲ經テ大和田町ニ至リ御幣島福町幹線ニ接續ス

柴島幹線

柴島町ヨリ飛鳥町ニ至リ豐里柴島幹線ニ接續ス

東部處理區

一　區域　東成區ノ全部、北區、東區、天王寺區、

南區、東淀川區、住吉區ノ一部
（別紙大阪都市計畫圖第二號表示ノ通）

二　排水面積　約四千六百六十ヘクタール

三　處理場抽水所及下水道幹線ノ名稱、位置等左ノ如シ

イ　中濱處理場

位置　中濱町及鳴野町地內

面積　約十二萬五千四百五十平方米

主要設備　沈澱池、喞筒場、放流溝、淨化裝置等

ロ　東野田抽水所

位置　東野田町七丁目島地內

面積　約七千九百二十平方米

（既設抽水所面積約七千九百二十平方米）

ハ　下水道幹線

平野中濱幹線

平野野堂町ヨリ平野流町、平野泥堂町、杭全町、猪飼野町、大今里町。中本町及千間川伏越ヲ經テ中濱處理場ニ至ル

但シ杭全町地內ニ於テ今川ニ至ル溢流溝ヲ敷設ス

南田邊杭全幹線

南田邊町ヨリ中野町及今川町ヲ經テ杭全町ニ至リ平野中濱幹線ニ接續ス

天王寺中本幹線

天王寺町ヨリ生野國分町、鶴橋天王寺町、東小橋町、森町及平野川伏越ヲ經テ中本町ニ至リ平野中濱幹線ニ接續ス

但シ生野國分町及鶴橋木野町ヨリ新平野川ニ至リ溢流溝ヲ敷設ス

桑津幹線

桑津町ヨリ天王寺町ニ至リ天王寺中本幹線ニ接續ス

森小路中濱幹線

森小路町ヨリ關目町、蒲生町並ニ鯰江川及寢屋川ノ各伏越ヲ經テ中濱處理場ニ至ル

別所蒲生幹線

別所町ヨリ今福町ヲ經テ蒲生町ニ至リ森小路中濱幹線ニ接續ス

中宮東野田幹線

中宮町ヨリ野江町一丁目ヲ經テ東野田抽水所ニ至ル

赤川幹線

赤川町ヨリ生江町ヲ經テ中宮町ニ至リ中宮東野田幹線ニ接續ス

東野田幹線

東野田抽水所ヨリ鯰江川及寢屋川ノ各伏越ヲ經テ中濱處理場ニ至ル

第八　各處理區內ニハ適當ニ下水道枝線ヲ敷設シ之ヲ幹線ニ連絡セシムルモノトス

公園ノ部（公園ノ位置ニ付テハ別紙大阪都市計畫圖第一號表示ノ通）

第一　公園ノ新設擴築及位置、面積並ニ公園道路左ノ如シ

第一號（外島公園）

位置　外島町、中島町及布屋町ノ內

面積　約九・八〇ヘクタール

第二號（出來島公園）

位置　出來島町ノ內

面積　約六・六一ヘクタール

第三號（神崎川公園）

位置　加島町及庄內村大字庄本ノ內

面積　約三三・〇五ヘクタール

第四號（十三公園）

位置　十三南之町、十三西之町及今里町ノ內

面積　約三・五〇ヘクタール

第五號（號北中島公園）

位置　山口町及日之出町ノ內

面積　約六・〇二ヘクタール（既設公園面積約一・〇二五ヘクタール）

第六號（服部公園）

位置　小曾根村大字長島、大字石蓮寺、大字寺內、大字小曾根、中豐島村大字服部、大字長興寺、南豐島村大字穗積、熊野田村字下五反谷字廣田、字山崎及豐津村大字榎阪ノ內

面積　約一一五・〇〇ヘクタール

但シ小曾根村大字長島二百六十八番地地先ヨリ中豐島村大字服部五百六十三番地ニ至ル公園道路及豐津村大字榎阪七百二十六番地ニ於テ大阪都市計畫路一等大路第三類第四十二號線ヨリ分岐シ同二番地ニ至ル公園道路ヲ設ク

幅員　三十二米乃至七十五米

第七號（安威川公園）

位置　吹田町字馬廻リ島、字小淵島、字足洗、字石面堂、字河面、字中ノ島及字前島ノ內

面積　約一六・五三ヘクタール

第八號（豐里公園）

位置　赤川町、生江町、中宮町及豐里三番町ノ內

面積　約三・二一ヘクタール

但シ毛馬町八百五十三番地ノ一ヨリ淀川左

岸ニ沿ヒ赤川町千三百三十九番地ニ至ル公園道路ヲ設ク　幅員　三十米乃至五十米

第九號（毛馬公園）

位置　長柄濱通一丁目、同二丁目、樋之口町及友淵町ノ内

面積　約三・〇〇ヘクタール

第十號（森小路公園）

位置　千林町、今市町、錯雜地及森小路町ノ内

面積　約七・六〇ヘクタール

第十一號（櫻之宮公園）

位置　川崎町、新川崎町、網島町、東野田町二丁目、東野田町一丁目及中野町三丁目ノ内

面積　約七七〇ヘクタール（既設公園面積約五・三二ヘクタール）

但シ馬場町五番地地先ヨリ大阪城京橋口前ニ至リ左折シ京橋及備前島橋ヲ經テ網島町二十一番地ニ至ル公園道路ヲ設ク

幅員　十八米乃至六十二米

第十二號（大阪城公園）

位置　馬場町及杉山町ノ内

面積　約一二・二三ヘクタール（既設公園面積約二・四〇八ヘクタール）

第十三號（片江公園）

位置　片江町及大今里町ノ内

面積　約七・二七ヘクタール

第十四號（生野公園）

位置　岡之町、猪飼野町及舍利寺町ノ内

面積　約八・九二ヘクタール

第十五號（杭全公園）

位置　平野宮町、平野市町及平野濱町三丁目ノ内

面積　約六・〇二ヘクタール

第十六號（平野公園）

位置　平野木町一丁目、平野梅ヶ枝町一丁目及平野野堂町ノ内

面積　約三・一一ヘクタール（既設公園面積一・二三三ヘクタール）

第十七號（百濟公園）

位置　杭全町、今川町、北田邊町、平野西脇町、砂子町、中野町及湯里町ノ内

面積　約一〇・九一ヘクタール

第十八號（桃ヶ池公園）

位置　北田邊町ノ内

面積　約八・六〇ヘクタール

但シ北田邊町三百六十一番地ノ二ニ於テ大阪都市計畫街路一等大路第三類第六十四號線ヨリ分岐シ同町ニ於テ右折シ南田邊町ニ於テ左折シ同町千二百七十六番地ノ八ニ至ル公園道路ヲ設ク　幅員　十一米

第十九號（田邊公園）

位置　南田邊町及西田邊町ノ内

面積　約六・八六ヘクタール

但シ西田邊町二十三番地ヨリ西長居町四百十番地ノ一ニ至ル公園道路ヲ設ク

幅員　十八米

第二十號（臨南寺公園）

位置　鷹合町、東長居町及西長居町ノ内

面積　約六・一二ヘクタール

但シ西長居町ニ面積約七千八百平方米ノ廣場ヲ設ク

第二十一號（大和川公園）

位置　庭井町、苅田町、我孫子町、山之内町及杉本町ノ内

面積　約二〇・三六ヘクタール

但シ矢田村大字矢田部二百二十一番地ニ於テ大阪都市計畫街路一等大路第三類第六十二號線ヨリ分岐シ同村大字枯木ニ於テ右折シ大和川右岸ニ沿ヒ淺香町八十一番地ニ至ル公園道路及杉本町三百二十五番地ヨリ山之内町ニ於テ左折シ大和川右岸ニ沿ヒ南海鐵道高野線線路ヲ横切リ住之江町ニ於テ同阪堺線線路ヲ横切リ七道町ニ於テ同本線線路ヲ横切リ南加賀屋町六十五番地ノ二地先ニ至ル公園道路ヲ設ク

幅員　二十米乃至百二十米

第二十二號（萬代池公園）

位置　住吉町ノ内

面積　約一二・二三ヘクタール

但シ西長居町四百十九番地ニ於テ大阪都市計畫街路一等大路第三類第六十八號路ヨリ分岐シ住吉町ニ於テ南海鐵道上町線線路及同高野線線路ヲ横切リ同町三百七十八番地ノ二ニ至ル公園道路ヲ設ク

幅員　十一米乃至十八米

第二十三號（帝塚山公園）

位置　住吉町ノ内

面積　約九・二六ヘクタール

但シ住吉町三百五十七番地ノ三ヨリ南海鐵道上町線線路下ヲ過キ同町ニ於テ右折シ長峽町ニ於テ右折シ同町ニ於テ左折シ同町ニ於テ右折シ同町三十九番地ノ一ニ至ル公園道路及濱口町四百九番地地先ヨリ長峽橋ヲ經同町ニ於テ左折シ住吉浦新架橋ヲ經テ住吉新公園ニ至ル公園道路ヲ設ク

幅員　十一米乃至二十二米
長峽橋東詰ニ面積約七百平方米ノ廣場及住吉浦新架橋北詰ニ面積約四千二百平方米ノ廣場ヲ設ク

第二十四號（聖天山公園）
位置　天王寺町ノ內
面積　約二・六四ヘクタール
但シ天王寺公園南側ヨリ國有鐵道關西本線線路ヲ跨キ天王寺町ニ於テ左折シ同町ニ於テ右折シ南海鐵道平野線線路ヲ横切リ同町ニ於テ左折シ同町ニ於テ右折シ住吉町七百十四番地ニ於テ大阪都市計畫街路一等大路第三類第六十九號線ニ接續スル公園道路ヲ設ク
幅員　二十二米
天王寺町ニ面積約三千五百平方米ノ廣場ヲ設ク

第二十五號（津守公園）
位置　津守町ノ內
面積　約一・五二ヘクタール

第二十六號（天王寺公園）
位置　惠美須町一丁目、北霞町、玉水町、茶臼山町、逢坂下之町及逢坂之町ノ內
面積　約二五・六二ヘクタール（既設公園面積約二二・五七八ヘクタール）

第第十七號（生玉公園）
位置　生玉町、生玉前町及下寺町一丁目ノ內
面積　約一・六三ヘクタール

第二十八號（江ノ子島公園）
位置　江ノ子島上ノ町、江ノ子島東ノ町及江ノ子島西ノ町ノ內
面積　約二・六一ヘクタール

第二十九號（中之島公園）
位置　中之島一丁目ノ內
面積　約八・八六ヘクタール（既設公園面積八七四ヘクタール）

第三十號（大仁公園）
位置　大仁町及十三南之町ノ內
面積　約一・九二ヘクタール

第三十一號（鷺洲公園）
位置　浦江町ノ內
面積　約二・六四ヘクタール

第三十二號（春日出公園）
位置　春日出町ノ內
面積　約一・六五ヘクタール

第三十三號（北港公園）
位置　島船町及同町地先埋立豫定地ノ內
面積　約一三・二二ヘクタール

第二　小公園ノ新設竝築及位置、面積左ノ如シ

第一號（瑞光寺公園）
位置　小松町ノ內
面積　約〇・九六ヘクタール

第二號（蒲生公園）
位置　蒲生町ノ內
面積　約〇・八九ヘクタール

第三號（眞田山公園）
位置　宰相山町ノ內
面積　約〇・二六ヘクタール

第四號（賑町公園）
位置　東賑町ノ內
面積　約〇・四〇ヘクタール

第五號（今宮公園）
位置　長橋通一丁目ノ內
面積　約〇・六〇ヘクタール

第六號（稻荷町公園）
位置　稻荷町三丁目ノ內
面積　約〇・四〇ヘクタール

第七號　千歲公園）
位置　千歲町ノ內
面積　約〇・六六ヘクタール

第八號（泉尾公園）
位置　泉尾松ノ町四丁目ノ內
面積　約〇・四六ヘクタール

第九號（市岡公園）
位置　市場通一丁目ノ內
面積　約〇・六三ヘクタール

第十號（傳法公園）
位置　傳法町北一丁目ノ內
面積　約〇・八三ヘクタール

第十一號（浦江公園）
位置　浦江町ノ內
面積　約〇・六六ヘクタール

第十二號（豐崎公園）
位置　豐崎東通四丁目ノ內
面積　約〇・六〇ヘクタール

第十三號（長柄公園）
位置　長柄東通二丁目ノ內
面積　約〇・五〇ヘクタール

第一號（北墓地）
位置　熊野田村字山崎、字廣田字打越及字下五艮谷ノ內

面積　約一六・五三ヘクタール

第二號（南墓地）

位置　瓜破村大字東瓜破ノ内

面積　約二〇ヘクタール

事業ノ實施ニ當リ設計ニ些少ノ異動ヲ生スル場合ハ都市計畫大阪地方委員會限リ之ヲ變更スルコトヲ得

右公告ス

昭和三年五月三十一日

内務大臣　望月　圭介

大阪都市計畫事業第一街路ノ新設及擴築ノ部中一等大路第三類第六號線、二等大路第一類第十四號線、二等大路第二類第一號線、同第十一號線、同第十二號線及同第十三號線ヲ左ノ通變更シ昭和三年五月二十九日内閣ノ認可ヲ得タリ

大阪都市計畫事業

第一　街路ノ新設及擴築ノ部

三、一等大路第三類

第六號線（城南類）

谷町三丁目三十四番地ノ一ヨリ大手前ノ町、馬場町法圓坂町杉山町及森之宮西之町ヲ經テ森之宮東之町四百六十一番地地先ニ至ルノ路線

幅員　十二間

四、二等大路第一類

第十四號線（水崎町線）

水崎町三十二番地ニ於テ一等大路第三類第八號線ヨリ分岐シ國有鐵道關西本線北側ニ沿ヒ南海鐵道阪堺線線路ヲ横切リ同町三十七番地ニ至ルノ路線

幅員　十間

五、二等大路第二類

第一號線（北安治川通線）

上福島南一丁目五十五番地ニ於テ二等大路第二類第四號線ヨリ分岐シ曾根崎川及堂島川埋立地ヲ經テ下福島二丁目六十二番地地先ニ至リ西折シ大野町二丁目九十四番地ノ二ニ至リ更ニ西南ニ屈折シ東蘆分橋、西蘆分橋ヲ經テ北安治川通一丁目八番地地先ニ至ルノ路線及下福島二丁目六十二番地地先ニ於テ本路線ヨリ分岐シ同八十七番地（新船津橋北詰）ニ至ルノ路線

幅員　八間

第十一號線（平野町線）

囃喉場橋西詰ヨリ囃喉場橋、京町橋及平野橋ヲ經テ谷町二丁目四番地ニ至リ一等大路第三類第ら十九號線ニ接續シ更ニ同三十五番地ノ一ニ於テ同線ヨリ分岐シ大手前ノ町三番地ニ至リ一等大路第三類第二十號線ニ接續スルノ路線

幅員　七間

第十二號線（久寶寺町線）

立賣堀南通一丁目十四番地ノ一ニ於テ一等大路第三類第一號線ヨリ分岐シ助右衛門橋、久寶寺橋内久寶寺町二丁目及法圓坂町ヲ經テ岡山町三百六十一番地ニ至リ屈折シ玉堀町五百七十四番地ニ至リ東折シ同町五百六十二番地ニ於テ一等大路第三類第二十三號線ニ接續スルノ路線

幅員　七間

第十三號線（堀江玉造線）

千代崎橋西詰ヨリ千代崎橋並西横堀川及東横堀川ノ各新橋梁ヲ經テ南玉造町三十一番地ノ一地先ニ至ルノ路線

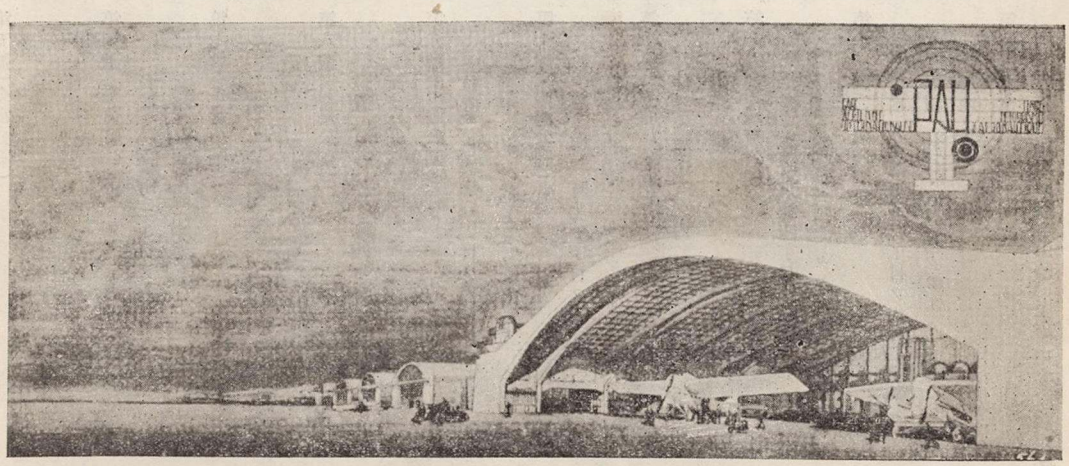
幅員　七間

但シ南炭屋町三十四番地及其ノ附近ニ面積約百十坪　廣場ヲ設ク

右公告ス

昭和三年五月三十一日

内務大臣　望月　圭介



きゞづの頁六第

社團法人日本建築協會會報

役員會

○緊急常務會

昭和三年六月四日自後五時半至同七時半
出席者
片岡君　宗君　横濱君　坪井君
浦君　岡部君　八木君　本間君
木村君
決議事項
一、展覽會開催に關する件
宗委員長より實行計畫案を報告あり
て可決
二、基本金の內一部保管移動に關する
件
評議員會に附議のことに決定
三、六月例會の件
四、會員入、退會の件
五、會員除名の件
六、名譽賛助員推薦の件
七、分科委員依囑の件
第一部(法制)第一分科委員を左記の
人に依囑のことに決定
推原兵市君
八、臨時雇解職並採用の件
九、防空演習に關する件
一〇、職員上半期賞與の件

委員會

○定款改正調査委員會

昭和三年六月十三日自後五時半至同十時
出席者
池田君　德政君　横濱君　浦君
前島君
記事
改正の大體方針に付意見交換の上時代に適應したる理想案を作成する方針を以て進み會員の意見を斟酌し逐條的に審議す尙不日成案を得次第再度會員へ意見問合せの筈

○第一部委員會及分科總會

昭和三年五月二十二日自後五時半至同八時半
出席者
池田君　今林君
第一分科
林君　岡本君　小川君　川口君
北垣君
第二分科
高木君　竹中君　井原君　落藤君
古橋君　佐藤君　三浦君
第三分科
古塚君　藤村君　坂井君
第四分科
大倉君　高田君
記事
一、池田委員長より本委員會に分科を設置したる挨拶ありて各分科別に主査選擧及其科の研究方針等の決定希望あり
一、各分科主査、定例會合日左の通決定す

第一分科
主査　加藤善吉君
會合日　毎月第二月曜日
第二分科
主査　高木眞太郎君
會合日　毎月第二火曜日
第三分科
主査　津田敏雄君
會合日　毎月第二木曜日
第四分科
主査　德政金吾君
會合日　毎月第一木曜日
一、毎月第四の火曜日を本委員會及分科會の總會定例日と決定

○第一部第一分科會

昭和三年六月五日後自五時半至同七時半
出席者
加藤君　林君　川口君　北垣君
記事
一、主査辭退の件
加藤君主査辭退に付後任として小川安一郎君に決定

○第一部第一分科會

昭和三年六月十一日自後五時半至同九時
出席者
池田君　小川君　林君　北垣君
推原君
記事
一、都市計畫に關し左の諸問題より研究すること

1　美觀地區の指定を促進すること
2　風致地區の指定を促進すること
3　建築物の高さの最低限度に關する道路の指定を促進すること
4　二十間道路の促進のこと
5　河岸地の利用
6　第二次防火地區の指定を促進すること
7　乙種防火地區の價値について
8　風紀地域の論究
9　工業地域內特別地區の指定を促進すること
10　特別住居地域制を研究すること
11　道路の高低を境界明示と共に監督官廳に指定を受くべきこと
12　大阪市內に必要建設物の位置に就て研究すべきこと
13　大阪市內區劃整理地域內に百分の三の公園を設置することを制定すべきこと
14　大阪第二次都市計畫の全般に涉る批判

○第一部第二分科會

昭和三年六月十二日自後五時至同八時半
出席者
高木君　井原君　佐藤君　三浦君

○第一部第三分科會

昭和三年六月十四日自後五時半至同七時半
出席者

藤村君　阪井君

○第一部第四分科會

昭和三年六月七日自後五時半至同七時半

出席者

德政君　高田君　南　君　須川君

記　事

一、本分科會は『四會聯合決定建築工事請負規定』より先づ研究に入ることとなり其概論に付審議ありたり

○第三部委員會

昭和三年五月二十一日自後五時半至同七時半

出席者

松室君　下浦君　呼子君　須川君

日本スレート販賣會社大阪支店

大阪窯業株式會社

大阪陶業株式會社

須賀商會

高松平太郎商店

淺野物産株式會社大阪支店

記　事

一、主査決定の件

左記諸君各々主査のことに決定

第一部　主査　大澤　幸平君

第二部　主査　佐藤正次郎君

第三部　主査　須川廉太郎君

第四部　主査　下浦　光衛君

第五部　主査　片山　萬治君

第六部　主査　渡部　圭吾君

第七部　主査　谷　民藏君

第八部　主査　呼子　正君

○第三部委員會

昭和三年六月四日自後五時半至同七時半

出席者

松室君　谷　君　下浦君　大澤君

渡部君　呼子君　須川君

東京建鐵株式會社大阪支店

日本スレート販賣株式會社大阪支店

島田硝子製造所

須賀商會

大阪窯業株式會社

日本ペイント製造株式會社

大阪陶業株式會社

淺野物産株式會社大阪支店

記　事

今後の事業の確實なる成果を擧げんが爲に前年來の研究協議の事項を綜合して更に左の申合をなす

一、資料は其品質寸法及其使用方法をも便宜共に或は別に調査するか各分科に於て夫々協定すること

二、依據すべき度量衡は『メートル』法を原則とするも當分在來本邦の制をも併用し、又外國製品に就ては夫々其固有の制によること

三、調査すべき資料の範圍は內國製品と共に必要なる外國製品をも含むこと

四、調査を要するものと要せざるものとの區別は各分科に於て決定すること

五、前回決定したる資料の分類に關しては調査の成績を擧ぐる爲各分科に於て猶審議をなし意見あれば申出づること

六、調査すべき資料の序列は各分科に於て便宜協定すること

七、資料の各種一品毎に其製作販賣業者の列擧をなし其文獻の蒐集、內容の檢討等は全て各分科に於て便宜之を行ひ依て完全なる資料の規格決定の基礎を立つること

以上の順序により各科主査に於て其分擔事項調査に要する委員三名乃至五名を選定し次回迄に申出で分科開催日及委員會開催日を更に協定し具體的審議に入ること

○第四部委員會

昭和三年六月九日自後五時半至同八時半

出席者

光安君　中島君　池田君　黑田君

記　事

一、光安委員長より建築知識普及展覽會開催に付宗展覽會實行委員長より本委員會宛に出品方依頼狀ありしことを報告し其出品項目に付協議をなし散會

○展覽會實行委員會

昭和三年六月二日自後六時半至同九時

出席者

宗　君　坪井君　池田君　小笠原君

谷　君　姫野君　德政君　岡部君

加藤君　松本君　酒井君　小川君

佐藤君　楠瀨君

○展覽會幹事會

昭和三年五月廿一日自後五時半至同八時

出席者

宗　君　池田君　谷　君　坪井君

加藤君　岡部君

○展覽會幹事會

昭和三年六月二日自後五時至同六時

出席者

宗　君　加藤君　坪井君　池田君

岡部君　小笠原君

○展覽會幹事會

昭和三年六月五日自後五時半至同九時十分

出席者

宗　君　池田君　岡部君　小笠原君

坪井君　加藤君

○展覽會幹事會

昭和三年六月十　日自後五時半至同九時

出席者

宗　君　加藤君　姫野君　須川君

池田君　德政君　岡部君

○展覽會第一部委員會

昭和三年六月七日自後五時半至同九時

出席者

加藤君　姫野君　酒井君　澁谷君

增山君　大澤君　篠原君　高林君

○展覽會第四部委員會

昭和三年五月二十八日自後五時半至同八時

出席者　小笠原君　德政君　小川君　松本君

春季大會

遊行地　天の橋立
月日　五月五日、六日
概記

一、此日天氣晴朗絶好の旅行日和、定刻大阪驛上り待合室前集合所に集る參加會員四十有餘名午後四時半發列車に乘込む

一、京都驛に於て同地方よりの參加の會員と共に宮津行に乘換へ途中協會よりの汽車辨及瓶詰に幾分の熟を上げつゝ午後九時過ぎ宮津驛に着

一、同驛より海岸に位する山嘉旅館に至り旅裝を解き入湯後輕き浴衣に換へて直ちに大宴會場につらなる、外に松濤を聽き酒數行、俄に紅裙九、八名入りて酒間を斡旋す、メートル昂らざるを得ず、歌ひ舞ふ、餘興數番夜の更けたるを知らず

一、翌朝九時同館脇海岸より二隻のランチにたう乘所謂天の橋立の風景を賞しつゝ、對岸に渡る、成相山麓なる天の橋立鋼索鐵道會社に於て少憩、特に同社支配人山本氏の案内にて『ケーブルカー』に乘り成相山中腹傘松に到る

一、傘松に於て『天橋立股覗き』に打興じつゝ成相寺迄山路約十丁を急坂と好天氣に汗を流しつゝ同寺本堂に着、山本氏斡旋の湯茶に渴を醫し同寺の寶物を觀見して下山、正午傘松に復り傘松食堂にて晝餐をとる、食事中山本氏の『天の橋立の由來に付て』の講演を聽く

一、此處にて歸りを急ぐ者と然らざる者との二組に別れ前者は直ちに天の橋立驛一時十分發の列車にて歸阪、後者は下山、天の橋立たる松林の中を徒歩逍遙しつゝ文珠寺に到り境内の國寶多寶塔を見學す午後四時十分天橋驛發列車にて殿りを承りつゝ歸途に著く

一、今回の大會は近年稀なる壯快なる遊行で會員相互の親睦を遂げたるは勿論和氣藹々の裡に大成功を修めたるは委員諸彦の御努力の賜にして茲に厚く謝辭を捧ぐ

新入會者

△會　員
若田　久作君（北區善源寺町五ノ四九　勤先　大林組）
岡部　胸光君　奈良縣立吉野工業學校
△普　贊
島津江房重君　滋賀縣廳庶務課建築係
渥美　桔君　同上
小栗　清一君　日本赤十字社和歌山支部病院庶務課建築係

退會者

△會　員
木村得三郎君　澤部實之介君
櫻井　吾一君
△普　贊
奥村伊次郎君　吉岡　耕三君
高田　太郎君

死亡

會員　瀨戸文吾君
昭和三年五月二十七日逝去
嘗ては本會の役員たり委員として絶大なる御盡瘁を得たる同君は宿痾、藥石効無く逝去せらる本會よりは弔辭を贈りてその死を悼む

轉居轉勤

△會　員
竹谷德治郎君　東成區守口町土居二六七
戸塚　端君（東京市外大井町鹿島谷二九二〇　勤先　三井合名會社不動産課）
高橋　君三君　兵庫縣印南郡曾根町松浦組本店
千賀　正人君　東京市丸ノ内ビル田林事務所
藤本賢太郎君　尼崎市別所村建家一七六
中川　彌八君　兵庫縣武庫郡六甲村德井字大和町
前島　成之君　堺市甲斐町三十四銀行堺支店建築場
山崎　節治君　東京市外代々幡町代々木上原一二九三
吉井俊太郎君　東京市下谷區御徒町一ノ六一
末澤　周次君　尼崎市東難波村九〇七
鹽川　鐵藏君　府下三島郡吹田町金田新道
田中　光治君　北區澤上江町四ノ八九
梶垣　寬君　北區中野町一ノ一五水道公舍
△特　贊
伴　秀雄君　府下中河内郡枚岡南村河内字名黒六一一
△普　贊
佐々木伊勢藏君　盛岡市驛前通佐々木建築工務所
及川藤四郎君　東京府下大森町谷中二〇六
今井　圓一君　横濱市鶴見上町一四六五
椎野方
影山　丈夫君　岡山縣川上郡平川村山陽中央水電會社出張所
佐倉　達司君　東京府下幡ヶ谷町八一九
江平　勳君　甲府市相川町五八篠原方
中野　利男君　神奈川縣川崎市中幸町四ノ二七一
酒井　清一君　西區北堀江賑江橋北詰
田平　宗美君　京都府伏見町革屋町佐藤方
德光又次郎君　住吉區北田邊町五五七
佐藤　佐七君　京都市寺町通今出川上ル井上方

渡歐

終焚有山福重郎君は大阪府、市より教育調査の囑托を受け歐洲各國へ出張し兼ねて土木建築の視察をもさるゝ由。

住所不明者

左記所在不明に付現住所御承知の御方は本會事務所まで御通知を乞ふ

普賛東與惣次君

寄贈雜誌

電氣評論　毎號　其社
都人　毎號　其社
學士會月報　毎號　學士會
建築世界　毎號　其社
朝鮮と建築　毎號　朝鮮建築會
セメント界彙報　毎號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　毎號　住宅改良會
建築雜誌　毎號　建築學會
工政　毎號　其會
經濟資料　毎號　東亞經濟調査局
土木建築　毎號　其社
建築新潮　毎號　洪洋社
大阪工業倶樂部　毎號　其部
通俗衞生　毎號　大阪府衞生會
帝國鐵道協會報　毎號　其會
工業評論　毎號　其社
電氣學會雜誌　毎號　其會
鐵道軌道經營資料　毎號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　毎號　關西園藝會
土木建築之日本　毎號　其社
工業ト社會　毎號　東京工業會
工業　毎號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　毎號　其會
庭園と風景　毎號　日本庭園協會
圖書室月報　毎號　東京市政調査會
大阪網島工業會誌　毎號　其會
エンヂニヤリング　毎號　其社
工業要錄　毎號　其發行所
名古屋工業會々報　毎號　其會
大大阪　毎號　大阪都市協會
都市問題　毎號　東京市政調査會
新建築　毎號　其社
京都の實業　毎號　京都商工會議所
都市創作　毎號　其會
木材彙報　毎號　大阪木材協會
建築學研究　毎號　其會
大阪土木建築業組合報　毎號　其組合
木材新聞　毎號　關西木材商報社
工業新聞　毎號　其社
日本建材新聞　毎號　其社
日本建築士　毎號　其會
東洋建材商報　毎號　其社
朝鮮鐵道協會會誌　毎號　其協會
住　毎號　其研究社
超科學　毎號　大阪網島工業會
建築業協會々報　毎號　其協會
建築畫報　毎號　其社
土木建築工事畫報　毎號　其社
工業之大日本　毎號　其社
動力之節約　毎號　工業能率增進研究會

役員

會長　安田善次郎
理事　片岡直温
副會長　宗兵藏
理事　野村一郎
監事　池田寛
監事　松本禹象
主記　横濱勉
常務　坪井誠一
同　和田貞治郎
主計　浦英之助
常務　吉井長七
同　岡部顯則
常務　本間乙彦
編輯　波江悌夫
常務　八木幸次郎
同　木村寛一
常務

正誤表

誤りのある位置	誤	正
口繪第一頁	本國	本圖
三一頁一四行目	無電綱	無電網
同北野病院	同	森田慶一
同根崎小學校	工費十二圓七千圓	橋本勉 工費十二萬七千圓
同北大江小學校	計設大阪市建築課	宗兵藏 野村橋本建築事務所 池田實
同濟美小學校	同	同
同西六尋常小學校	同	同

本誌定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	七拾五錢	貳錢
十二冊	九圓	貳拾四錢

昭和三年六月三十日印刷（毎月壹回）
昭和三年七月一日發行（一日發行）

兵庫縣武庫郡本山村字北畑
發行兼編輯人　鷹田夏治郎
兼印刷人

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

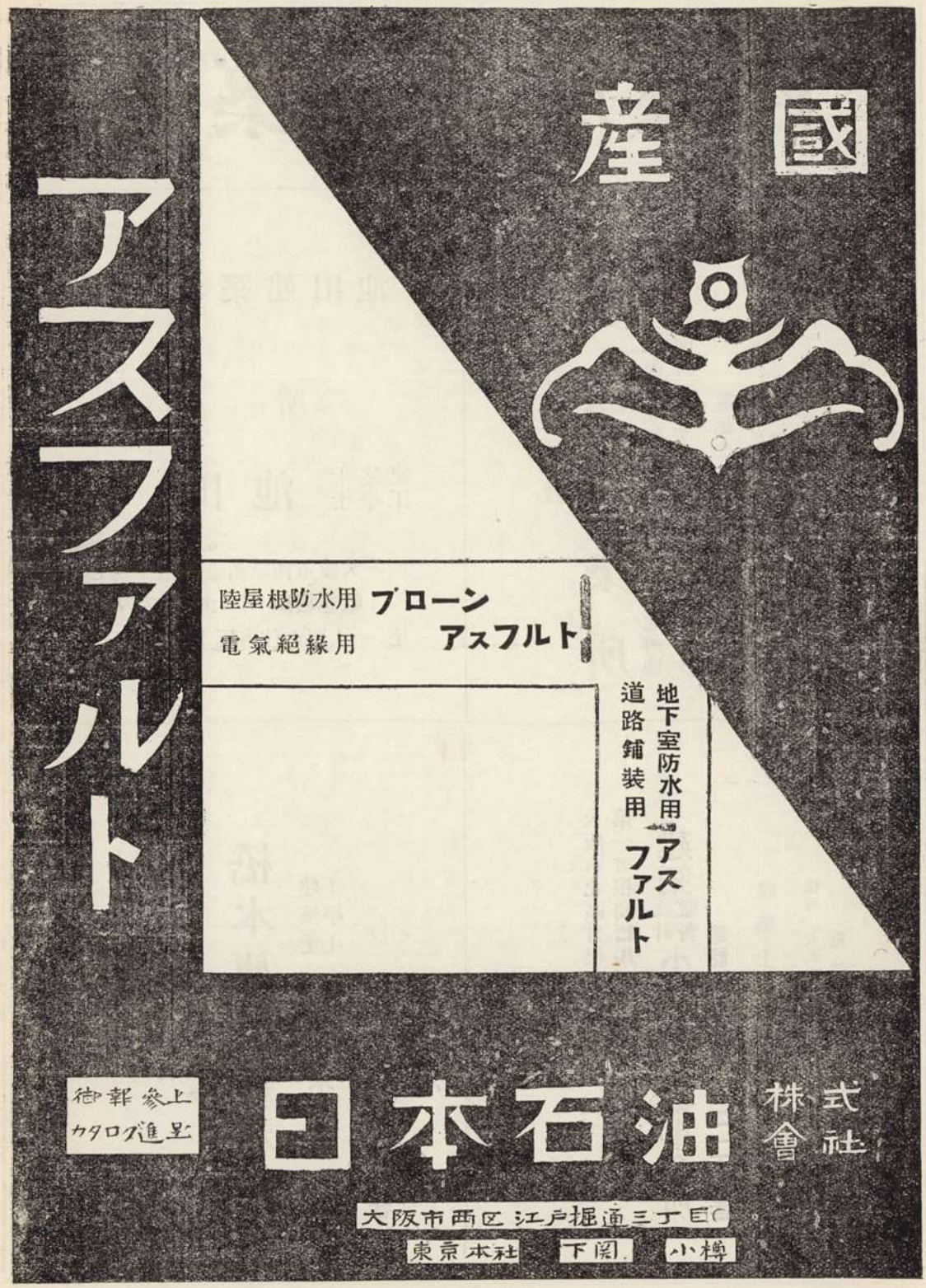
大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人日本建築協會

電話土四二六五番
振替口座大阪三九七五番

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店

電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候


國産
アスファルト
陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト
地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト
御參考上
カタログ進呈
日本石油株式會社
大阪市西区江戸堀通三丁目
東京本社 下関 小樽

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

池田實

建築士
建工士

所＝大阪市西區西道頓堀住友ビル
電話櫻川1144・3724
宅＝大阪市住吉區上住吉町174

建築設計竝監督

大阪建築所

大阪市北區中之島七丁目十七番地
河野ビルデング
電話土佐堀（特長二二八〇番
六一〇三番

パチエロアー・オフ・サイエンス
カリホルニヤ州公認建築士
建築士 伊藤文四郎
建築士 熊澤榮太郎

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルディング第八階

橋本建築事務所

建築士
工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルディング第四十一號

建築設計
監督 小笠原建築事務所

電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原鉚（マス）

住所 大阪市此花區西島町北港住宅二一〇號
電話 土佐堀三二〇四番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

建築士　岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市北區中之島宗是町一〇
中之島ビルデイング

和田建築事務所

建築士　和田貞治郎

電話土佐堀七三二三番

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番

大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士　片岡安

工學士　石本喜久治

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士　横河民輔

工學士　松井貴太郎

田中綱

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士工學士 宗 兵藏
築建士 須川廉太郎
工學士 大倉三郎

大阪市西區本田町通リ一丁目四九ノ七
住友銀行川口ビルヂング四階十六號室
電話長西三四三三番

國枝工務所

工學士 國枝博

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

安井建築事務所

電話本局二〇七二番

建築士工學士 安井武雄

建築事務所案内

（次第不同）

東京市本郷區本郷三丁目八番地

建築士木
設計監督 **眞水工務所**

電話小石川三九六三番

建築士
工學士 眞水英夫

工學士 野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地

眞水三橋建築事務所

電話北二〇四一番

早大工學士 松下由藏

太田正之

鐵筋コンクリート建築

設計監督計算

大阪市東區瓦町山口ビルヂング

増田建築事務所

工學士 増田清

電話本局 2678 / 3176

神戸市下山手通六丁目七六

電話元町二六七一番

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄

工學士 設樂貞三

支配人 木村梅次郎

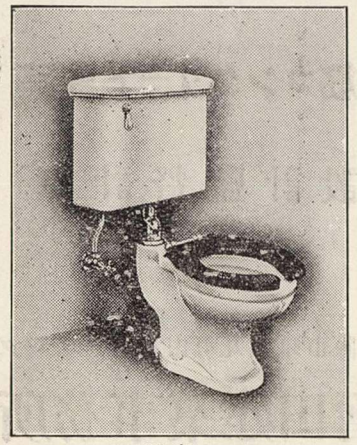
西原式 汚水淨化裝置

專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三二一號 第六一三五四號 第六一四二三號 第六六〇七二號

國產優良品

パイロット衛生器具

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する點なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。



C W 50 — A

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

大阪市北區中之島五丁目三十番地

西原衛生工業所大阪支店

電話土佐堀三七八一五番

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

京都出張店

電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話 長北一一五七番

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 大阪橋本組
代表者 橋本政吉
電話 東一五八〇番
長堀一五八一番
東一七五三番

福岡縣小倉市大阪町十丁目百廿二番地
九州支店
電話 長四三〇番

東京市日本橋區本石町四丁目一番地
大阪橋本組東京支店
電話日本橋(24)三四六〇番
三四六一番

大阪市東區釣鐘町二丁目百二十八番屋數
大倉土木株式會社
大阪出張所
電話 東二〇六番

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料　損料
鳶方（手傳）　工事負請業

中新

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北一五三番

東京出張所
東京市神田區猿樂町
貳丁目壹番地
電話神田（25）三〇五番

合名會社　**竹中工務店**

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ內郵船ビル　丸ノ內（23）長一二五〇
神戸市熊內町六丁目　賣合　八〇六
名古屋市西區鷹原町二丁目　長一八四二
京都市坊城通三條下ル　中　二三八六
橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
長者町關巻（三）

製作所
大阪市港區南境川町　西長　八〇四
東京市深川區西平井町　大手二〇四六

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **佐伯組**

本店　大阪市港區市岡町夕凪橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所

福岡市外馬出上町　電話長二一四二番
大分市南新地　電話長三七〇番
熊本市相撲町　電話長三一九四番
小倉市中島町　電話長六一〇〇番
宮崎市宮田町　電話長四〇六番
東京市京橋區木挽町九丁目三地

久保田組

久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地
電話北一五六二
一五六三

諸石材販賣彫刻請負業

幷ニ

一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
高島產鋪色（人造石用）石粉各種
黃龍石材各種）

通名石佐事

熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番

出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **松村組**

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長三一一七一二番 三三一七三三番）

東京本社
東京市丸ノ内仲十四號館十二號
電話丸の内（代表）二五五一番 二五五二番 二五五三番 二五五四番

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小林町七十五番地
電話局櫻川一五五八番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐報通二丁目二番地
電話局土佐堀（六六六番 六六七番）

（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

特許ＯＲＣ式
鐵筋混凝土煙突水槽工事設計施工

合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川局一〇八六・二六二二
神戸出張所　電兵庫一四六九
名古屋出張所　電南局一五九八

建築請負業者案内

（次第不同）

鑿井工事請負業

日本鑿泉合資會社

大阪出張所　大阪市北區曾根崎町太平ビルヂング
電話北三七七八番

本社　東京市丸ノ内中通三號
電話丸ノ内（二三）長一八六三番

名古屋代理店　名古屋市東區東新町萬歲生命ビルヂング四三號
電話東一四七一番

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社 **錢高組**

電話土佐堀（長三四一七）（三四一一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店

電話銀座（四二九二番）（長四二九三番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所

電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

横濱出張所

電話本局三〇七六番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

支店　東京、横濱、名古屋、小倉
營業所　京都、神戸、
工作所　大阪、東京、

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）

石川屋

岡本工務店

岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

建築請負業者案内

有山組

大阪府東淀川區十三東之町
電話 自宅用 北二〇五〇
事務所用 三〇五一

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六
合資會社 **山田大理石製作所**
電話土佐堀四三四二番
長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電話ニテ御一報次第御伺仕可候

使用。輕便、簡易工事節約多大金銀塗箔ゴールド、エナメル從來のエナメル金銀ト異ナリ箔張同樣出來、且延ビヨキ爲メ、價格安價驚ク外ナシ是非御試用ヲ乞フ。用途電線ヲ塗レバ金屬ガ表面ニ張付ラルル故電力ガ少シモ失セバ且ツ防水腐蝕トナリ猶美麗ノ點モアル實ニ經濟品ナリ鐵骨、暖房管、其他裝飾用トシテ各、色物モアル

（御申越次第說明書送附）

商入出輸直造製料塗
吉住商店 和一郎

大阪市東區博勞町五丁目一三
電話船場四〇二九番 振替大阪六六七九八番
V1CTORY信受外海ヘイトクトリイ濟内地登錄
略電（ヨヲ）又ハ（ヨ）取引銀行 加島銀行南支店

淺沼組

本店 奈良縣郡山町字今井 電郡山二五番
工作所 奈良縣郡山町字高田 電郡山二四一番
大阪支店 大阪市東成區東小橋町六六ノ一四 電南二七九〇番
大阪出張所 大阪市港區鶴町四丁目一八二 電櫻川二九〇七番
製材部 大阪市港區小林町一九五番地 電櫻川二四五六番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目五一
電話土佐堀長（二一六二番
（二一六三番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番
（長一九九一番

製材所 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西長一五二三番

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（一六五八番
（二八八六番

安藤組大阪出張所

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

森本建築社

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

大阪市南區高津三番丁三番地
電話㊁戎二八一〇番



（佐久間建材工業所千住工場）



（佐久間建材工業所高田工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式　特許第七四四七七號
製造法式　特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

佐久間式マルエス印

- コンパウンド
- パーマネントルーフイング
- 疊下用紙
- 建築用紙
- フエルト
- C印フエルト
- ルーフイング



御用命

三菱地所部殿
東京市役所殿
東京府庁舎殿
大蔵省庁舎殿
文部省庁舎殿
陸軍省庁舎殿
鐵道廳殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
錢高組殿
橋本組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

國産として優秀なる

佐久間建材工業所

所主　佐久間榮吉

東京府千住町三ノ三七〇番地
營業所　電淺草五〇〇六番
千住工場　電千住四〇二番
東京府高田町八〇四番地
高田工場　電淺草一五六番

東京工業試験所報告

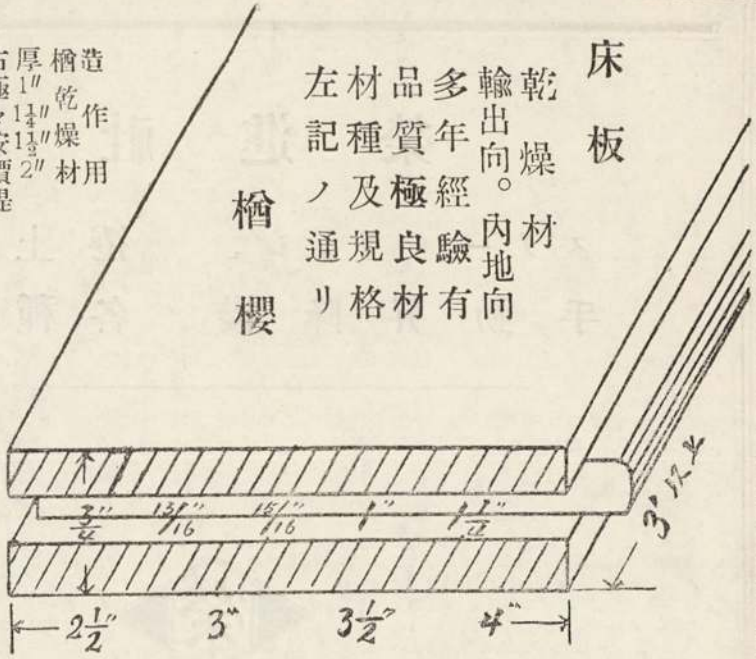
品名	抗張力 縦	抗張力 横	水壓力 氣壓	加曲試驗 丸棒直徑	加曲試驗 回轉度	加曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	縱 70·5	橫 42·9	1.4	0·5	180°	生ゼズ	大正十四年十二月二十六日
某舶來一流(A)プライルーフイング	同 53.7	同 21.8	1.2	同 1.3	180°	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	同 74.4	同 55.9	1.7	同 0.5	180°	生ゼズ	大正十五年二月十日
某舶來一流(B)プライルーフイング	同 80.3	同 39.3	1.2	同 1.0	180°	生ゼリ	同上

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

床板

乾燥材輸出向。内地向多年經驗有品質極良材材種及規格左記ノ通リ

檜　櫻



造作用
檜乾燥材
厚1″ 1¼″ 1½″ 2″
右極々安價提供是非當店へ御引合願上候

福原工場大阪販賣店
港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

小檜市入舟町二丁目三十四番地
福原床板製造工場
電話二七一三、一二三三
振口小檜二五六七

◇江東サッシ
窓開閉用
◇オペレーター
◇シャッター

大理石代用
◇オパキサイト
◇S.T.型ワイヤ硝子

◇S.T.型プリズム硝子
◇メタルラス

◇コルク板及粒
◇防熱防冷裝置一式
◇マグスタソコ床塗

田中昌司商店
大阪市西區江戸堀南通四丁目
電話土佐堀（一一八〇五番
（四八七三番

ノ社進榮

戸火防上捲　シュッサルーチス

類戸鐵種各　機降昇動手



營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルデング三階
電話京橋(56)一、〇六三番
二、二二九番

出張所　横濱市山下町一八四　岩井ビル
電話本局(2)二、七一四番
神戸市平野下祇園町二三一番地
電話元町二、七〇九番

合資會社

榮進社

第一工場　東京府日暮里町日暮里三八番地
電話下谷(83)長一、〇二七番

第二工場　東京府日暮里町大字谷中本二五六番地

製品販賣　工事請負

東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
　　ブロック
　　電纜埋設用トラフ
　　其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
　　一般土木建築工事
　　特殊ブロック建築
　　ブロック塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀三八三四番

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲公私水道、ポンプ、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置 スプリンクラーシステム、消防用器具 サイヤーミンスコンネクシヨン、ミニマツクス消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、洗面場、塵所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼暖房▲蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣暖房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國スタンダード衛生器具製造會社
米國スローンバルブ製造會社日本總代理店
米國シカゴポンプ製造會社

米國スペンサークリーナー會社
米國ベージボイラー製造會社日本總代理店
獨國ミニマツクス消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮內省御用達

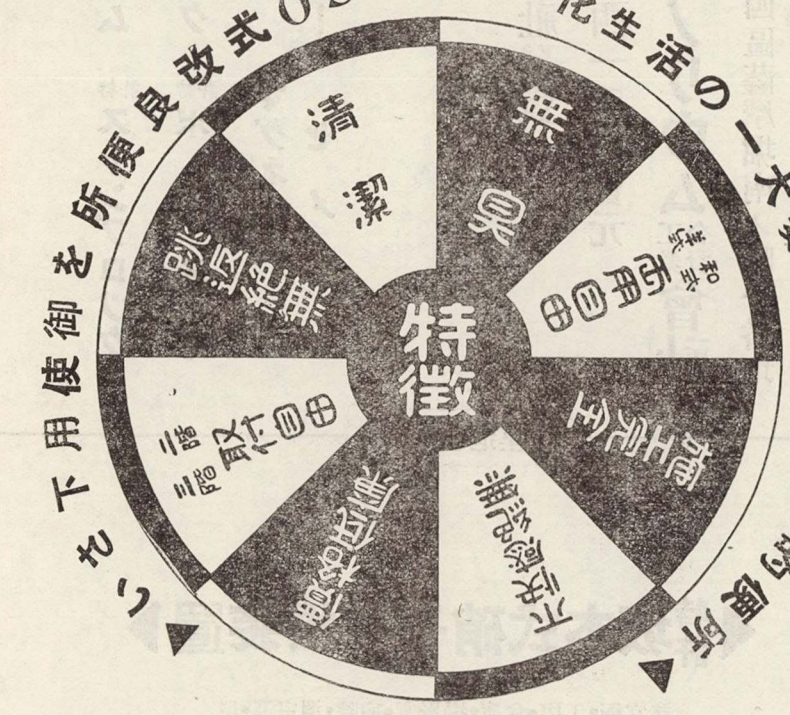
株式會社 須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八九四五番

支店
東京
名古屋
京都

支店
住吉
神戸
博多

改良 特許 S 便所



設備費　金七拾五圓　（大便所ノミ）
　　金九拾五圓　（大小便所共設ノ場合）

大阪市東區高麗橋五丁目
株式會社　須賀商會内

SO商會

電話本局　三四五番
　　九九九
　　八八八
　　一一一

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム　特許ストンプロツク
セメントプロツク　特許ポースライ
ドロマイト　マグネシヤセメント
㊫プラスター

葛生石灰株式會社發賣
㊫プラスター關西一手販賣元
大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋
根及ビ一般建築物ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番



各省諸官衙指定工場

日本エレベーター株式会社

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神戸市下沢通二丁目
電話本局一七七一・三七〇七

東京営業所神田区旭町
電話神田三七〇六・六〇

Nippon

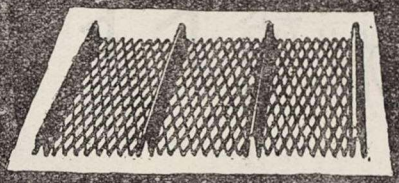
DIAMOND RIB LATH.

呈進本見書明説

國産の構成

輸入品駆逐

御存じですか？

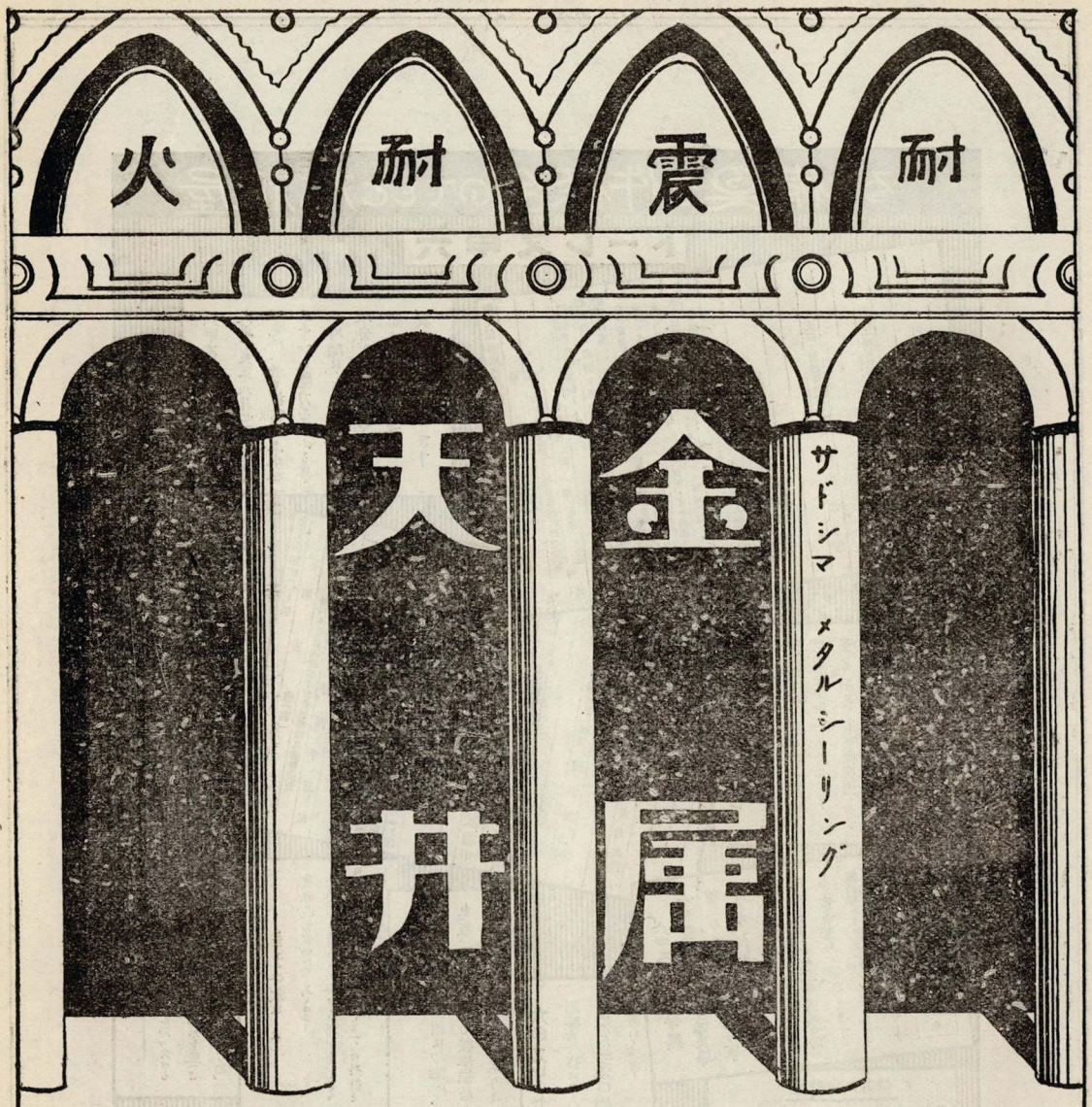


日本
ダイヤモンドリブラス

僕も日本ダイヤモンドリブラスを使用する事に合流した

製造發賣元
大阪市此花區四貫島旭町
日進製作所
電話土佐堀 {二八四二 二三三三

販賣店
大阪市北區中ノ島六丁目
奥村重兵衛商店
電話土佐堀一六四



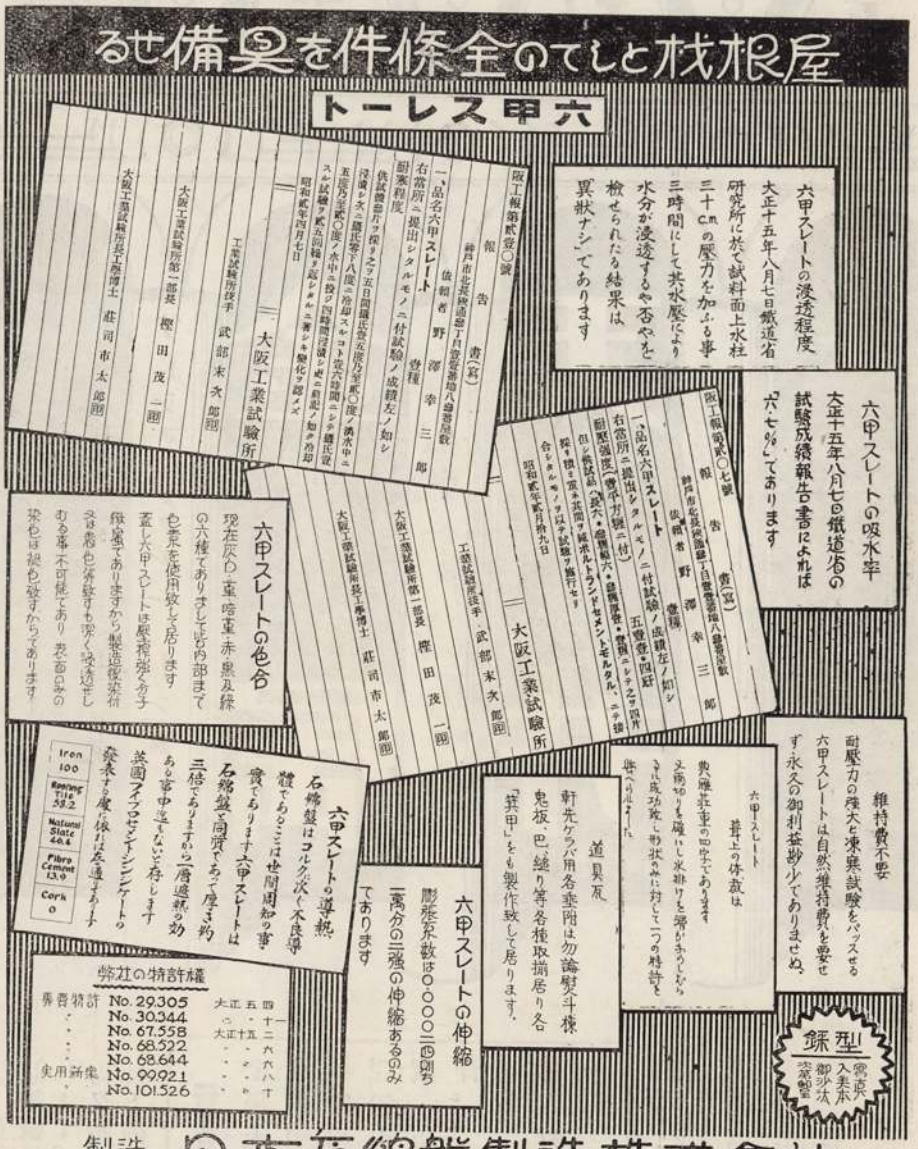
御希望により亞鉛引平板。銅板。亞鉛板にても御用命に應じます。
尚又特殊御希望模様製作にも御相談に預ります。

營業品目

金屬天井板
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
亞鉛引鐵線
鋲　力　板
洋　釘
泪目浪板
薄　鐵　板
セラー釘

型錄贈呈

金屬天井板（羽目浪板）製造發賣元
大阪市南區安堂寺橋通り三丁目
佐渡島西店
金屬天井部
電話船場 九二二番 九三二番
薩摩堀倉庫用新町九五七番
振替口座大阪三二七三八番


屋根材としての全條件を具備せる
六甲スレート
六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省
研究所に於て試料面上水柱
三十cmの壓力を加ふる事
三時間にして其水壓により
水分が浸透するや否やを
檢せられたる結果は
異狀ナシ」であります
六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の
試驗成績報告書によれば
「六・七%」であります
六甲スレートの色合
現在灰色、暗褐、赤黒及緑
の六種でありまして何れ内部まで
色素を使用致して居ります
蓋し六甲スレートは風雨強烈な分子
瓦斯等でありますから製造過程染着
又は着色保持も深く浸透して
むる事不可能であり表面のみの
染色は褪色致すからであります
六甲スレートの導熱
石綿盤はコルク次ぐ不良導
體であることは世間周知の事
實であります六甲スレートは
石綿盤と同質で厚さ約
三倍でありますから二層造構の効
ある事申迄もないと存じます
英國アイラセメントシンジケートの
發表する處に依れば左の通りであります
Iron 100
Roofing Tile 58.2
Natural Slate 46.6
Fibro Cement 13.0
Cork 0
六甲スレートの伸縮
膨張係数は0.0002四分の
一寒暖の二強の伸縮あるのみ
であります
維持費不要
耐壓力の強大と凍寒試驗をパスせる
六甲スレートは自然、維持費を要せ
ず永久の御利益少でありませぬ
六甲スレート
普通上の体裁は
典雅荘重の四字であります
又雨ゆりも殆んど無く氷排りを等がありしなら
ず其功效は勿狀のみに對して一つの特詩を
道具屋
軒先ゲラバ用各種附は勿論變斗棟
鬼板、巴、縋り等各種取揃居り各
「其甲」をも製作致して居ります
型錄
寫眞ノ入美本
御沙汰次第
弊社の特許權
No. 29.305
No. 30.344
No. 67.558
No. 68.522
No. 68.644
No. 99.921
No. 101.526
製造 日本石綿盤製造株式會社
發売 野澤幸三郎商店
神戸 北長狭三丁目 番合2830 2831
東京 丸ノ内 丸内3670
大阪 堺筋 大江ビル内 北5994
福岡 綱川端丁三六 1945
振替 大阪413 東京603 四拾弐番

コルクタイル

最新の機械と製法を發明せる我社は品質優良
と價格低廉なる点に於て他社の追從を許さず

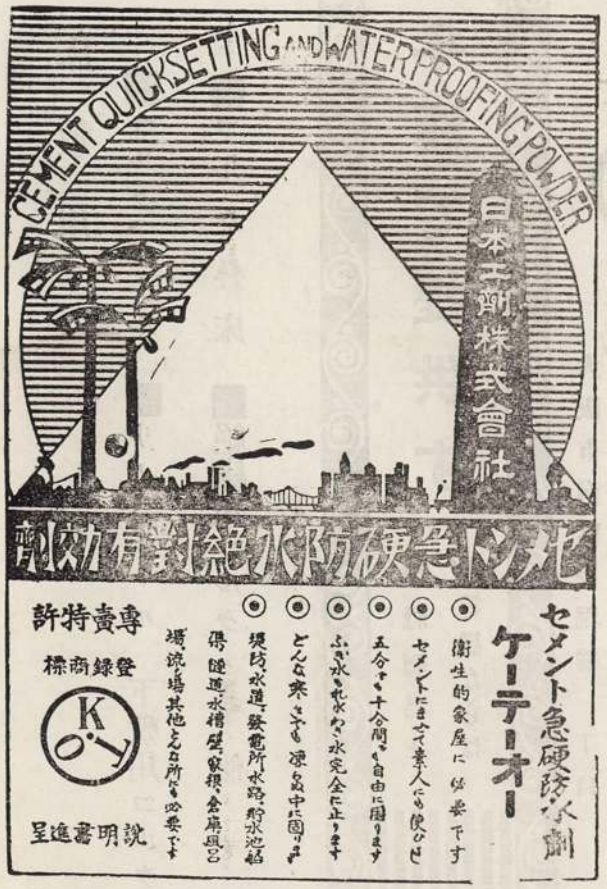
床敷用
■コルク、タイル　■リノ、タイル　下敷用コルク板
■コルク疊床　■絶緣用コルク　其他一般

半額で提供す
他社製品と同等品ならば

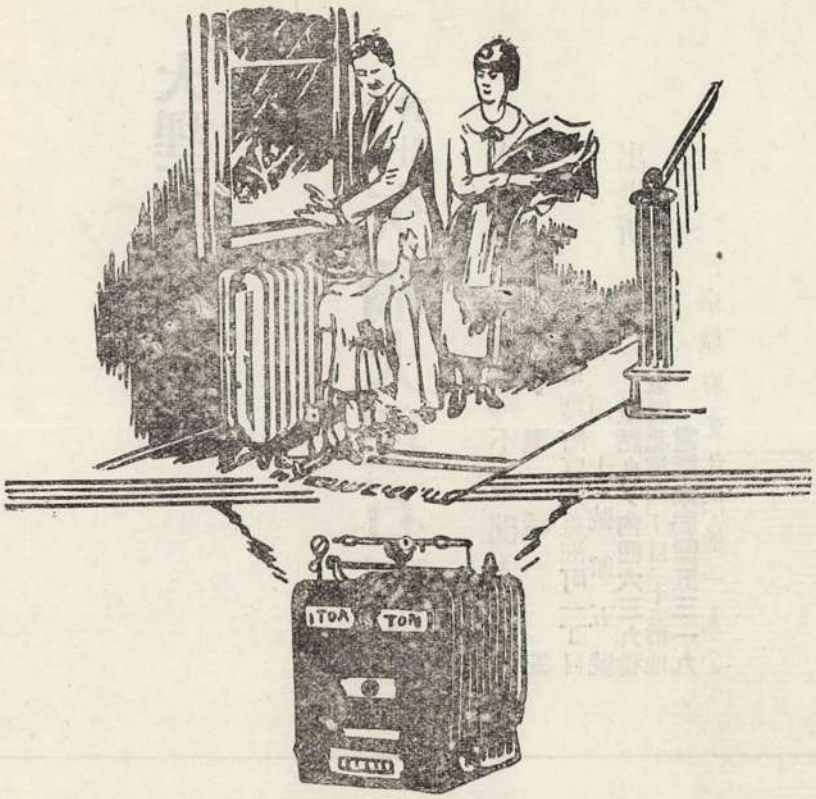
製造所
大阪市東成區中濱町三九四番地
大阪コルク工業合資會社
電話東(三二三六番 五七六九番)

株式會社 高島屋呉服店裝飾部
大阪市南區長堀橋一丁目
電話南(三一、三二、三三、長三四、三五、三八二三 六三一〇、六三一一、六三一二、七八八二、七八八三)

セメントを早くかたまでと
望さふとも ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番



營業案內

煖房部　煖房、換氣、温濕氣調整、水道、衛生設計、施工

製作部　各種放熱器、工作用高級機械、汽罐、鑄鐵品、コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

合資會社
東亞鐵工所

大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀（一一三七番
（三九六七番

合資會社
東亞鐵工所東京出張所

東京市麹町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内（23）一七九六番

大理石工事請負

合資會社

矢橋大理石商店

本店　岐阜縣不破郡赤阪町　電話　五

出張所

東京市麹町區八重洲町一丁目丸ノ内十號館五號

電話丸ノ内四六三九番

大阪市東區北濱四丁目三十二番地

電話本局㊁五三一九

京城府光化門通一九〇

鈴木

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

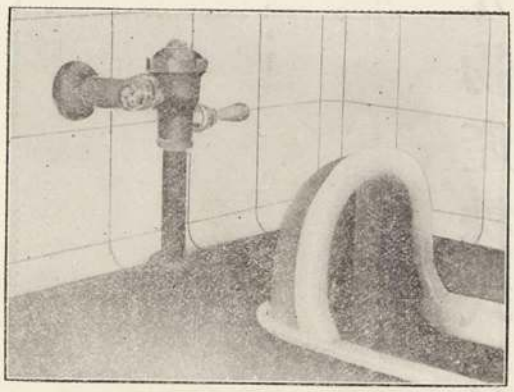
大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四

東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

鈴木太郎
鈴木眞彌
内崎源
木三廣

辨滌洗所便洗水

ヨネ.フラッユ.バルブ



定指御課繕營學大國帝京東
可認御所役市都京・阪大・京東

米本商店 元賣發造製

二目丁三町幸區西市阪大
番〇八八三川櫻話電

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所

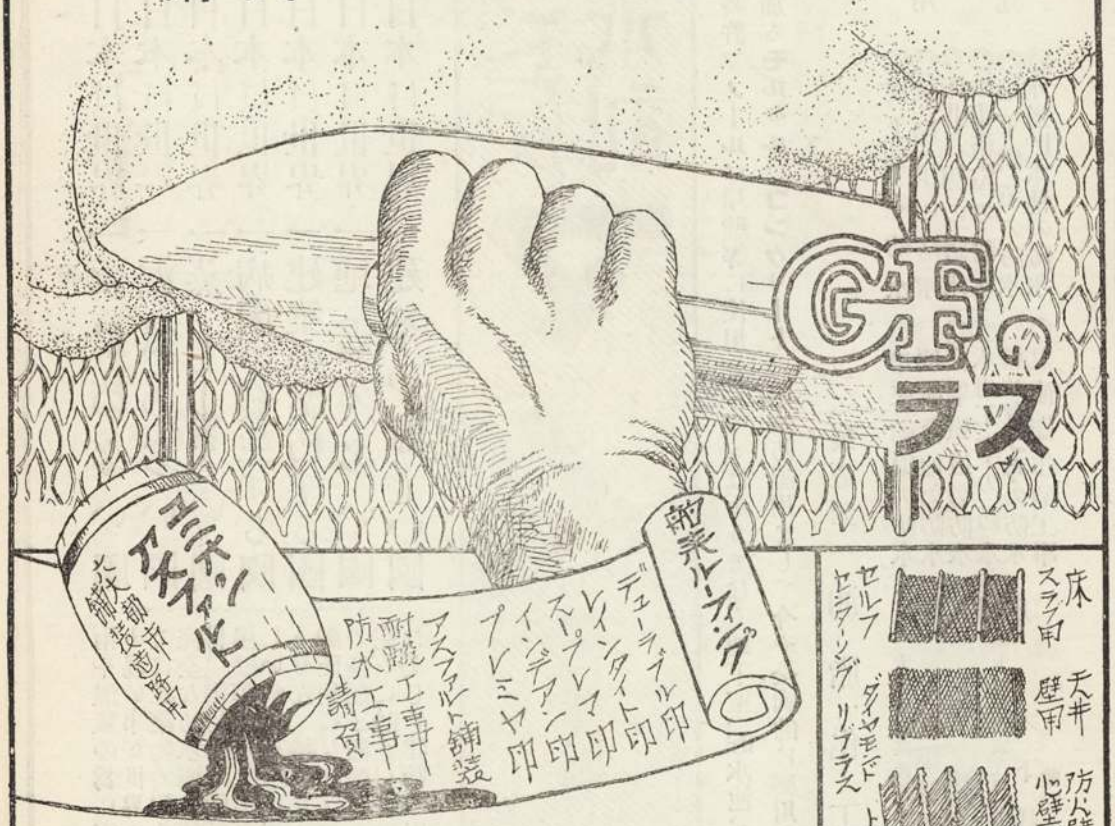
電話長西三四八九番

既ニ！既ニ！漆喰壁ノ時代ハ去リ……

大連ドロマイト

ABC建材月報
各種建材型錄
進呈

防火 水耐 水硬性プラスター



社長 淺野總一郎

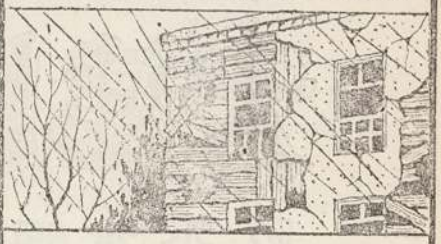
淺野物産株式會社

本店 東京市麹町區丸ノ内ビルヂング 電話 丸ノ内六二〇一・七三六八
支店 大阪市東區ヒ九九 電話 局五五 自至 本山五八町ケ瓦ン一一

電話 牛込四二六三

建築ノ耐久 保健ト衛生

建築に濕氣は大敵なり



日本は世界一雨量の多い國
日本は世界一濕氣の多い國
日本は世界一蒸し暑い國
日本は世界一病菌の發生する國
日本は世界一建築の腐朽する國
日本は世界一地震の多い國
日本は世界一建築の難しい國

雨や濕氣の爲に害菌の損害を被り易い事が世界に比類ない日本では建築物の耐久と保健衛生上完全な防水劑を使用して木材壁材、鐵材等の腐蝕腐朽を防ぎ床屋壁等の氣孔中に發生する恐ろしい病菌を防止せなければなりません、特許**マノール**防水劑を御使用になれば、**セメント**石灰の鹽類と黴菌より受ける損害を完安に防止して耐久と衛生を兼た美しい建物が出來上ります。

專賣特許 防水劑 マノール

腐蝕も病菌も濕氣から



特許**マノール**は屋壁等に使用せらるゝばかりでなく地下室、貯水池、隧道等水壓の加る**モルタル**、**コンクリート**の防水防濕用として今や全國的に應用されて居ます

用途

◎地下室の防水
◎壁屋根の防水
◎床井戸側の防水
◎炊事浴室の防水
◎地下鐵道の防水
◎水道貯水池の防水
◎船底船渠の防水
◎便所糞池の防水
◎高架鐵道の防水
◎水力工事の防水
◎醬油**タンク**の防水
◎其他衞生的工事

製造元 油脂化工社

特約店 建築材料合資會社
大阪市西區西道頓堀通二ノ六
電話長堀川二五六九番
振替大阪七四八〇七番

木下謹三商店
大阪市西區江戸堀北通五ノ三五
電話土佐堀二一六六番

◉防火宣傳◉

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シャッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉、鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江町三五四ノ一
電話土佐堀（長一八一四番 三〇〇一一番 八〇〇八四番）
振替口座大阪四八〇〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

飛行機印



アスファルトフエルト
便利瓦
アスファルト各種
電氣絶緣材料

大阪市此花區大開町三丁目九番地

梶田豊治

電話長堀佐土五六〇一番

家具と室内裝飾

笹岡家具裝飾店

弊店は
眞面目がモットー
皆樣方の使用人

營業所　大阪市西淀川區海老町一四八五番地
工場
電話土佐堀二九六九番
福ロク
振替口座大阪七九七三三番

日本スレート株式會社



淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊲3468番・3469番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊲684・841(專用)1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
支店 門司市東本町四丁目 電話㊲548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

陸屋根地下室用防水布

専賣特許
富士印 クロースルーフ井ング



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度仲度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

クロースルーフ井ング製造所

工場 大阪住吉

大阪市東區平野町四丁目五八 電話本局五四〇七番

!! 除風器界の權威 !!

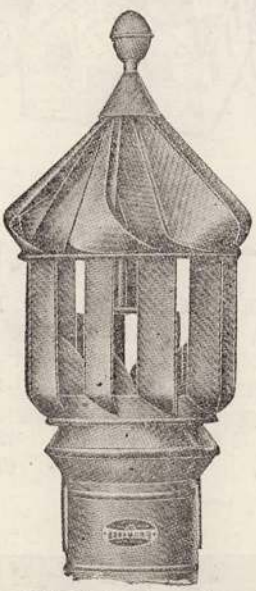
！學理と實際に基き製作したる最新式除風吸揚器！

營業科目

- ◉和洋式建築金物
- ◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
- ◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
- ◉釘針金平浪板諸材料
- ◉鋼鐵自働防火シヤッター

＝製作＝
＝負請＝
＝直輸入＝

保健！衞生！ 田中式除風吸揚器
（新案特許第一一四四八六號）
實用新案（第一一四四八六號）



田中式ベンチレーター

ユニオン印
建築金物製作發賣元

合名會社 **西孫商店 建築金物部**

直輸出入部

大阪市南區順慶町二丁目
電話船一九六・一九七番
三〇二九番

大阪市北區南森町五四番地
南森町交叉點二筋南ノ辻西入天神小橋筋

スチールドアー各種

安價に

迅速に

叮嚀に

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

大阪鐵扉製作所

電話土佐堀五九二〇番

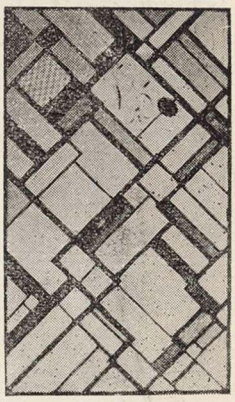
東京丸ノ內時事新報社四階

大阪鐵扉製作所東京出張所

電話丸ノ內三六二七番

ステインドグラス

グラスモザイク



VENUS STUDIO

大阪市東區谷町二丁目五　電東四二二〇

出張所　東京　　代理店　京城

ベニス工房

SS ルイタル品

最近當社獨特の新製品嶄新なる高級マット

奕秋（エキシユウ）タイルの出現

各種タイル販賣

大阪市西區靭北通一丁目二六
品川白煉瓦株式會社大阪支店

タイル販賣所

電話土佐堀七一一番

便所之改善

專賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絶對皆無
現在汲取式の理想的便所

株式會社 城口研究所大阪支店

專賣特許第三六七一五號

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二一一八番 二九五六番

本店 東京市神田區千代田町十八番地 特長二五二三番 神田二二五二番 電話

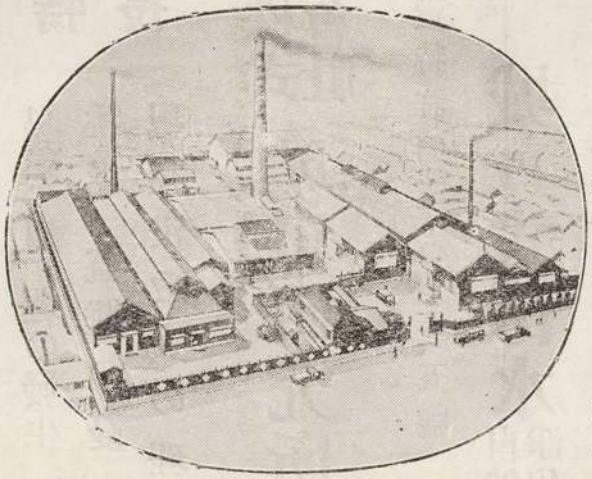
出張所 名古屋市西區本町三丁目五番地 東二三七〇番
同 京都市大和大路大佛前 下四七二番
同 神戸市三宮町一丁目百七十番地 三宮一六九八番 電話
同 横濱市常盤町五丁目八十一番地
同 廣島市竹屋町百三十五番地 二八〇八番 電話

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用　ペイント用　染色用　陶磁器用　漆器用　建築用　皮革用　防水布用
製紙用　リノリューム用　燐寸用　ゴム製造配合用　電線被覆用　印刷インキ用　印刷製版用　スレート用

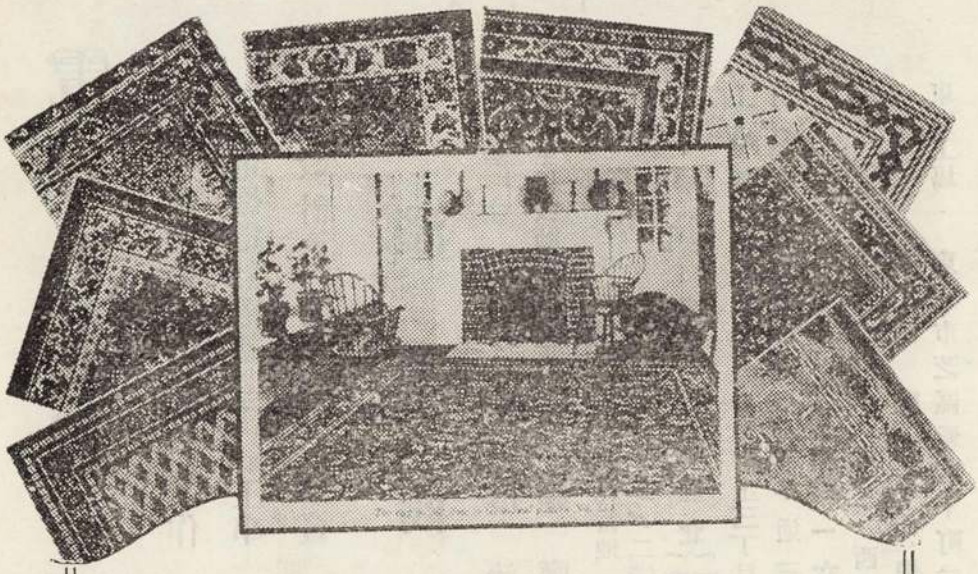
製品種目

富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鵄印	丹頂印	四十鳥印	隼印	鴎印	椋鳥印	鵙印

（見本進呈）

發賣元　合資會社　**大平工業所**
大阪市西成區長橋通四丁目
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

代理店　**藤澤友吉商店**
大阪市東區道修町二丁目
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱電話避雷針工事
設計監督工事請負

淺海商店

店主　淺海治平
主任技師　工學士　齋藤應理

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
大江ビルヂング二階十九號
電話　北(一五七六
一二一五

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目一七三
出張店　下關市田中町本通三丁目
電話　一六五三
大分市西町
福岡縣戸畑町
東京工場　東京市芝區愛宕下町二目丁

タイルとテラコッター



山本窯業商店
大阪市北区芝田町
電話園北二八六番

タイルの山本窯業

檜實剝繼手付

櫻 **床板**

同上羽目板

同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式バーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產檜材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪市西區靱中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
大阪營業所

電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地

電話長本局四五九六番

三熊製疊所

創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲本品は現に我國屈指の建築技師及技術家を始め別莊住宅各官廳及重要會社の設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

特長
製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀

當所ハ各種疊製品ヲ製造納入スルノミナラズ疊一切ノ材料例ヘバ疊床疊表疊緣地等ノ如キハ各種全部取揃申居候間疊一切ノ御入用品ハ多少ニ係ラズ御下命御願上候也

販路―關西關東ヲ始メ全國各地一圓現場納入

▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はば委細御說明申上候

價格表御一報次第送呈仕候

出張所々在地　大阪　京都



建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフェルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戶堀南通五丁目
電話土佐堀(二)二一六六番
～七一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート(石綿盤)
天然スレート(石盤葺)
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

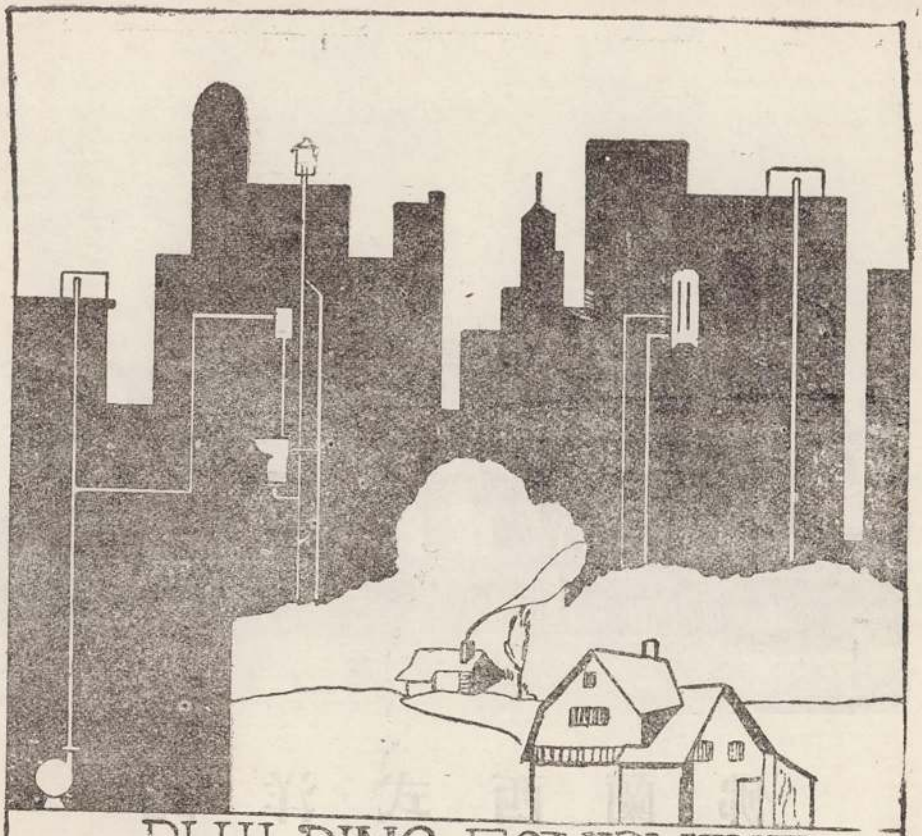
十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルヂング内
電話北(二一五五)二一五六番



都市水道
衞生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

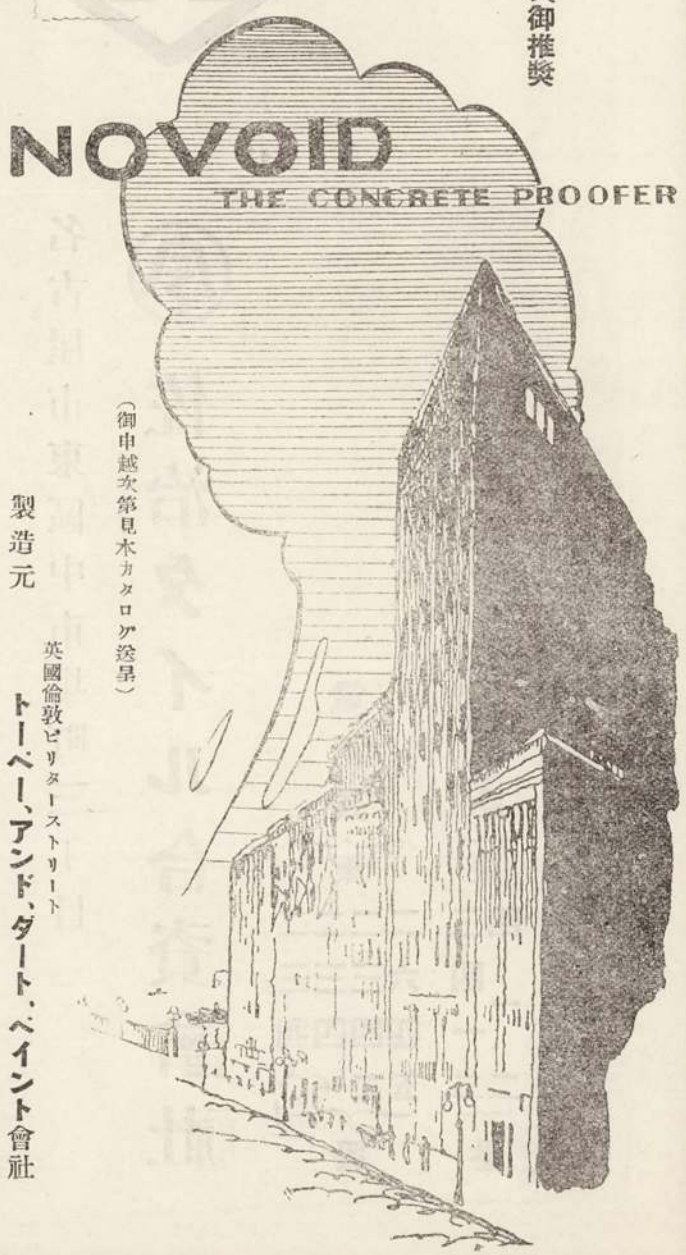
桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

土木界の權威
工學博士
吉本龜三郎氏御推奨

幾多防水劑中永遠ニ効果ヲ顯ハスモノ皆無ナル中ニ「ノーボイド」ハ吉本博士ノ詳細ナル調査ノ末大正十年輸入ヲ試ミ博士管掌ニ係ル總ユル工事ニ用ヒテ出色ノ價値アルコトヲ認メラレタル防水劑ニシテ本品ヲ得タルハ斯界ノ大福音ナリトノ御賞讃ヲ博セリ。



（御申越次第見本カタログ送呈）

英國倫敦ビリタートストリート
製造元
トーベー、アンド、ダート、ペイント會社

日、鮮、滿、一手販賣元
日本工具製作株式會社
兵庫縣明石市王子
電話明石四五〇番
振替口座大阪五四〇五六番

大阪出張所
大阪市南區安堂寺橋通一ノ二六
電話大阪船場七七三

トンボ印（スコツブ、ショベル）（建築金物、土工用具）製造元

新ナル理想的
セメント補強劑
防水、耐火、耐酸、防油。

セメント

英國政府　專賣特許　第一四一一三號
日本政府　專賣特許　第四五二四九號

TRADE  MARK

高級藥掛タイル
專門工場

名古屋市東區中市場町三丁目

㊫ 佐治タイル合資會社

電話長 東 二二三四 二二三四 四四一〇 五二一六 番

工場電話 東 三四一二 四一二二 番

優良國産屋根材の權威

日之出便利瓦（ルーフイング）

◇耐水耐酸耐久
◇屋根葺用
◇地下室防水用

見本進呈

特許第二〇〇三四號

特許第三一〇二四號

（客貨車屋根用）

日之出印 パーマネントルーフ井ング
日之出印 アスファルトヘツシヤン
日之出印 ビルデイングペーパー
日之出印 ルーフ井ング
日之出印 アスフワルトフエルト
日之出印 KSKアスクロース
日之出印 衛生疊下用紙

▲アスファルト防水工事請負

日本建築紙工株式會社

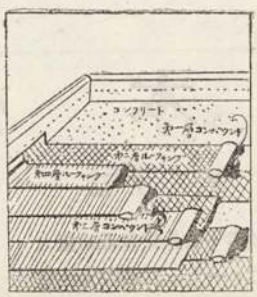
大阪出張所
大阪市西區立賣堀南通四丁目九番地
電話 新町 四六八五番
振替口座 大阪一〇一七六番

本社
東京市神田區小川町一番地
電話 神田(25)六三六、六六三番
振替口座 東京二七〇五九番
電信略號（トウケフケハ）

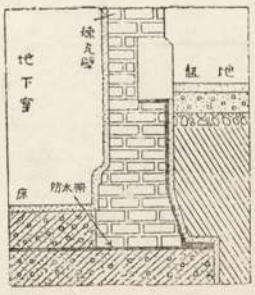
工場
東京府北千住町四丁目元宿
話 千住七六番

（況實水防面斷室下地及根屋陸）











塗裝工事請負
計設ニ並
賣販料材

松本商店

美壽本松主店

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内
電話土佐堀二三九一・五二一二・一九三〇五番

HEATING. VENTILATION AND PLUMBING.

大和工業株式會社（ダイワ）

営業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
給水給湯裝置　衛生工事
汚水淨化裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

溫濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
空氣輸送裝置　眞空掃除裝置

以上の設計、監督、工事請負竝ニ材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三　電話局北一〇七八・六二九一番　（ワイダカサオ）略語受電
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五（八〇二館互相一第）　電話局京橋三二三七番　（ワイダイケウト）略語受電

Certain-teed

世界建築大家指定品

サーテンティード便利瓦（ルーフィング）

サーテンティード製品ニテ施工ノ屋根



東京丸之内　郵船會社ビルヂング

品質優秀
價格至廉



主なる御使用先

丸之内ビルヂング	三菱地所部
日本郵船ビルヂング	三菱鑛業會社
有樂館	久原鑛業會社
東京帝國大學	橫濱ユーナイテッド倶樂部
駒場農科大學	橫濱スタンダード會社
同潤會柳島アパートメント	橫濱ライヂングサン會社
東北帝國大學	清水組
早稱田大學講堂	大林組
上野松坂屋本舖	竹中工務店
三越呉服店	戸田組
東京女子大學	安藤組
アメリカン、スクール	大倉土木會社

サーテンティード リノリユーム

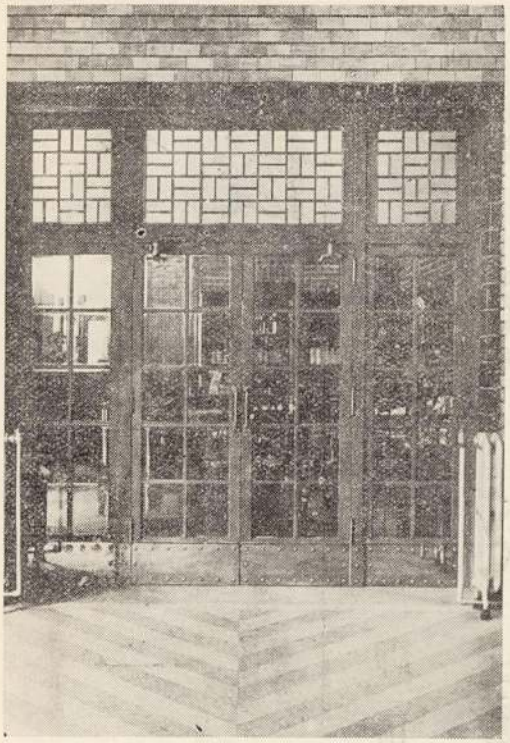
本品ハ質ニ於テ和製品ヲ凌駕スルコト數等價又タ至テ廉ナリ

日本總代理店

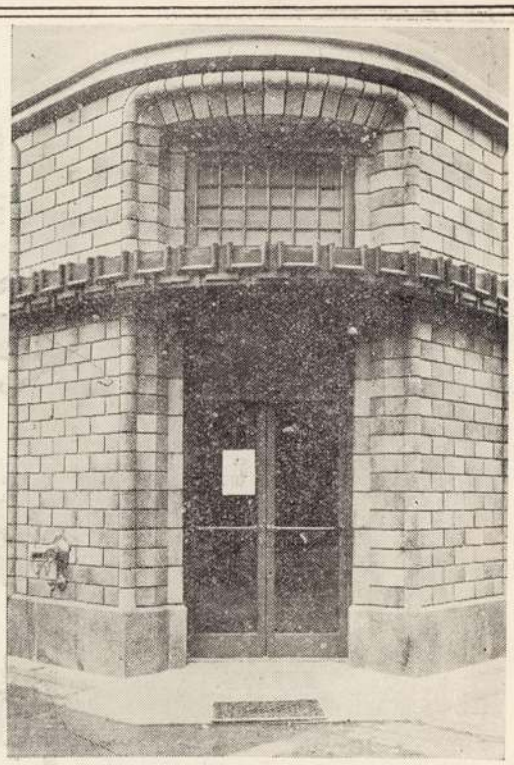
合資會社 **デゥエット商會**

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番



大阪　高麗橋野村ビルデイングノ　玄關内スクリーン
弊製作所施工　資生堂森永ショーウインド造作工事



大阪高麗橋ビルデイングノ　南丸門資生堂出入口
弊製作所施工

安井建築事務所御設計
株式會社大林組本店請負

◉建築ノ進歩ト防火ノ設備◉

請負

特許壽崎式スチール、シヤツター
特許壽崎式スチールドウワー
特許壽崎式上ケ下ケスチールサツシユ
鋼鐵製書架類
鋼鐵製ショーウインドー
鋼鐵製スクリーン並ニ造作
鋼鐵製コンクリートドウワー
一般建築製飾金物製作

設計

◉東京横濱大阪ヲ主トシテ全國都市百卅數個所ニ御使用先ヲ有ス◉

東京鋼鐵扉製作所

本社　東京府下南千住町南千住433. 434番地

全關西營業所

大阪市東區上本町一丁目六番地
電話局東 1309. 1310番

營業代表者　米山淺治
工場代表者　壽崎源太郎

製産高東洋一

優秀タイル窯元

宮内省御用達

DK

淡陶株式會社

本社　兵庫縣三原郡北阿萬村　電話本社一〇

福島工場　同縣三原郡福良町　電話福良一九

大阪支店　大阪市西區阿波座中通二丁目　電話長新町四五二

東京支店　東京市日本橋區濱町二丁目　電話長浪花六三〇五



製産額東洋第一
模範的品質優良

淺野セメント株式會社

資本金壹億六百參拾壹萬圓
年産額壹千貳百萬樽

本店　東京市麹町區永樂町
支店及工場　東京、門司、川崎、北海道、臺灣、大阪

大阪支店

營業所　大阪市北區堂島ビルヂング三階
電話　北三一九八番
工場　大阪市西成區津守町二九一
電話　櫻川九〇八番、九三五番

新案

平安瓦發賣元

品目

各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

營業

土管各種
蜜、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

瓦

佐村木勝吉

大阪市東區木材町五十一番地
（入ヘ北詰東橋寺寶久）
電話東三六一〇番

新革之料材"壁"

特許

專賣

品質優良

價格低廉

アサダセメント・プラスター

アサダ・白色ラピッド・セメント

飾磨化學工業株式會社

兵庫縣　飾磨町

電燈
電熱 配線工事
器具製作請負

大阪市北區相生町一〇一番地
波根田電氣商會
電話東一六九五番

（設計見積ノ御用命ハ當店ヘ）

一般電氣工事設計
監督請負

高級裝飾照明器具設計
製作並輸出入販賣

みよし組電氣工業所

營業所
大阪市東區味原町九九
電話南一〇三七・五貳二九
神戸・東京・福岡

製作所
大阪市東區味原町九九

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐

設計製作
据付諸工事

TRADE MARK



資本金 大阪東区今橋貳丁目一三地

オキナ商店

代表社員 小川繁太郎

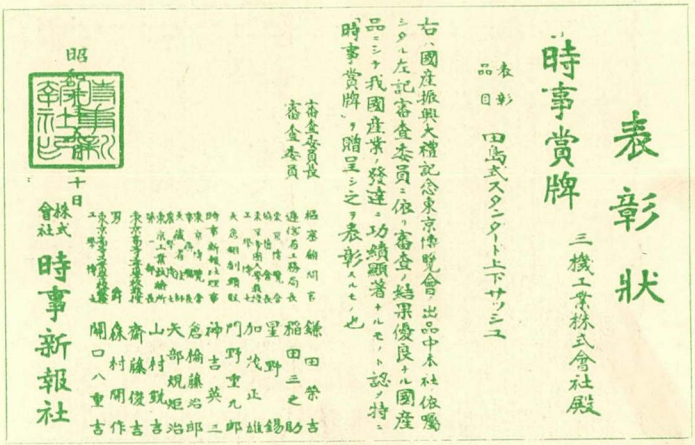
電話本局 一三八九
五九三一番
振替大阪 二〇六一一番

特約 インターナショナル石油發動機
ぬのくち式A1型渦巻ポンプ

深井戸用各種ポンプ・ベリル
クライン・ヴィ・マグネット・エチール

東京建鐵!!製造

三機工業!!販賣



表彰狀

時事賞牌

三機工業株式會社殿

表彰品目　四馬式スタート上下サッシ

古來國産振興大禮記念東京博覽會出品中本社依囑シタル左記審査委員ニ依リ審査ノ結果優良ナル國産品ニシテ我國産業ノ發達ニ功績顯著ナルモノト認メ特ニ「時事賞牌」ヲ贈呈シ之ヲ表彰スルモノナリ

昭和十年十月二十日

株式會社　時事新報社

審査委員長　男爵　森村開作

審査委員　齋藤俊吉　山村鐵吉　天部規矩治郎　急橋藤治郎　神吉英二　門野重九郎　加茂正雄　星野錫　稲田三之助　鎌田榮吉

東京建鐵株式會社
東京鋼板工業株式會社

總代理店

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區内幸町一ノ三(大阪ビル内)
支　店　大阪市東區備後町二ノ二(野村ビル内)
電話本町1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

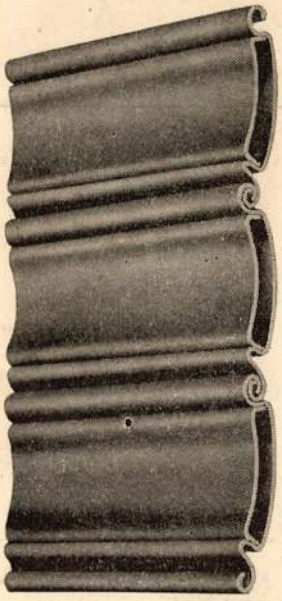
SUDZKI'S PAT. **HOLLOW SHUTTER** PAT. AP'L'D TO THE U.S.A.

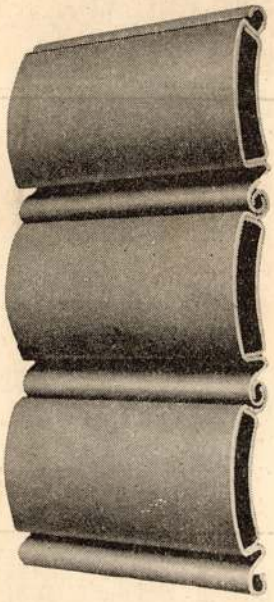
米國特許出願

日特
英許

鈴木式ホロー・シヤター

（最新式シヤツター）





大正十五年英國政府へ特許出願中の處昭和二年二月十七日第二六五八七三號を以て特許々可せらる

ホロー式の特徴

1 ホロー式は權威ある火熱注水試験の結果熱の傳導の遲いのが著しい特徴であつた。

2 ホロー式は高尚優美、堅牢無比、强盜、無漢をして意氣銷沈せしむ。

3 ホロー式を DREADNOUGHT SHUTTER と英國人は評した。

4 ホロー式は卷徑が少さく素直に釋れて下る。

5 講鐵は特許鈴木式二重底レールを附屬せしむ。

6 錆止ペンキは浸漬式を用ゆ。

7 機械は精巧、廂蓋は、美麗周圍と調和す。

ホロー式取付實例

◉取付場所及時日

◉名古屋市御器所町 南消防署

◉昭和貳年參月廿五日

1 ホローシヤター三號型鎖引

2 巾 二十二尺 高 十二尺出來上り寸法

3 シヤター重量二百貫、シヤフト壹百貫 合計三百

4 錆止ペンキ浸漬式を用ゆ

5 上下時間 輕く手繰て廿秒

◉取付けの結果◉

丈夫で、輕くて、工合のよいので皆な驚歎してゐる

東京 巢鴨町宮下一五四五—一五五五

建築金物商會

支店 京都市東山通月見町二